



RG-HA3515-DG

Web-GUI 操作マニュアル

はじめに

Ruijie RG-HA3515-DG シリーズ無線デバイスをご購入いただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこのマニュアルをよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでもご覧になれる場所に保管してください。

このマニュアルは、Web 設定を使用したネットワークの接続方法、Ruijie RG-HA3515-DG の一定の設定管理の方法について説明したものです。このマニュアルは、コンピュータおよびネットワークの基本操作や設定ができる方向けに書かれています。コンピュータのより詳しい操作や一般的なネットワーク設定に関しては、一般書をご参照ください。

注意事項

- (1) 本製品の使用に先立ち、正しくご使用いただけるよう、製品付属の『クイックインストールハンドブック』をご一読ください。
- (2) 本マニュアルの全部または一部の内容の複製を禁止します。
- (3) 本マニュアルの内容は予告なく変更する場合があります。
- (4) このドキュメントが対応するソフトウェアは、MA_1.3(1)B9P1, Release(10212719), Revision(6a1bcbe15)G およびこれ以降のバージョンです。
- (5) 本製品のソフトウェアのバージョンやご使用の OS、WWW ブラウザによっては、本マニュアルで示す内容と実際の表示が異なる場合があります。ブラウザについては、Google Chrome および Firefox のご使用を強く推奨します。
- (6) 本マニュアルの内容に関しては、全ての可能性について確認を行っていますが、何か疑問を持たれたり、表記に誤りや漏れを発見したりしましたら、当社までご連絡ください。
- (7) ただし、上記（6）に関するいかなる動作結果に関しましても、当社は操作の結果についていかなる責任も負いかねますことをご承知ください。

本マニュアルの構成

本マニュアルは、以下の部分から構成されます：

タイトル	内容
Web-GUI の概要	Web-GUI について説明しています
クイック設定	本製品の簡単な設定方法について説明しています
各設定インターフェースの詳細な説明	各インターフェースについて詳細に説明しています
困ったときは	起こりうる問題とその解決方法を簡単にリストアップしました

本マニュアル中の記号の説明

符号	意味
	豆知識を示しています。本マニュアルの補足説明です。ご使用に際し、より分かりやすくなります。
	注意事項を示しています。操作を間違えるとデバイスに故障が生じるなど、特に注意すべき内容です。

Web-GUI に入力可能な文字一覧

本マニュアルで説明する web-GUI で使用可能な文字は以下のとおりです。

ASCIIコード番号																
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	空白	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
60	·	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

対応バージョン

Web-GUI の対応するバージョン

デバイス名	対応するソフトウェアのバージョン
RG-HA3515-DG	MA_1.3(1)B9P1, Release(10212719), Revision(6a1bcbe15)およびこれ以降のバージョン

 Release バージョンは、番号が後のものほど新しいものになります。

 ソフトウェアはバージョンごとに Web-GUI にわずかな違いがありますが、ご使用には基本的に影響しません。

目次

はじめに.....	1
1 Web-GUI 概要について.....	1
1.1 Web-GUI.....	1
1.2 Web-GUI 実現可能な機能.....	1
1.3 Web 接続前の準備.....	2
1.4 Web-GUI 接続時の準備.....	3
1.4.1 本製品と管理 PC の接続.....	3
1.4.2 管理 PC の IP アドレスの設定.....	4
1.5 Web-GUI のログイン.....	5
1.5.1 WWW ブラウザを開く.....	5
1.5.2 証明書エラーが表示された場合の対応.....	6
1.5.3 ユーザ名とパスワードを入力する.....	7
2 クイック設置.....	9
2.1 Web-GUI のログイン.....	9
2.2 ダッシュボード.....	10
2.3 無線 SSID の設定.....	10
2.4 無線電波設定.....	14
2.4.1 2.4 GHz 帯電波設定.....	15
2.4.2 5 GHz 帯電波設定.....	16
2.4.3 その他の設定.....	17
2.5 企業のお客様への追加説明.....	18
2.5.1 デバイス管理.....	18
2.5.2 アクセスポイントモードの設定.....	18
2.5.3 ルータモードの設定.....	20
2.6 MACC 管理.....	22
3 デバイス概要.....	23
3.1 デバイス概況.....	24
3.2 デバイス詳細情報.....	25
3.3 Wi-Fi の状態.....	26
3.4 インターフェース情報.....	27
4 基本設定.....	28
4.1 基本管理.....	29
4.1.1 WAN 設定（ルータモードが有効の場合）.....	29
4.1.2 LAN 設定.....	30
4.1.3 IPv6 設定.....	32
4.1.4 ユーザリスト.....	33
4.1.5 モード切替.....	37
4.2 無線管理.....	38
4.2.1 無線設定.....	38
4.2.2 RF パラメータ.....	39
4.2.3 WPS.....	39
4.3 ネットワーク管理.....	40
4.3.1 VLAN.....	40
4.4 アクション管理.....	41
4.4.1 アクセス制御.....	41
4.4.2 システム管理.....	43
4.5 故障診断.....	45
4.5.1 ネットワークツール.....	45
5 詳細管理.....	47
5.1 ユーザーアイソレーション.....	47
5.1.1 グローバル設定.....	47
5.1.2 カスタマイズ設定.....	48
5.2 IGMP Snooping.....	51

5.3	クイック設定	52
5.4	DMZ (ルーターモードで有効).....	53
5.5	ポートマッピング(ルーターモードで有効).....	54
5.6	UPnP (ルーターモード)	55
5.7	DNS サーバー	56
5.8	CWMP/MACCC.....	57
5.9	DHCP (ルーターモードで有効)	58
5.10	ファイアウォール (ルーターモード)	60
6	システム管理	62
6.1	NTP 設定.....	62
6.2	有線回線管理です	63
6.3	ログイン管理	64
6.3.1	管理者パスワード	64
6.3.2	ログインタイムアウト時間	65
6.3.3	ログインアカウント	66
6.4	設定管理	66
6.4.1	初期化設定に戻す	66
6.4.2	バックアップとインポート	67
6.5	リセットボタンの設定	70
6.6	LED ランプ設定	70
6.7	Web CLI	72
6.8	システムログ	72
6.9	システムアップグレード	73
6.9.1	手動アップグレード	73
6.9.2	G.hn ファームウェアアップデートです	75
6.10	再起動	76
6.10.1	ワンボタン再起動	76
6.10.2	タイマー再起動	76
6.11	開発者モード	77
7	困ったときは	78
7.1	Web-GUI に接続できない	78
7.2	Web-GUI にログインできない	78
7.3	通信できないときは.....	78
7.4	デバイス設定と使用サポート	79

1 Web-GUI 概要について

📖 この文書は RG-HA3515-DG デバイスのみに適用されます。

本章では Web-GUI について説明します：

- Web-GUI：WWW サーバ（Google Chrome など）を経由して Web 管理システムにアクセスし、AP デバイスを管理することができます。
- Web-GUI で実現可能な機能：SSID パラメータ、ネットワーク設定、セキュリティ設定などを含む複数項目を設定することができます。
- Web-GUI 接続前の準備：接続する前に必要な機材および注意事項
- Web-GUI 接続時の準備：説明内容には本製品と管理 PC との接続、PC の IP アドレス設定とブラウザのインターネット設定が含まれます。
- Web-GUI のログイン：Web ログインの具体的な操作手順を説明します。

📖 WEB 管理は、WEB サーバと WEB クライアントの 2 つの部分から構成されます。WEB サーバはデバイス上に集積され、クライアントから発信されたリクエストの受信と処理し、処理結果をクライアントに返します。WEB クライアントは、一般的に Firefox、Google Chrome、Safari などのネットワークブラウザを指します。

📖 ご使用の Microsoft Internet Explorer ブラウザのコアバージョンが低すぎる場合、Web-GUI の応答が遅いという問題が生じる可能性があります。その場合は、インターフェースをロールバックするか、ブラウザを交換してください。Google Chrome および Safari を推奨します。

1.1 Web-GUI

本製品は WWW ブラウザから設定することができます。

Web-GUI による設定の際は、コマンドラインインターフェースにおける設定コマンドを使わずに、簡単に設定することができます。ほぼすべての主な機能は Web-GUI の操作を通じて設定することができますが、より詳細な設定が必要な場合は、コマンドインターフェースを使って関連の設定を行ってください。

1.2 Web-GUI 実現可能な機能

Web-GUI で設定できるのは、主に以下のものです：

- SSID のパラメータ設定。パスワード、暗号化認証など。
- 2.4G/5G のパラメータ設定。チャンネル、帯域幅、送信パワーなど。
- ネットワークの設定。WAN ポート、LAN、DHCP など。
- セキュリティ設定。ブラックリスト/ホワイトリスト、ユーザ隔離など。

- AP 管理設定。アップグレード、再起動など。
- G.hn ファームウェアのアップグレード

1.3 Web 接続前の準備

Web-GUI に接続する前に、以下についてご準備ください：

用意する機材	説明
管理用端末	WWW ブラウザ：Google Chrome、FireFox、Safari を推奨いたします。 その他：LAN ポートのある PC。ノートパソコン、iPad、携帯端末など、他のモバイル端末も可能です。
	 解像度は 1280×1024、1920×1080 および 1440×960 に設定することを推奨します。他の解像度に設定した場合、ページのフォントやフォーマットに不揃いが生じたり、きれいに見えなかったりするなどの異常が生じる可能性があります。
	 WWW ブラウザの影響により、ファイルのアップロード（プログラムファイルのバージョンの更新、ファイルの設定）が失敗する可能性があります。失敗が何度も続く場合は、WWW ブラウザを変えて試してください。当社は、Google Chrome、Firefox、Safari を推奨します。Internet Explorer または Microsoft Edge も使用できますが、一部の機能が使用できない場合があります。例えば、起動時に英語表示となります。
イーサネットケーブル	 ディスプレイ更新の際に「設定の保存」、「ファイルの保存」または「戻る」操作をしても、正常に行われない可能性があります。ディスプレイ更新の終了後に、上記の操作を行ってください。
	UTP / STP カテゴリ 5e 以上を推奨します。

1.4 Web-GUI 接続時の準備

管理 PC と WWW ブラウザを Web-GUI に接続する際の設定方法を説明します。具体的には以下のとおりです：

- 本製品と管理 PC の接続
- 管理 PC の IP アドレスの設定
- WWW ブラウザのインターネット設定

1.4.1 本製品と管理 PC の接続

AP を初めて設置する場合、管理者は次の図のようにブラウザを通じてデバイスにアクセスし、WEB 管理システムを使用してデバイスの設定を行います。

簡単なトポロジーは以下のとおりです：



イーサネットケーブル（RJ45）で本製品と管理 PC を接続します。管理 PC につないだイーサネットケーブルを LAN ポートにカチッと音が出るまで差し込みます。

📖 ケーブルの接続を切るときは、ケーブルの端をしっかりとにぎり、ツメをおさえ、まっすぐに引っ張り出してください。

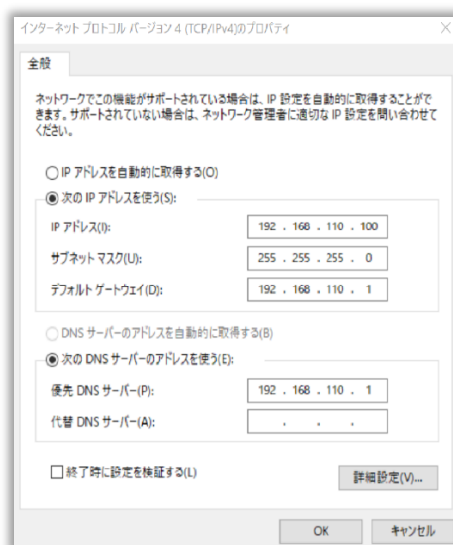
📖 イーサネットケーブル以外のケーブルは接続しないでください。故障または焼損するおそれがあります。

1.4.2 管理 PC の IP アドレスの設定

管理 PC の IP アドレスは、RG-HA3515-DG への接続が可能な IP アドレスを設定してください。AP によって異なる動作モードに基づき、管理 PC の IP アドレスを設定してください。

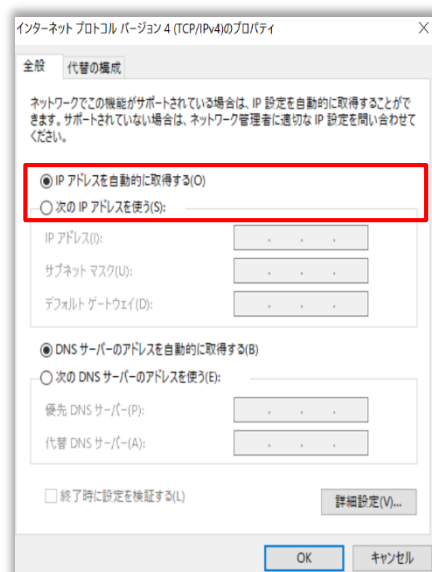
■ AP モード：

設定で「次の IP アドレスを使う」を選択する場合は、IP アドレスを 192.168.110.X（X 値は 100～200）に設定し、DNS サーバを 192.168.110.1 に設定します。例えば、固定 IP を 192.168.110.100 に設定した場合は、DNS サーバを 192.168.110.1 に設定します。



■ ルータモード：

「IP アドレスを自動的に取得する」を選択します。



1.5 Web-GUI のログイン

この項目では、Web-GUI ログインの操作方法を説明します。具体的な手順は以下のとおりです：

- WWW ブラウザを開く
- 証明書エラーが表示された場合の対策
- ユーザ名とパスワードを入力する

1.5.1 WWW ブラウザを開く

管理 PC の WWW ブラウザを開き、次の IP アドレスまたは URL を入力します。

初期デフォルト URL `http://192.168.110.1` または `http://rjap.jp`

 デフォルトの URL `http://rjap.jp` を使用して WEB サービスにアクセスすることを推奨します。

 `http://`と `https://`のいずれも、Web-GUI に接続可能です。

 ユーザが AP の WAN ポートから WEB にアクセスする場合は、デフォルトの URL を使用できなくなります。AP の IP を使ってアクセスしてください。LAN ポートからは `rjap.jp` 経由で AP にアクセスできます。

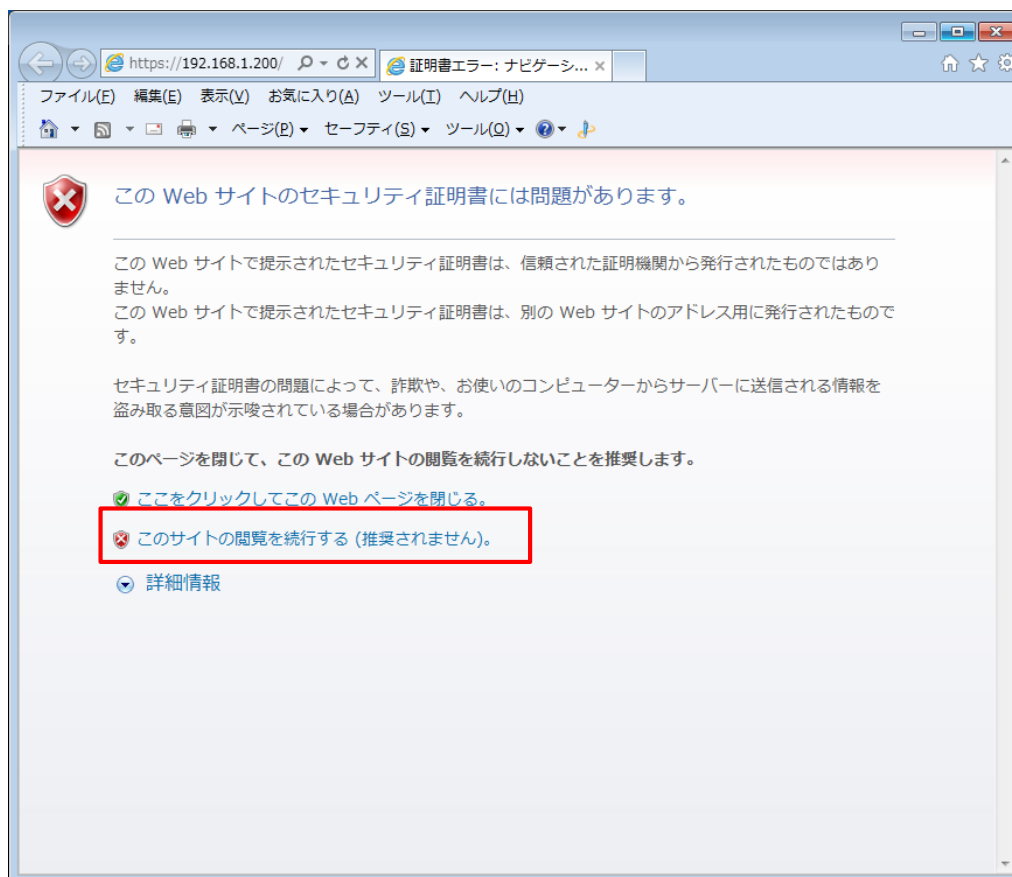
 WAN ポートの IP を確認したい場合、ルータモードでは「基本管理」->「WAN 設定」の順にクリックすれば見ることができます。ブリッジモードでは「基本管理」->「外部ネットワーク設定」の順にクリックすれば確認できます。

 WWW ブラウザについては、Google Chrome、Firefox、Safari の使用を推奨します。他のブラウザで WEB 管理にログインすると、文字化けまたはフォーマットエラーなどの異常が生じる可能性があります。

 ルータモードで「WAN 側からの WEB へのアクセスが禁止されています」の機能が有効になっていて、ホワイトリスト IP アドレスが設定されていない場合は、WAN ポートから AP の WEB トップページにアクセスすることはできません。SSID または LAN ポートから WEB トップページにアクセスすれば、ホワイトリスト IP アドレスを設定することができます。

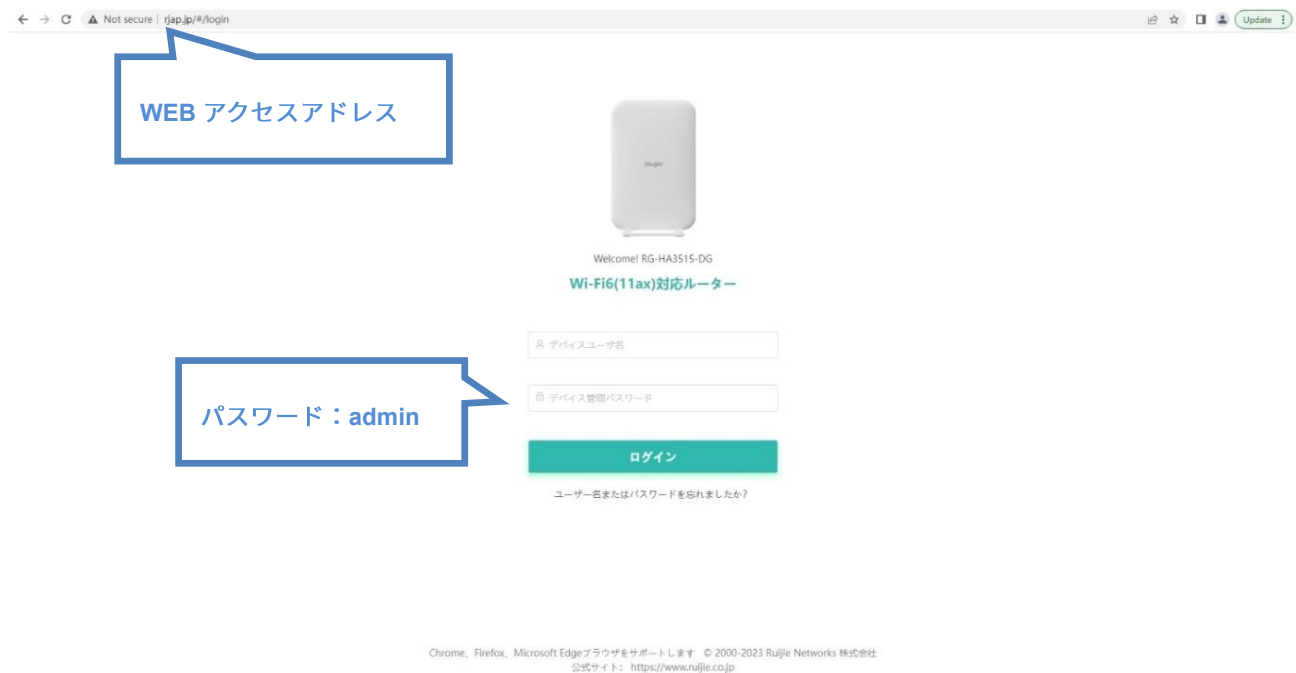
1.5.2 証明書エラーが表示された場合の対応

WWW ブラウザに以下のような証明書エラーの警告情報が表示される可能性があります。このエラーが表示されたら、「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)。」をクリックして、閲覧を続行してください。



1.5.3 ユーザ名とパスワードを入力する

ユーザ名とパスワードを入力したら、「ログイン」をクリックします。



デフォルト設定

WEB 管理のデフォルトアカウントのパスワードです。

デフォルトユーザ/パスワード	権限についての説明
admin / admin	管理者。すべての権限を持っています。

- 📖 パスワード admin は初期利用時にのみ設定され、その安全性が非常に低いため、以下の画面が表示された後で新しいWeb ログインパスワードを再設定してください。



- ⚡ 6文字以上で、アルファベットの大きい文字・小さい文字と数字の混在する安全性の高いパスワードの設定を推奨します。

2 クイック設置

本章では、ユーザ向けにデバイスのクイック設定の方法について説明します。

- Web-GUI のログイン：ユーザは初期パスワード admin を使って Web インターフェースにログインできます。
- ダッシュボード：ダッシュボードにはさまざまなシステム情報が表示されます。
- 無線 SSID の設定：デュアルバンドの場合は最大 6 の SSID を設定できます。
- 無線電波設定：ユーザはこのメニューで 2.4 GHz および 5 GHz の無線デバイスのパラメータを設定できるほか、オンライン端末数、チャンネル調整許可のオン/オフ、チャンネル自動調整周期の設定などの項目も設定することができます。
- 企業のお客様への追加説明：デバイス管理の選択項目、アクセスポイントモードの設定方法、ルータモードの設定方法などの説明が含まれます。
- MACC 管理

2.1 Web-GUI のログイン

初期パスワード admin を使用して Web ページにログインします。



2.2 ダッシュボード

WEB 管理システムへのログインが完了するとダッシュボードが表示されます。ダッシュボードではさまざまなシステム情報が確認できます。

デバイス概況

オンラインユーザ数

0

ネットワーク接続ステータス ● : ネットワーク接続済み

システム稼働: 03分 16秒

システム時間: 2023-09-27 20:30:34

デバイス詳細情報

デバイス型番: RG-HA3515-DG

ハードウェアバージョン: V1

シリアルナンバー: 8P1L2023912

ソフトウェアバージョン: MA_1.3(1)B9P1, Release(10212719), Revision(6a1bcbe15)/

MACアドレス: 86:C2:30:6D:09:12

無線情報

SSID 1グループ

無線ネットワーク: SSID-SSID-C2301D

暗号化の有無: 有

SSID 2グループ

無線ネットワーク: SSID-SSID-C2301D_Wi-Fi5

暗号化の有無: 有

SSID 3グループ

無線ネットワーク: SSID-SSID-C2301D-3

暗号化の有無: 有

SSID 4グループ

無線ネットワーク: SSID-SSID-C2301D-4

暗号化の有無: 有

SSID 5グループ

無線ネットワーク: SSID-SSID-C2301D-5

暗号化の有無: 有

ゲストWi-Fi

ゲストWi-Fi: SSID-SSID-C2301D-Guest

暗号化の有無: 有

インターフェース情報

接続済み 未接続

WAN

LAN

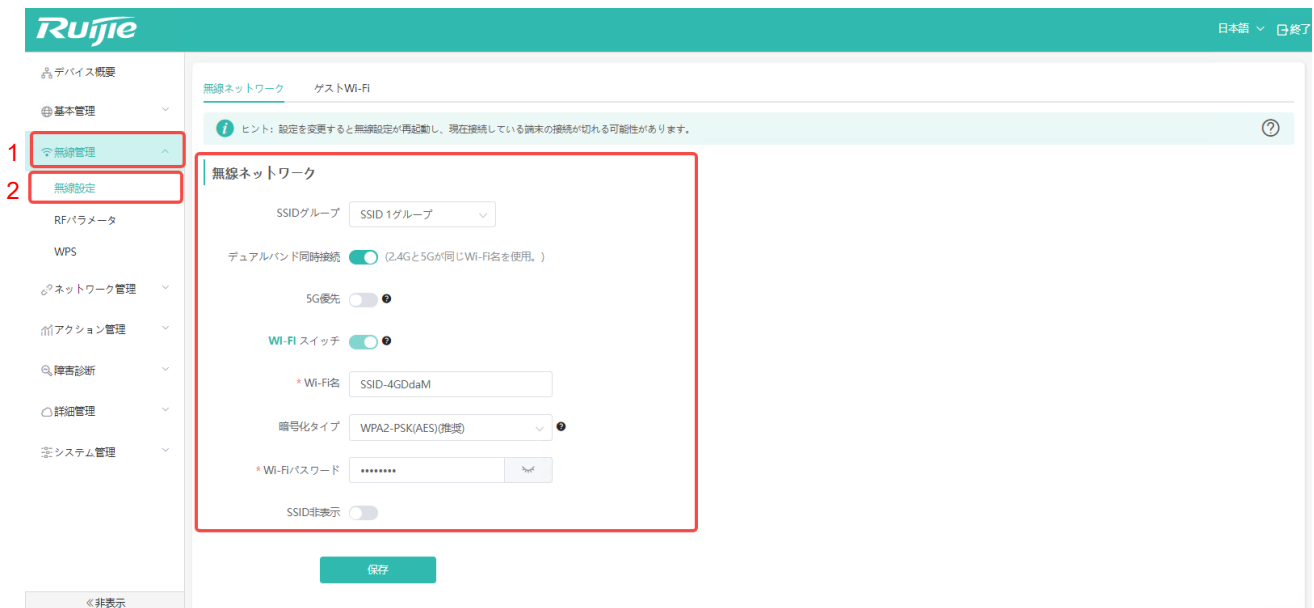
LAN

2.3 無線 SSID の設定

Web 管理システム上で無線 SSID を設定できます。デュアルバンドの場合は本製品で最大 6 の SSID を設定できます。うち 1 つはゲストネットワーク専用で、残り 5 つが汎用になります。

無線 SSID の設定手順は次の通りです。

- 1 左側メニューの「無線管理」メニュー（図の「1」の部分）をクリックします。
- 2 展開された「無線設定」メニュー（図の「2」の部分）をクリックすると、図のように「無線ネットワーク」メニューが表示されます。

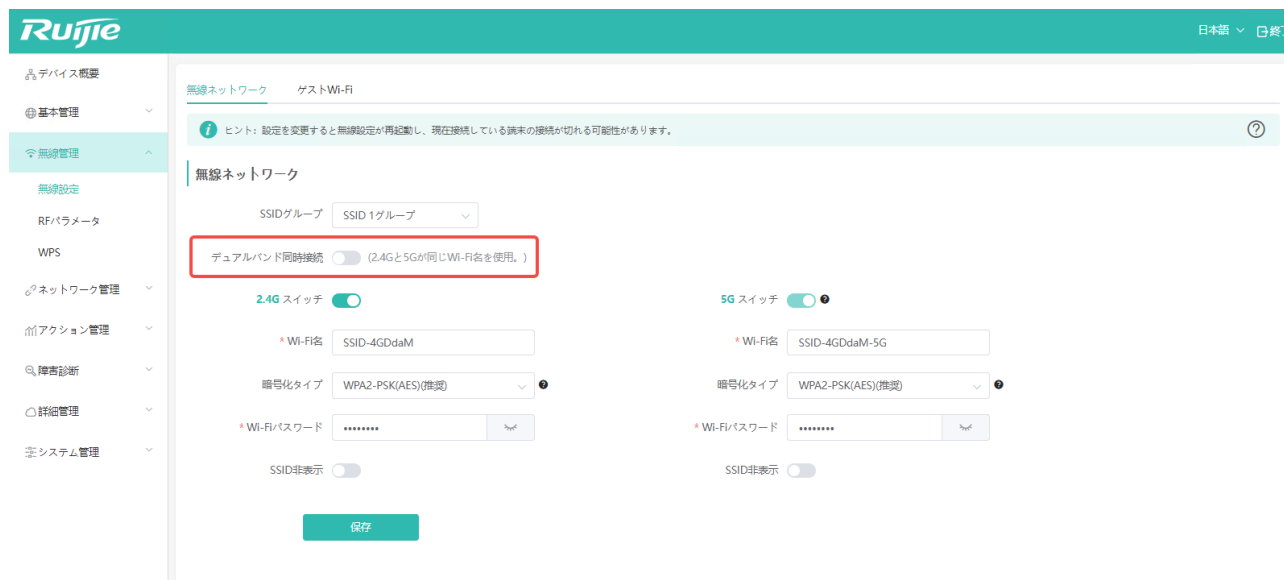


設定項目の説明は次の通りです。

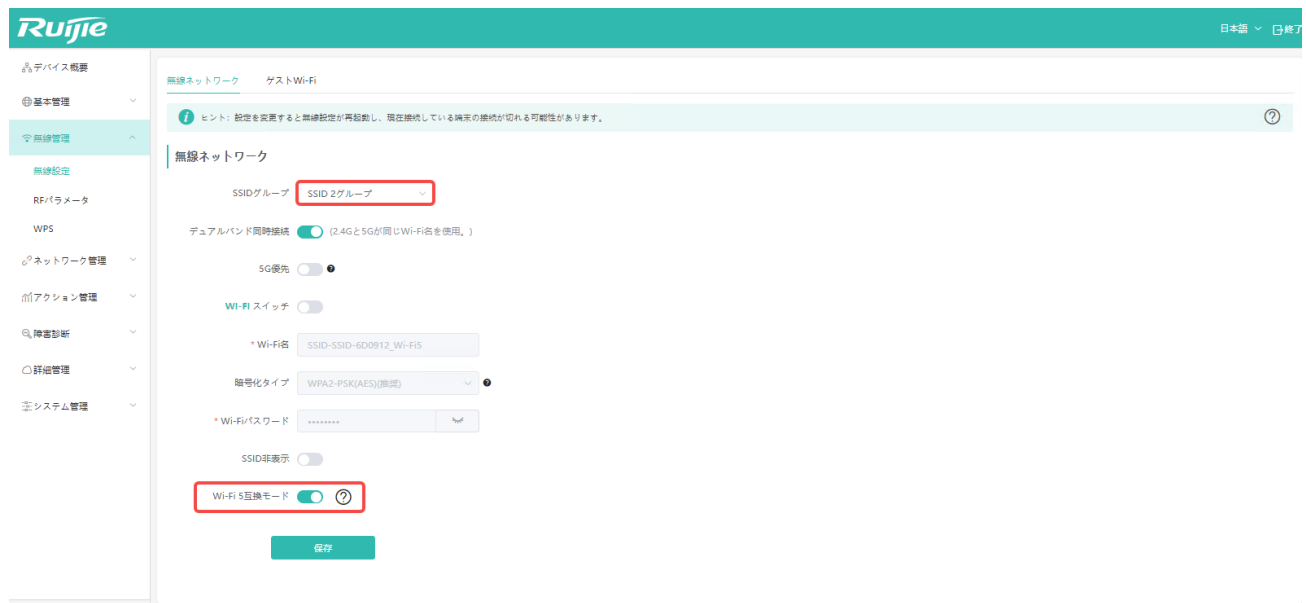
設定項目	説明	デフォルト値/オプション
SSID グループ	設定したい SSID グループを選択します。 ここでは最大で 5 つの SSID グループを設定できます。グループ毎に SSID 名をつけることができます。	デフォルト値：SSID 1 グループ SSID1～5 グループを選択して設定できます。
デュアルバンド同時接続	2.4G と 5G で共通の SSID を使用するかどうか選択します。無効の場合は 2.4G と 5G で異なる SSID を設定できます。	デフォルト値：有効。2.4G と 5G で共通の SSID を使用します。 有効/無効を設定することができます
5G 優先	5G 優先を有効にすると、本製品は端末を優先的に 5G チャンネルに接続させます。 ※5G 優先機能は全体に適用されますので、ご注意ください。つまり、個別の SSID グループ上で 5G 優先を有効化すると、全体に適用され、5G 優先を設定していない他の SSID グループでも 5G 優先が有効になります。	デフォルト値：すべて無効 一括有効化/一括無効化をサポートします。
Wi-Fi スイッチ	SSID のオン/オフ。無効にするとその SSID が無効になります。	デフォルトでは、SSID 1 グループが有効、SSID 2～5 グループが無効になっています。
Wi-Fi 名	SSID 名を設定します。	デフォルト値：製品のシールに表示されている工場出荷時の初期値で、ランダムに設定されています。 ※32 文字を超えるものは設定できません。
暗号化タイプ	SSID のアクセス時の認証暗号化方法を指定します。 OPEN ：パスワード不要でインターネット接続を管理できます WPA-PSK(TKIP) ：WEP に基づく改善された初期の認証暗号化方式は、セキュリティが低いため、推奨されません。ただし、一部の初期の端末デバイスが WPA をサポートしていない場合には、利用することができ	デフォルト値：WPA2-PSK(AES) サポートしている方式： WPA2-PSK(AES) WPA3-SAE(AES) WPA2-PSK & WPA3-SAE (AES) Open(None) WAP-PSK & WPA2-PSK(AESTKIP) WPA-PSK(TKIP)

	ます。 WPA2-PSK : WPA 共有キーに基づく、より高度なバージョンの暗号化認証方式は、高いセキュリティ性を持ち、一般の家庭ユーザーや小規模企業にお勧めします。 WPA/WPA2-PSK : WPA-PSK および WPA2-PSK の混合モードであり、WPA2 をサポートしていない端末でも下位互換性があります。 WPA3-SAE : WPA2 よりも安全な個別化された暗号化です。ただし、デバイスは WPA3 暗号化をサポートしている必要があります。 WPA2-PSK & WPA3-SAE : WPA2-PSK および WPA3-SAE の混合モードで、WPA3 に対応していない端末でも下位互換性があります。	
Wi-Fi パスワード	SSID パスワードは少なくとも 8 文字以上になります。初期パスワードはセキュリティの観点から変更することを推奨します。	デフォルト値：製品のシールに表示されている工場出荷時の初期値で、ランダムに設定されています。
SSID 非表示	場合によりセキュリティを考慮し、SSID を非表示にし、他者からその SSID 名を見つからないようにすることができます。ただし、携帯電話などのデバイスの Wi-Fi 検索機能を使えばこれらの SSID に接続することができます。また、すでに認識された端末も影響を受けません。	デフォルト値：無効 有効/無効を設定することができます

デュアルバンド同時を無効にすると（下の図の赤枠内）、図のような設定画面が表示されます。2.4G チャンネルと 5G チャンネルを個別に設定できます。



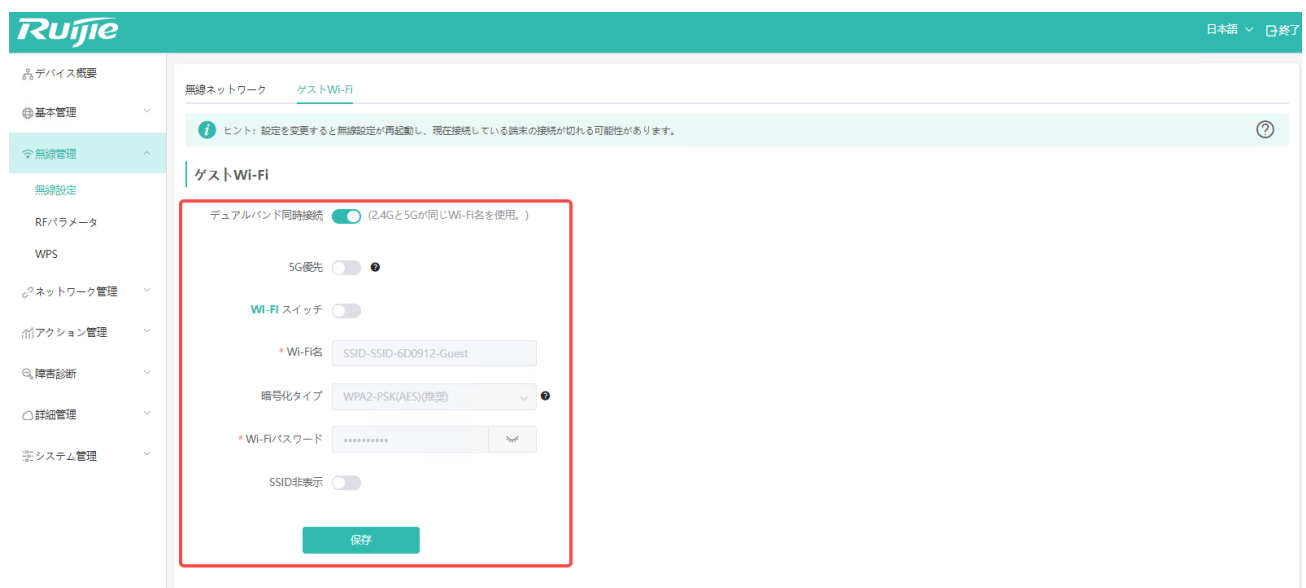
SSID 2 グループを選択して設定すると、追加のスイッチが表示されます。下の図の赤枠で示した部分です。（Wi-Fi 5 互換モード）



このパラメータは SSID 2 グループでのみ使用できます。説明は次の通りです。

設定項目	説明	デフォルト値/オプション
Wi-Fi 5 互換モード	この AP は 802.11ax (Wi-Fi 6) 規格のデバイスです。802.11ax のプロトコルでは旧プロトコル (Wi-Fi 5) との互換性が配慮されていますが、一部のノート PC 端末はドライバが古いなどの原因によりこのデバイスの発する 802.11ax 信号を認識することはできません。このスイッチは、この SSID グループを 802.11ac 互換モードに設定し、上述の一部端末・デバイスを認識できるようにするためのものです。ただし、これらの端末では Wi-Fi 6 デバイスの新しい性能を活かすことはできません。	デフォルト値：無効 有効/無効を設定することができます

「無線設定」の設定には、「無線ネットワーク」タブのほかに、下の図の通り「ゲスト Wi-Fi」タブがあります。



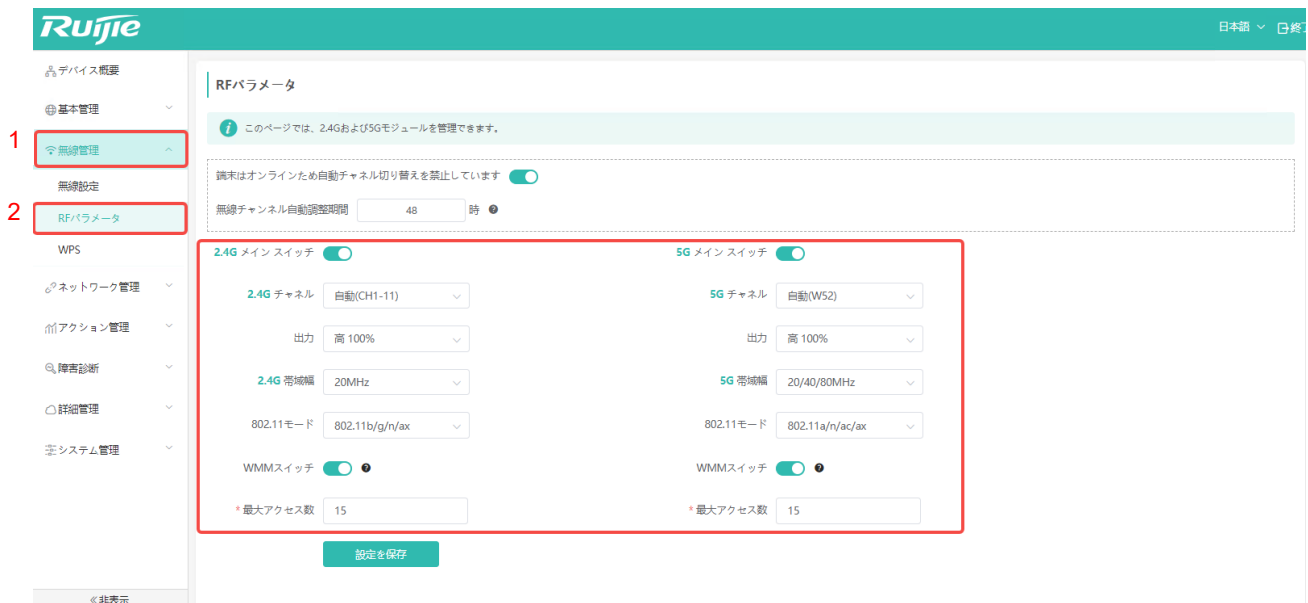
この画面の各設定は「無線ネットワーク」の SSID 1～SSID 5 グループと同様です。異なる点は、この SSID グループで発する信号がゲストのアクセス専用となっていることです。ゲストは、この SSID に関連付けられた後、アクセスがインターネットに限定され、ルータモードでローカルネットワークにアクセスできなくなります。

2.4 無線電波設定

この機能を使用して、2.4GHz 及び 5GHz 周波数帯の無線電波のパラメータを調整し、ネットワーク構成を最適化します。

具体的な操作手順は以下のとおりです。

- 1 Web パネル上の「無線管理」（図の「1」の部分）をクリックします。
- 2 「RF パラメータ」（図の「2」の部分）をクリックすると、この項目を設定できます。



2.4.1 2.4 GHz 帯電波設定

Ruijie 日本語

RFパラメータ

このページでは、2.4Gおよび5Gモジュールを管理できます。

端末はオンラインため自動チャンネル切り替えを禁止しています ☒

無線チャンネル自動変更時間 48 時

2.4G メイン スイッチ ☒

2.4G チャンネル 自動(CH1-11)

出力 高 100%

2.4G 帯域幅 20MHz

802.11モード 802.11b/g/n/ax

WMMスイッチ ☒

* 最大アクセス数 15

5G メイン スイッチ ☒

5G チャンネル 自動(W52)

出力 高 100%

5G 帯域幅 20/40/80MHz

802.11モード 802.11a/n/ac/ax

WMMスイッチ ☒

* 最大アクセス数 15

設定を保存

設定項目	説明	デフォルト値/オプション
2.4G メイン スイッチ	2.4 GHz 信号を発信するかどうかを一括設定します。無効にすると、2.4 GHz 信号がすべてオフになります。	デフォルト値：有効。 オプション：有効/無効。
2.4G チャンネル	2.4 GHz のチャンネルを設定します。固定値を 1 つ選択すること、1～11 チャンネルまたは 1～13 チャンネルでの自動選択とすることもできます。	デフォルト値：自動(1-11)。 オプション：自動(1-11), 自動(1-13), 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13
出力	2.4 GHz 信号の出力を設定します。	デフォルト値：高 100% オプション：高 100%, 中 60%, 低 40%
2.4G 帯域幅	2.4 GHz チャンネルの帯域幅を設定します。固定帯域幅、または 20/40MHz の自動切り換えを選択できます。	デフォルト値：20 MHz オプション：20 MHz, 40 MHz, 20/40 MHz
802.11 モード	2.4 GHz 信号の無線動作モードを設定します。	デフォルト値：802.11b/g/n/ax オプション：802.11b/g/n/ax, 802.11b/g/n, 802.11b/g
WMM スイッチ	WMM 機能のスイッチです。スイッチをオンにすると、WMM 機能がサポートされ、マルチメディアネットワークの通信品質を高めることができます。オンにすることを推奨しています。	デフォルト値：有効。 オプション：有効/無効
最大アクセス数	2.4G 帯において対応可能な最大アクセス数	デフォルト値：15 オプション：1～15

2.4.2 5 GHz 帯電波設定

Ruijie 日本語 終了

デバイス概要

基本管理

無線管理

無線設定

RFパラメータ

WPS

ネットワーク管理

アクション管理

障害診断

詳細管理

システム管理

RFパラメータ

このページでは、2.4Gおよび5Gモジュールを管理できます。

端末はオンラインのため自動チャネル切り替えを禁止しています ☒

無線チャネル自動調整期間 24 時

2.4G メイン スイッチ ☒

2.4G チャネル 自動(CH1-11)

出力 高 100%

2.4G 帯域幅 20MHz

802.11モード 802.11b/g/n/ax

WMMスイッチ ☒

*最大アクセス数 15

5G メイン スイッチ ☒

5G チャネル 自動(W52)

出力 高 100%

5G 帯域幅 20/40/80MHz

802.11モード 802.11a/n/ac/ax

WMMスイッチ ☒

*最大アクセス数 15

設定を保存

設定項目	説明	デフォルト値/オプション
5G メイン スイッチ	5GHz 信号を発信するかどうかを一括設定します。無効にすると、5GHz 信号がすべてオフになります。	デフォルト値：有効。 オプション：有効/無効。
5G チャネル	5GHz のチャネルを設定します。固定値を 1 つ選択することも、範囲を選択して自動選択とすることもできます。	デフォルト値：自動(W52)。 オプション： 自動(W52), 自動(W52+W53), 自動(W52+W53+W56), 36,40,44,48,52,56,60,64,100,104,108, 112,116,120,124,128,132,136,140
出力	5GHz 信号の出力を設定します。	デフォルト値：高 100% オプション：高 100%, 中 60%, 低 40%
5G 帯域幅	5GHz チャネルの帯域幅を設定します。固定帯域幅、または自動切換えを選択できます。	デフォルト値：20/40/80 MHz オプション：20 MHz, 20/40 MHz, 20/40/80 MHz
802.11 モード	5GHz 信号の無線動作モードを設定します。	デフォルト値：802.11a/n/ac/ax オプション：802.11 a/n/ac/ax, 802.11a/n/ac, 802.11a/n, 802.11a
WMM スイッチ	WMM スイッチ。スイッチをオンにすると、WMM 機能がサポートされ、マルチメディアネットワークの通信品質を高めることができます。オンにすることを推奨しています。	デフォルト値：有効。 オプション：有効/無効
最大アクセス数	5G 帯において対応可能な最大アクセス数	デフォルト値：15 オプション：1~15

⚡ 5G チャンネルを固定チャンネルに設定した場合、帯域幅の自動切り替えは現時点では AP 基層アルゴリズムの関係でサポートされません。このため、選択された場合も実際は 20/40/80 MHz 間の自動切り替えは行われませんのでご注意ください。

2.4.3 その他の設定

下の図のとおり、自動チャンネルと自動帯域幅設定が有効になると、デバイスは設定されたサイクルでチャンネルの検出と帯域幅のスキャンを行い、最適なチャンネルと帯域幅を再選択します。

The screenshot shows the 'RF Parameters' page in the Ruijie Web-GUI. The left sidebar contains navigation links: 製品デバイス概要, 基本管理, 無線管理, 無線設定, RFパラメータ, WPS, ネットワーク管理, アクション管理, 障害診断, 詳細管理, システム管理. The main content area is titled 'RFパラメータ' and includes a message: 'このページでは、2.4Gおよび5Gモジュールを管理できます。'. Below this, there are two sections for 2.4G and 5G modules. Each section has a 'Main Switch' (メインスイッチ) toggle, which is turned on. Under each switch, there are dropdown menus for 'Channel' (チャンネル), 'Output' (出力), 'Bandwidth' (帯域幅), and '802.11 Mode' (802.11モード). There are also 'WMM Switch' (WMMスイッチ) toggles and 'Maximum Access Count' (最大アクセス数) input fields. A red box highlights the 'Wireless Channel Automatic Adjustment Interval' (無線チャンネル自動調整期間) setting, which is set to 24 hours. The 'End User' (端末はオンラインのため自動チャンネル切り替えを禁止しています) toggle is also visible, set to 'Disabled'.

設定項目	説明	デフォルト値/オプション
端末はオンラインため自動チャンネル切り替えを禁止しています	端末がオンラインの間は、チャンネルと帯域幅の切り替えは許可されません。	デフォルト値：有効。 オプション：有効/無効。
無線チャンネル自動調整期間	デバイスがチャンネル自動調整を行う時間間隔を設定します。デフォルトでは、24 時間間隔でチャンネルを自動選択するようになっています。	デフォルト値：24 時間。 オプション：1~48 時間

2.5 企業のお客様への追加説明

2.5.1 デバイス管理

このデバイスでは、ページ左側のパネルにユーザにとって便利なデバイス管理メニューが用意されています。



2.5.2 アクセスポイントモードの設定

このページではデバイスをブリッジモードに設定できます。

- 具体的な操作手順は以下のとおりです。

- 1 パネルの「基本管理」（図の「1」の部分）をクリックします。
- 2 「モード切替」（図の「2」の部分）をクリックします。
- 3 ここで「AP モード」を選択できます。ブリッジモードとも呼ばれます。（図の「3」の部分）

Ruijie 日本語 終了

1 基本管理

2 モード切替

モード切替

現在の動作モードは **APモード** です。以下のモードを選択して、保存・切り替えができます。

☐ ルータモード ☒ APモード

APモード
APモードでは、有線でマスター / スレーブルータ間を接続することで、ネットワークのカバー範囲を拡張できます。

動作モード **すでにAPモードになっています**

進む "外部ネットワーク設定" インターネット接続方式の変更

IPアドレス **192.168.2.101**

保存

ブリッジモードでは、デバイスに管理アドレス 192.168.110.1 が設定されます。AP（ブリッジ）モードでは、上位ネットワークへの接続がなければ、下位クライアントは DHCP を取得できません。この場合、クライアントは管理アドレスと同じネットワークセグメントの IP を設定することにより、管理アドレス経由で Web トップページにアクセスし、管理を行うことができます。

2.5.3 ルータモードの設定

- ブリッジモードでは、携帯電話などの端末デバイスは AP の上位ネットワークから IP アドレスを取得します。上位ネットワークがない場合、または上位ネットワークが IP アドレスを提供していない場合、携帯電話端末が無線から接続できないことがあります。携帯電話または有線端末上で IP アドレスを 192.168.110.x に設定した上で、デバイス設定ページ 192.168.110.1 にアクセスしてください。
- ルータモードのデフォルト設定では、携帯電話などの端末デバイスは AP から 192.168.110.x セグメントの IP アドレスを取得するようになっていきます。端末デバイスは 192.168.110.1 または <https://rjap.jp> からデバイス設定ページにアクセスすることができます。ルータモードの設定ページは、デフォルト設定では図の赤枠内のように表示されます。



設定項目	説明	デフォルト値/オプション
ネットワーク接続タイプ	AP の端末に対するアドレス割り当て方式を設定します。DHCP/固定 IP から選択できます	デフォルト値：DHCP オプション：DHCP/固定 IP

📖 動的 IP 方式を選択すると、デフォルトでは 192.168.110.100～192.168.110.200 のアドレスを端末に割り当てるようになっています。デフォルトゲートウェイは 192.168.110.1、デフォルトマスクは 255.255.255.0 になっています。その他の方式の選択については、以下の説明をご覧ください。

- 固定 IP 方式を選択した場合、設定ページは下の図の赤枠のように表示されます。

モード切替

現在の動作モードは **APモード** です。以下のモードを選択して、保存・切り替えができます。

☒ ルーターモード ☐ APモード

ルーターモード
ルーターモードでは、無線ルーターを光モデムのブロードバンドに接続し、インターネット接続をアレンジできます。

* ネットワーク接続タイプ

* IPアドレス

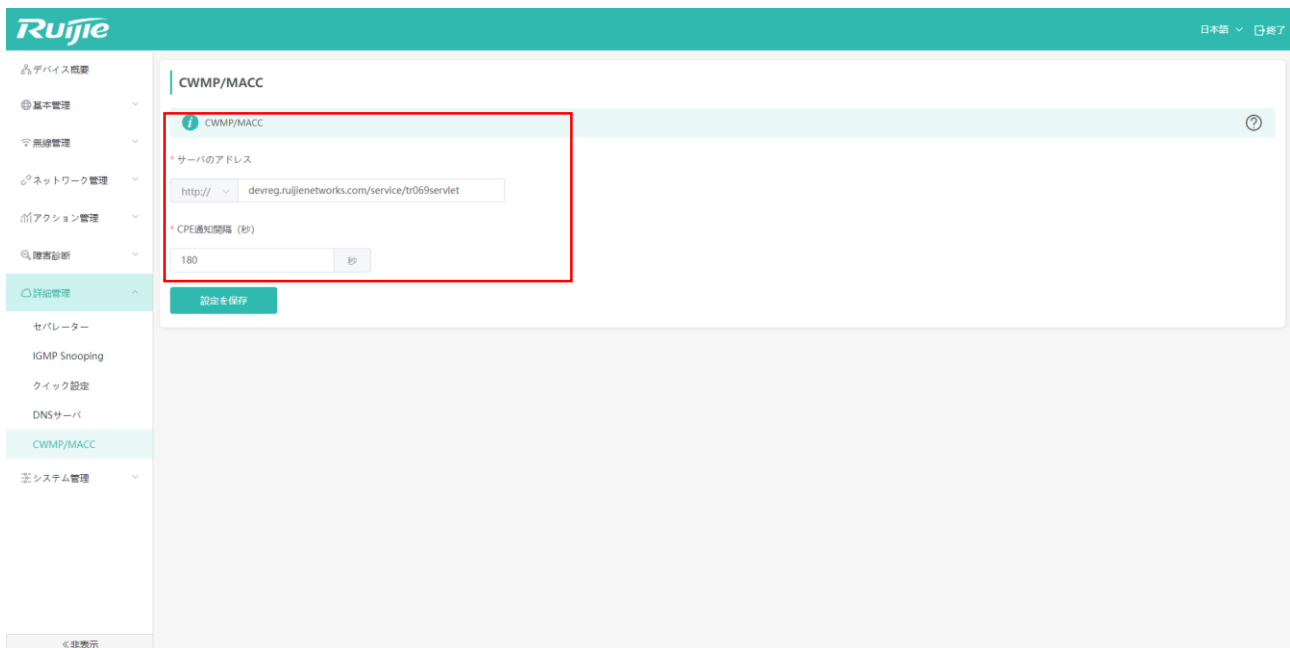
* サブネットマスク

* ゲートウェイ

* DNSサーバ

設定項目	説明	デフォルト値/オプション
ネットワーク接続タイプ	AP が端末にアドレス割り当てる方式を設定します。DHCP/固定 IP から選択できます	デフォルト値：DHCP オプション：DHCP/固定 IP。 ※固定 IP 方式を選択した場合、AP はユーザが設定した IP アドレス情報を使用します。ユーザは、AP に再ログインして設定を行えるようにするため、自身の IP アドレスを AP と同じネットワークセグメントのアドレスに設定しなければならない場合があります。
IP アドレス	AP 側の設定に必要な IP アドレスです。	デフォルト値：N/A
サブネットマスク	AP 側の設定に必要なサブネットマスクです。	デフォルト値：N/A
ゲートウェイ	AP 側の設定に必要なゲートウェイアドレスです。	デフォルト値：N/A
DNS サーバ	AP 側の設定に必要な DNS サーバアドレスです。	デフォルト値：N/A

2.6 MACC 管理



RG-HA3515-DG 製品は MACC クラウド管理をサポートしていますが、クラウド管理を実現するためには、MACC 管理者が AP を MACC システムに追加する必要があります。特に問題がない限り、AP には追加の構成は不要で、URL と CPE 通知の間隔はデフォルト値を使用できます。具体的なクラウド管理の操作については、MACC のユーザーマニュアルを参照するか、Ruijie Networks のスタッフにお問い合わせください。

3 デバイス概要

ユーザが Web インターフェースにログインすると、デバイス概況画面が最初に表示されます（インターフェースは下の図のとおり）。インターフェースの内容は以下のとおりです。

- デバイス概況：オンラインユーザ数、ネットワークステータス、接続時間などの状態が表示されます。
- デバイス詳細情報：この AP デバイスの詳細情報、例えば型番、シリアルナンバー、MAC アドレス、ハードウェアバージョン、ソフトウェアバージョンを確認できます。
- 無線情報：この部分には、各 SSID に対応する具体的な情報、例えば名称、接続状況、暗号化状況が表示されます。
- インターフェース情報：各ポートの接続状態が色で表示されます。カーソルをポートの画像の上に置くと、そのポートの現在の通信速度を確認できます。

The screenshot displays the Ruijie Web-GUI interface for device management. The left sidebar contains navigation menus for various system functions. The main content area is titled 'デバイス概要' (Device Overview) and is divided into several sections:

- デバイス概況 (Device Overview):** Shows 'オンラインユーザ数' (Online User Count) as 0. It also displays 'ネットワーク接続ステータス' (Network Connection Status) as 'ネットワーク接続済み' (Network Connected), along with system boot and uptime times.
- デバイス詳細情報 (Device Detailed Information):** Provides details about the device model (RG-HA3515-DG), version (V1), serial number (8P1LM001011), MAC address (16:C2:30:6D:10:11), and hardware/software versions.
- 無線情報 (Wireless Information):** Lists wireless networks (SSID groups) and their status. It includes SSID names, encryption status, and signal strength indicators.
- インターフェース情報 (Interface Information):** Shows the status of network interfaces (WAN, LAN, LAN) with corresponding icons.

3.1 デバイス概況

構成項目	説明
オンラインユーザ数	有線、無線を合わせた現在のオンライン端末数です。
ネットワーク接続ステータス	インターネットへの接続状態を表示しています。オフラインになっている場合は未接続、オンラインになっている場合は接続済みです。
システム稼働	デバイスを最後に起動してからの累計稼働時間です。
システム時間	システムの現在時間です。

📖 インターネットの状態は、ネットワーク接続または DNS 解析、またはファイヤーウォールなどのその他の原因によりオフライン表示になることがあります。インターフェースの表示を更新するとステータス情報を再取得することができます。更新を繰り返してもオフライン表示が続く場合は、下位ネットワークの接続が正しくできているか確認してください。

3.2 デバイス詳細情報

デバイス概要

デバイス状況

オンラインユーザ数: 0

ネットワーク接続ステータス: ネットワーク接続済み

システム稼働: 1日間 01時 53分 52秒

システム時間: 2023-10-12 21:53:45

デバイス詳細情報

デバイス型番:	RG-HA3515-DG	シリアルナンバー:	8P1LM001011	MACアドレス:	16:C2:30:6D:10:11
ハードウェアバージョン:	V1	ソフトウェアバージョン:	MA_1.3(1)B9P1, Release(10212719), Revision(6a1bcbet15)/		

無線情報

SSID 1グループ	SSID 2グループ	SSID 3グループ
無線ネットワーク: SSID-SSID-6D1011 暗号化の有無: 有	無線ネットワーク: SSID-SSID-6D1011_Wi-Fi5 暗号化の有無: 有	無線ネットワーク: SSID-SSID-6D1011-3 暗号化の有無: 有
SSID 4グループ	SSID 5グループ	ゲストWi-Fi
無線ネットワーク: SSID-SSID-6D1011-4 暗号化の有無: 有	無線ネットワーク: SSID-SSID-6D1011-5 暗号化の有無: 有	ゲストWi-Fi: SSID-SSID-6D1011-G 暗号化の有無: 有

構成項目	説明
デバイス型番	デバイス製品の型番です。
ハードウェアバージョン	デバイスのハードウェアバージョン番号です。初期値は V1 です。
シリアルナンバー	デバイスのシリアルナンバーです。メーカーで製品を追跡するための唯一の標識になります。
ソフトウェアバージョン	デバイスの現行ソフトウェアバージョン番号です。
MAC アドレス	デバイスの MAC アドレスです。

「基本管理」->「ユーザリスト」の順にメニューを選択すると、接続している AP の端末情報を確認できます。この画面では、クライアントの IP アドレスも同時に確認できます。

ユーザリスト

ユーザブラックリスト / ホワイトリスト

ユーザリスト

All 2.4G 5G オンラインユーザ数: 0

更新 詳細検索

周波数帯	ユーザ名	MACアドレス	IPアドレス	SSID	関連時間	すきま時間	操作
-	Galaxy-S20-5G	0A:82:10:99:41:80	-		22秒	00秒	オフラインにする 速度制限

総計 1 件 20件/ページ 1 ページ目へ

3.3 Wi-Fi の状態

このエリアには、システムで現在使用可能な SSID について、SSID のオン/オフ、暗号化の有無などの概況が表示されます。システムでは最大 5 グループの汎用 SSID と、ゲストネットワーク用 SSID（ゲストネットワークは、ルータモードで使用され、この SSID に接続している端末デバイスはアクセス先が外部インターネットのみに限定され、ローカルネットワークにはアクセスできません）を設定することができます。下の図では、現在オンになっている SSID は SSID-SSID-6D1011 の 1 グループのみです。この SSID は暗号化されています。

The screenshot displays the Ruijie Web-GUI interface. The left sidebar contains navigation menus: 外部ネットワーク設定, IPv6設定, ユーザリスト, モード切替, 無線管理, ネットワーク管理, アクション管理, 障害診断, 詳細管理, システム管理. The main content area shows 'デバイス概要' (Device Overview) with 'オンラインユーザ数' (Online Users) at 0. Below this is 'デバイス詳細情報' (Device Detailed Information) and '無線情報' (Wireless Information). The '無線情報' section is highlighted with a red box and contains the following data:

SSID 1グループ	SSID 2グループ	SSID 3グループ
無線ネットワーク: SSID-SSID-6D1011 暗号化の有無: 有	無線ネットワーク: SSID-SSID-6D1011_Wi-Fi5 暗号化の有無: 有	無線ネットワーク: SSID-SSID-6D1011-3 暗号化の有無: 有

SSID 4グループ	SSID 5グループ	ゲストWi-Fi
無線ネットワーク: SSID-SSID-6D1011-4 暗号化の有無: 有	無線ネットワーク: SSID-SSID-6D1011-5 暗号化の有無: 有	ゲストWi-Fi: SSID-SSID-6D1011-Guest 暗号化の有無: 有

3.4 インターフェース情報

現在の有線ポートのステータスが表示されます。下の図では、システム上に3つの有線ポートがあります。使用中のポートは緑色、未使用のポートは灰色で表示されます。下の図では、1つ目と2つ目のポートが使用中になっています。

The screenshot displays the Ruijie Web-GUI interface. The top header is teal with the 'Ruijie' logo and a language dropdown set to '日本語'. A left sidebar contains navigation links: 'デバイス概要', '基本管理' (selected), '外部ネットワーク設定', 'IPv6設定', 'ユーザリスト', 'モード切替', '無線管理', 'ネットワーク管理', 'アクション管理', '障害診断', '詳細管理', and 'システム管理'. The main content area is titled '無線情報' and shows a table of wireless network groups. Below this, the 'インターフェース情報' section is highlighted with a red box, showing three network interfaces: WAN, LAN, and LAN. The WAN and first LAN ports are green, indicating they are active, while the second LAN port is grey, indicating it is inactive.

SSID 1グループ		SSID 2グループ		SSID 3グループ	
無線ネットワーク:	SSID-SSID-6D1011	無線ネットワーク:	SSID-SSID-6D1011_	無線ネットワーク:	SSID-SSID-6D1011-3
暗号化の有無:	有	暗号化の有無:	Wi-Fi5 有	暗号化の有無:	有

SSID 4グループ		SSID 5グループ		ゲストWi-Fi	
無線ネットワーク:	SSID-SSID-6D1011-4	無線ネットワーク:	SSID-SSID-6D1011-5	ゲストWi-Fi:	SSID-SSID-6D1011-G
暗号化の有無:	有	暗号化の有無:	有	暗号化の有無:	uest 有

インターフェース情報		
接続済み	未接続	
WAN	LAN	LAN

4 基本設定

基本設定は AP 設定に詳しいユーザ向けです。基本設定により、AP の性能を高め、ネットワーク設定を最適化することができます。

The screenshot shows the Ruijie Web-GUI interface. The left sidebar contains a menu with the following items: 基本管理 (Basic Management), 無線管理 (Wireless Management), ネットワーク管理 (Network Management), アクション管理 (Action Management), 障害診断 (Troubleshooting), 詳細管理 (Detailed Management), and システム管理 (System Management). The '基本管理' item is highlighted with a red box. The main content area is titled 'デバイス概要' (Device Overview) and includes sections for 'デバイス概況' (Device Overview), 'デバイス詳細情報' (Device Detailed Information), and '無線情報' (Wireless Information). The 'デバイス概況' section shows 'オンラインユーザ数' (Online User Count) as 0 and 'ネットワーク接続ステータス' (Network Connection Status) as 'ネットワーク接続済み' (Network Connected). The 'デバイス詳細情報' section displays device details such as 'デバイス型番' (Device Model) RG-HA3515-DG, 'ハードウェアバージョン' (Hardware Version) V1, 'シリアルナンバー' (Serial Number) 8P1LM001011, 'ソフトウェアバージョン' (Software Version) MA_1.3(1)B9P1, 'MACアドレス' (MAC Address) 16:C2:30:6D:10:11, and 'システム時間' (System Time) 2023-10-12 22:01:27. The '無線情報' section shows wireless network configurations for SSID 1 through SSID 5, including SSID names, SSIDs, and whether wireless networks are enabled.

詳細設定の基本メニュー一覧は以下のとおりです。

メニュー項目	説明
基本管理	動作モード、ポートの特性、ブラックリストとホワイトリストの設定、および端末情報の表示を行います。
無線管理	SSID と Radio パラメータを設定します。
ネットワーク管理	VLAN パラメータの設定と確認を行います
アクション管理	DNS/URL ブラックリスト/ホワイトリスト、インターフェースセキュリティなどの安全設定を行います。
障害診断	Ping、Trace などの故障診断ツールです。

4.1 基本管理

4.1.1 WAN 設定（ルータモードが有効の場合）

ルータモードでは、WAN ポートの IP アドレス割り当て方式を変更することでインターネットに接続できます。

「基本管理」->「WAN 設定」の順にクリックして画面に入り、「IP アドレス」を直接確認することで WAN ポートの IP アドレスを知ることができます。



その他の IP アドレス割り当て方式を設定する場合は「ネットワーク接続タイプ」をクリックして選択します。「動的 IP」、「固定 IP」の 2 種類が用意されています。具体的な設定については、2 章 5 節の「ルータモードの設定」をご参照ください。

4.1.2 LAN 設定

ルータモードでは、「LAN 設定」で DHCP アドレスプールの初期設定を変更することができます。

- 「基本管理」 -> 「LAN 設定」の順にクリックして設定画面に入ります。



- 「変更」をクリックして DHCP アドレスプールを表示させます。



設定項目	説明	デフォルト値/オプション
IP アドレス	DHCP で通知するゲートウェイ IP アドレスです。	デフォルト値：192.168.110.1
サブネットマスク	DHCP で通知するゲートウェイ IP アドレスのネットマスクです。	デフォルト値：255.255.255.0
DHCP サービス	DHCP アドレスプールのオン/オフ切り替えです。無効にした場合、端末に IP アドレスを割り当てることができませんので、無効にすることは推奨しません。	デフォルト値：有効 有効/無効/DHCP 転送を設定することができます

アドレスリースタイム (分間)	割り当てられた IP アドレスの有効期限です。期間が過ぎた IP アドレスは回収され、端末から IP アドレスの割り当てを再度要求する必要があります。	デフォルト値：1440 分(24 時間) 2～2880 分の間で設定できます。
DHCP サーバ開始アドレス	IP アドレスプールの範囲の開始アドレスです。	デフォルト値：192.168.110.100
DHCP サーバ終了アドレス	IP アドレスプールの終了アドレスです。	デフォルト値：192.168.110.200
ゲートウェイ	端末に割り当てるゲートウェイです。	デフォルト値：192.168.110.1
DNS サーバ	端末の DNS サーバアドレスです。	デフォルト値：192.168.110.1

 ルータモードでは、WAN ポートに 192.168.110.XX セグメントの IP アドレスを割り当てた場合、WAN ポートとの IP アドレス競合を回避するため、LAN 側の DHCP アドレスプールを 192.168.111.XX セグメントに変更します。ゲートウェイは 192.168.111.1、開始アドレスは 192.168.111.100、終了アドレスは 192.168.111.200 となります。その他の設定は変更しません。

4.1.3 IPv6 設定

設定パネルのメニューを「基本管理」-> 「IPv6 設定」の順に開くと、IPv6 の項目設定に入ります。



IPv6 設定画面で設定することのできる項目は以下のとおりです。

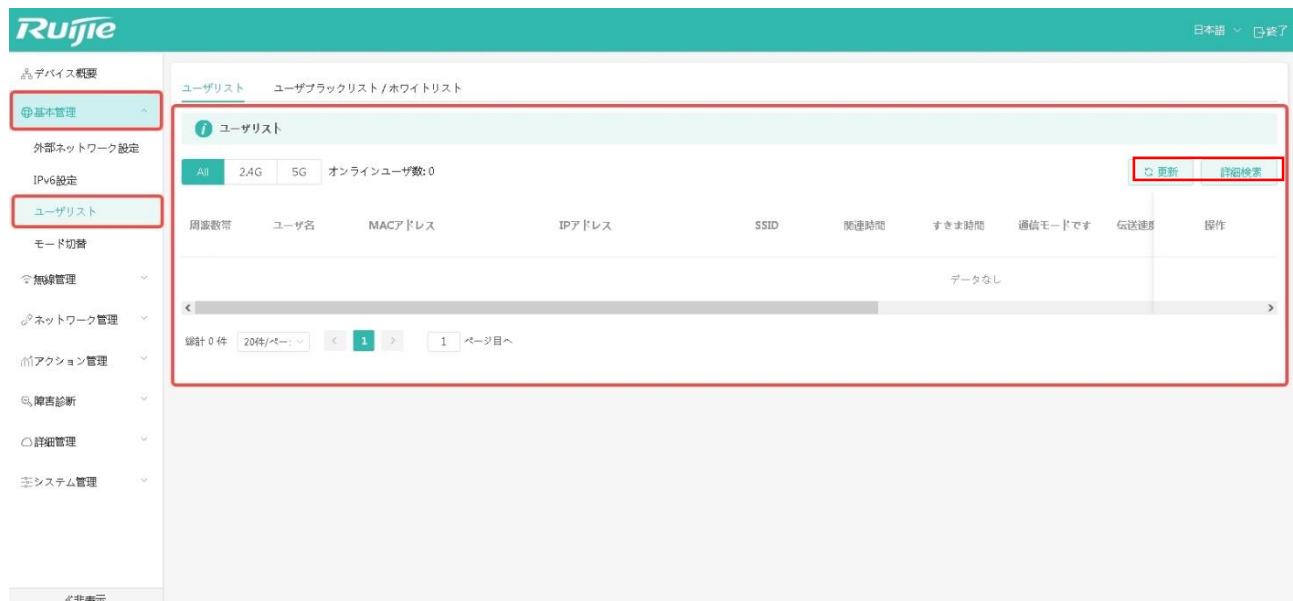
設定項目	説明	デフォルト値/オプション
IPv6 パススルー	IPv6 パケットをブロックするかどうかを設定します。この設定を有効する場合、IPv6 パケットは無線クライアントに送信できます。※ただし、両方のデバイスが互いのローカルリンクアドレスを既に学習している場合、この機能は無効になります。	デフォルト値：有効。 オプション：有効/無効。
IPv6 設定	AP がルータモードで IPv6 サービスを提供するかどうかを設定します。「Only IPv4」を選択すると、AP はクライアントに IPv4 のアドレスのみを提供します。「IPv4&IPv6」を選択すると、AP はクライアントに IPv4 および IPv6 のアドレスを割り当てます。	デフォルト値：IPv4&IPv6 オプション：Only IPv4, IPv4&IPv6

📖 AP モードのデフォルト設定では、IPv6 パススルーが有効になっているので、遮断は行われません。

📖 IPv6 設定で「IPv4&IPv6」を選択すると、IPv6 のサポートに不備のある一部のアプリの使用に問題が生じることがありますので、ご注意ください。

4.1.4 ユーザリスト

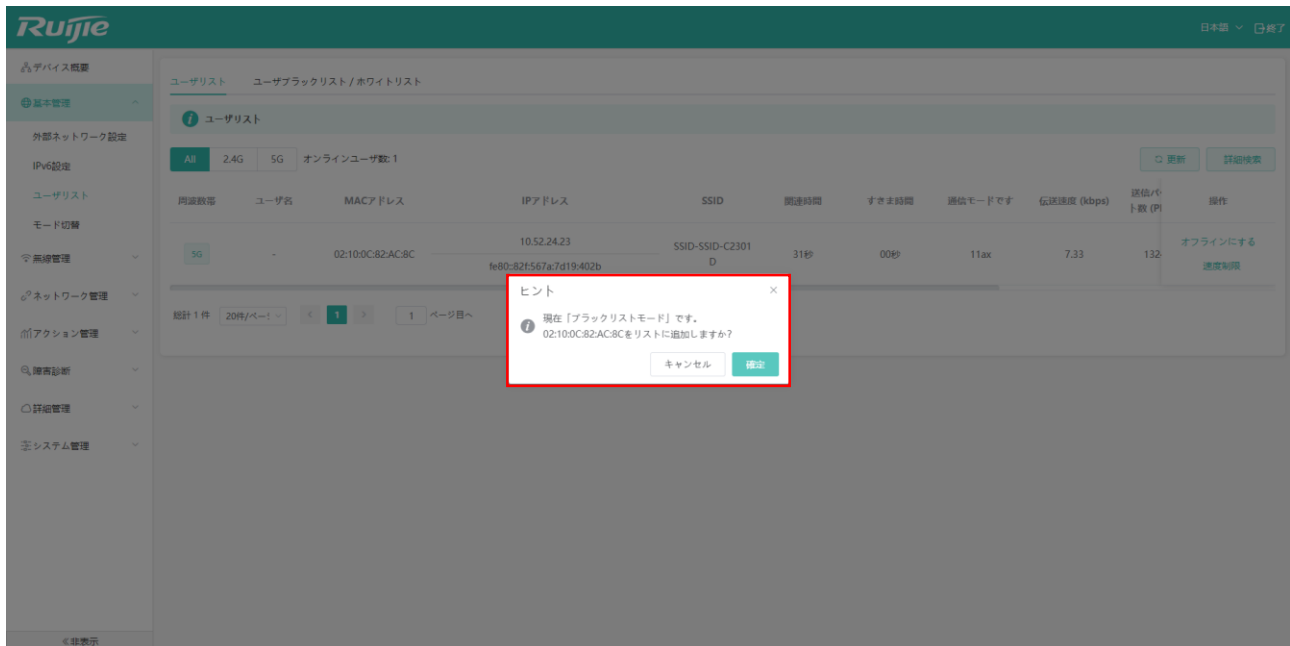
デバイスのトップページから「基本管理」->「ユーザリスト」の順にクリックすると現在のユーザリストを確認できます。



項目	説明
周波数帯	クライアントが無線端末の場合、現在の接続している 2.4G/5G が表示されます。
ユーザ名	PC など一部のクライアントでは、システムの初期設定でホスト名が設定されていることがあります。その場合は、このエリアに表示されます。
MAC アドレス	クライアントの MAC アドレスです。
IP アドレス	クライアントの IP アドレスです。
SSID	端末の SSID 名です
関連時間	クライアントがオンラインになってからの時間です。
スキマ時間	クライアントがアクティブでないまたはデータ転送が行われていない期間です。
通信モードです	無線端末の接続規格です。例えば 802.11a/b/g/n/ac/ax 等。
伝送速度	クライアントが無線端末の場合、このエリアに伝送速度が表示されます。単位は Mbps です。この値はリアルタイムで更新されません。更新するためにはページを再読み込みする必要があります。
受信パケット数	クライアントが無線端末の場合、このエリアには受信パケット数が表示されます。
送信パケット数	クライアントが無線端末の場合、このエリアには送信パケット数が表示されます。
信号強み	クライアントが無線端末の場合、このエリアには AP がクライアントから受け取る信号の強さが表示されます。
RSSI	クライアントが無線端末の場合、このエリアには無線信号の強さが表示されます。RSSI はマイナスイ値で表示され、数値が大きくなるほど信号が強いことを示しています。
ステータス	このエリアにはクライアントのオンライン/オフライン状態が表示されます。
接続方式	このエリアにはクライアントの接続の種類が表示されます。「無線 (Wireless)」で表示されます。
操作	このエリアでは、項目を選択してクライアントに対する簡単な管理操作が行えます。実行できる管理操作は、「変更」と「速度制限」の 2 項目です。
更新	ページ上の各情報はリアルタイムで更新されません。このボタンを押すとページの再読み込みが行われ、ボタンを押した時点の最新のステータスを取得することができます。
詳細検索	ページに表示される端末が多すぎる場合、このボタンを押すと特定端末の MAC アドレスを検索して単独表示させることができるので、確認に便利です。

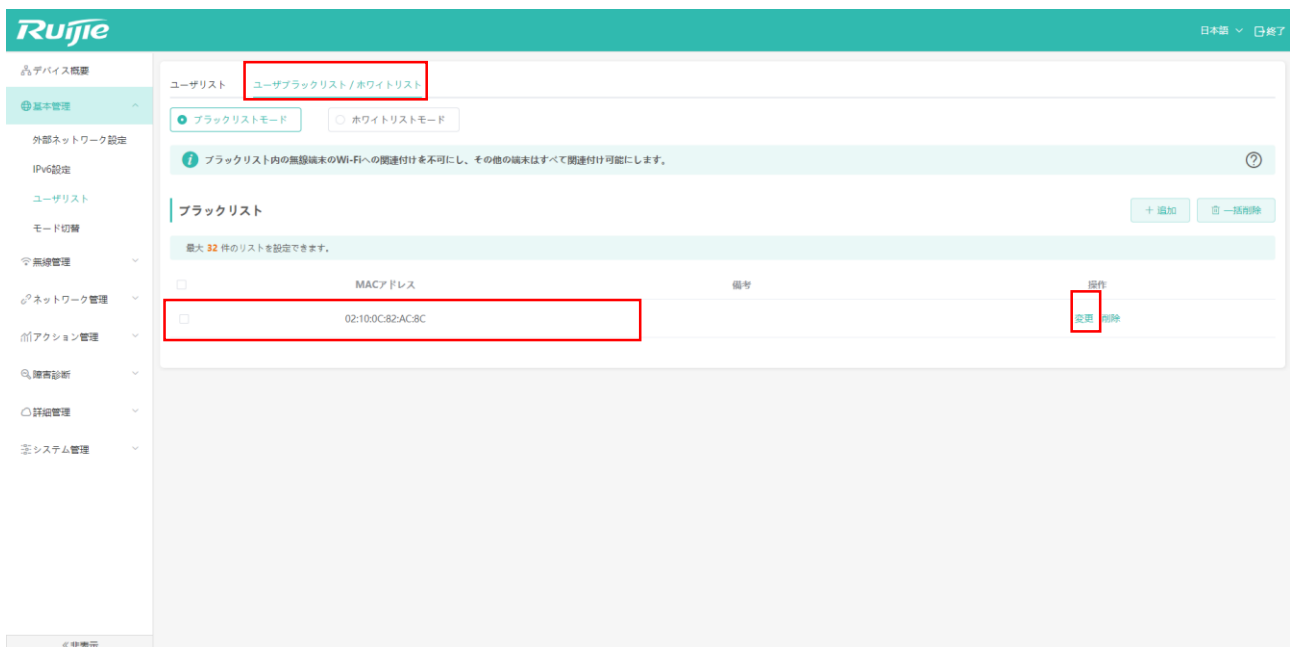
「操作」の中「オフラインにする」と「速度制限」についての説明は以下のとおりです。

- 「オフラインにする」をクリックすると、下のようなウィンドウが表示されます。

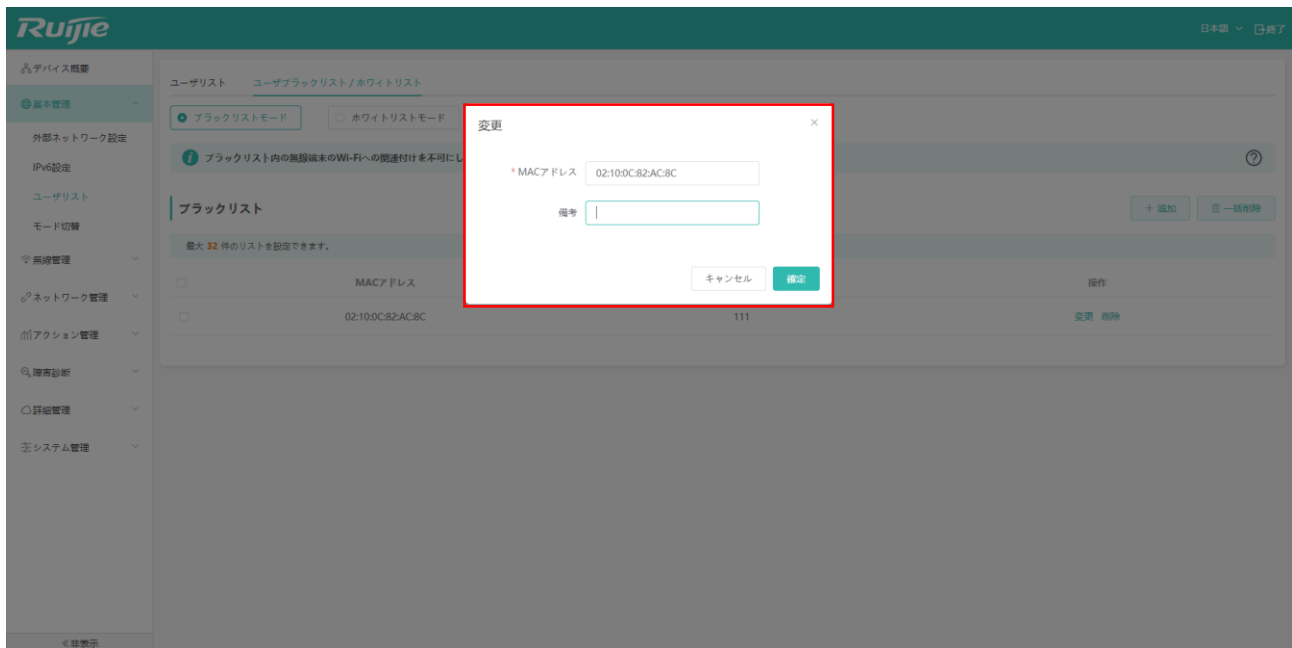


上記の画面では、クライアントをブラックリストに追加するかどうかが表示されており、ブラックリストに追加されたクライアントはAPに正常に接続できなくなります。"ブラックリスト/ホワイトリスト"を使用して確認できます。

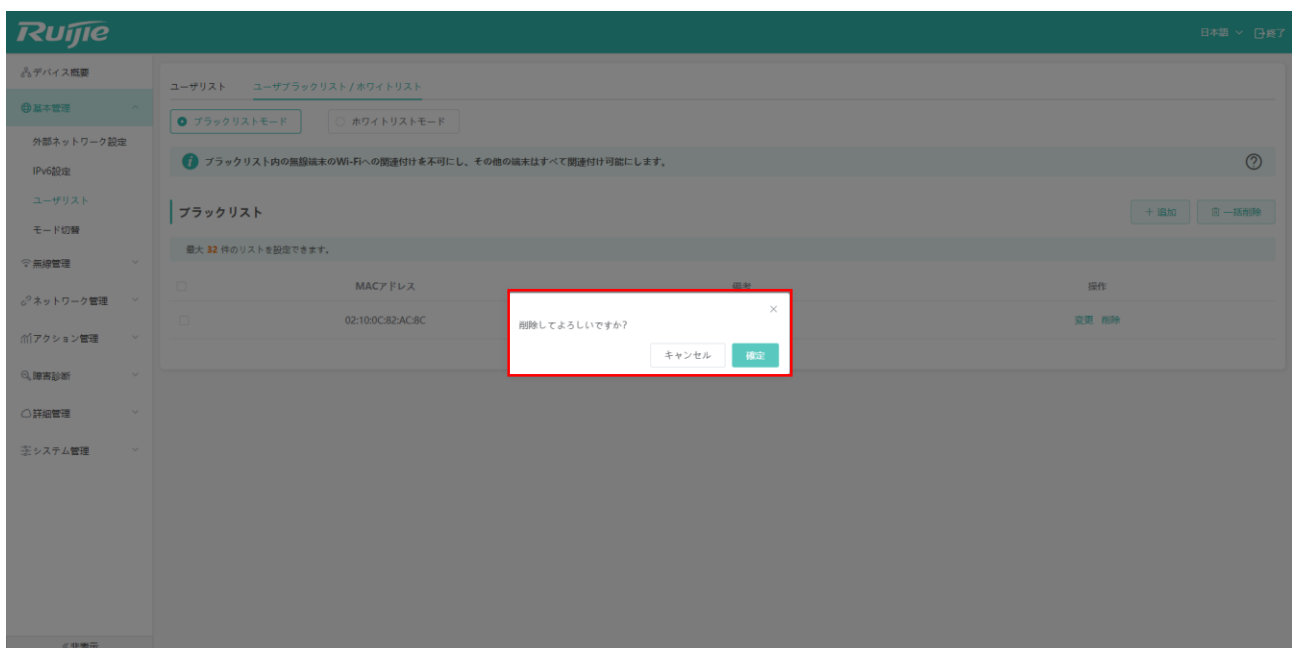
- 「ブラックリスト/ホワイトリスト」をクリックすると、以下の画面のようにブラックリストに追加されたクライアントのMACアドレスが表示されます。



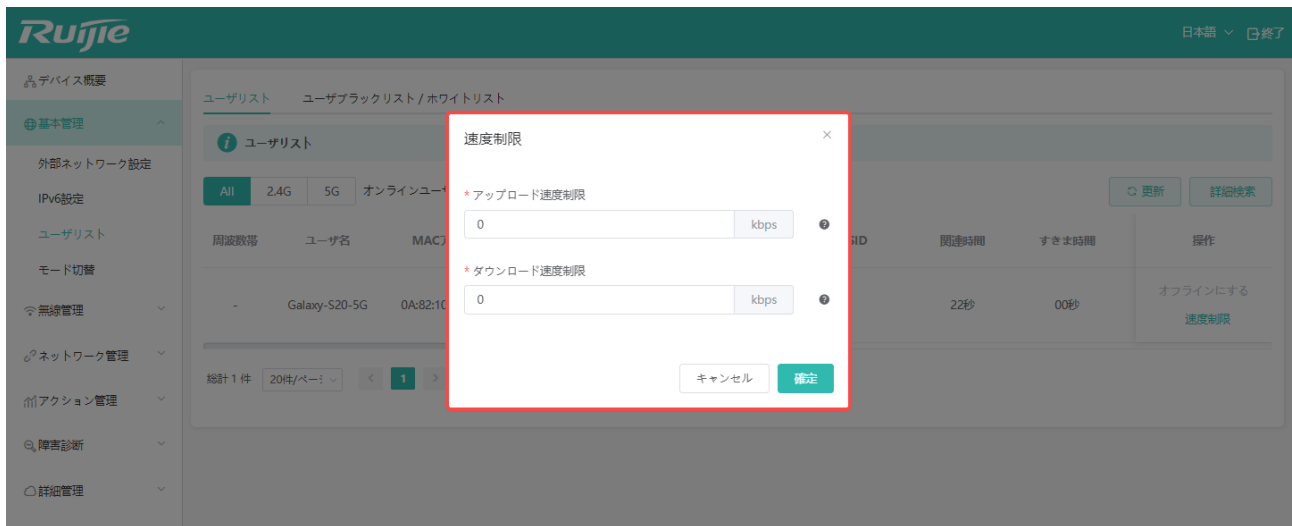
- 以下の画面のようにブラックリスト内の特定のクライアントを選択し、変更をクリックすると、クライアントのMACアドレスと備考を修正できます。



- 以下の画面のように「削除」をクリックすると、クライアントをブラックリストから削除し、クライアントは正常にAPに接続できるようになります。



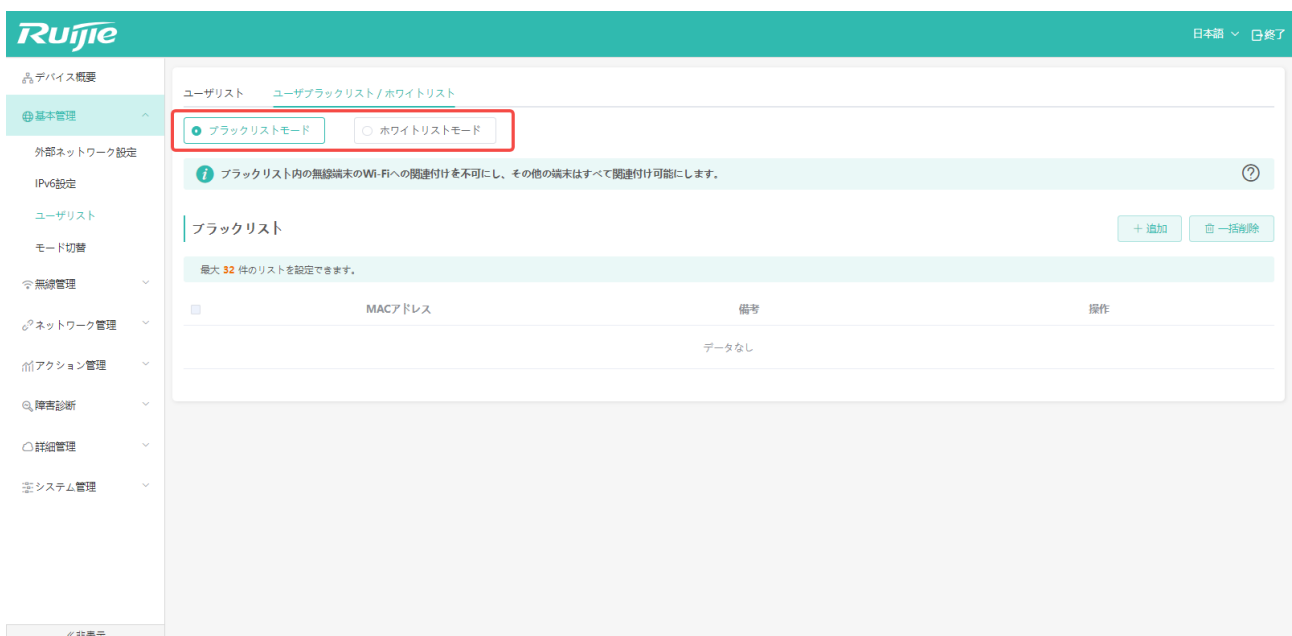
- 「速度制限」をクリックすると、下のようなウィンドウが表示されます。（この項目は、クライアントのアップロード、ダウンロード伝送速度を設定するためのものです）

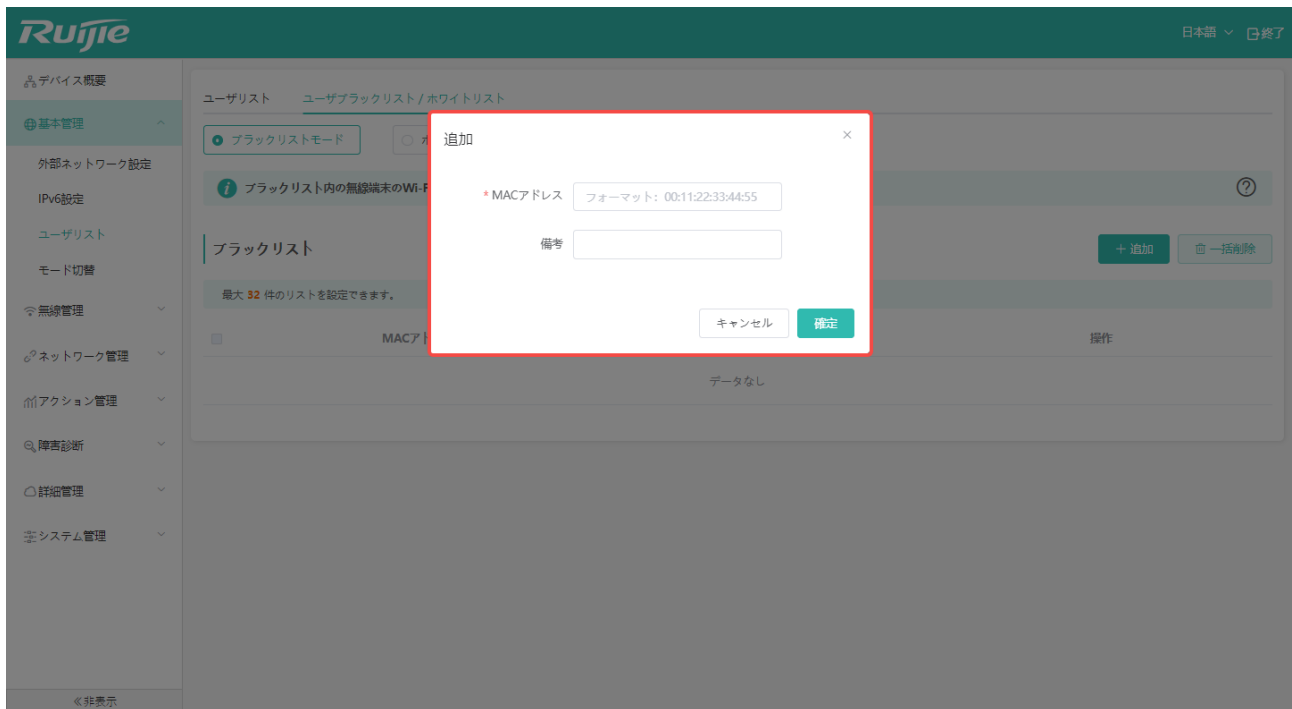


設定項目	説明	デフォルト値/オプション
アップロード速度制限	この項目を設定すると、クライアントのアップロード速度が制限されます。単位は kbps です。100 に設定した場合、クライアントのアップロード速度が 100kbps 以内に制限されます。	デフォルト値：0。 アップロード速度は制限されません。
ダウンロード速度制限	この項目を設定すると、クライアントのダウンロード速度が制限されます。単位は kbps です。100 に設定した場合、クライアントのダウンロード速度が 100kbps 以内に制限されます。	デフォルト値：0。 ダウンロード速度は制限されません。

■ ユーザブラックリスト／ホワイトリスト

ブラックリスト/ホワイトリストは無線クライアントにのみ有効になります。「追加」ボタンをクリックすると、指定する MAC アドレスをブラックリスト/ホワイトリストに追加できます。MAC アドレスがブラックリストに追加された無線クライアントは AP との関連付けができなくなります。「備考」欄では、識別用に MAC アドレスに「私のケータイ」など任意の文字を入れることができます。ホワイトリストモードでも、追加方法はブラックリストと同じです。設定が成功した後は、リスト内の MAC アドレスを持つ無線クライアントのみしか関連付けられなくなります。





4.1.5 モード切替

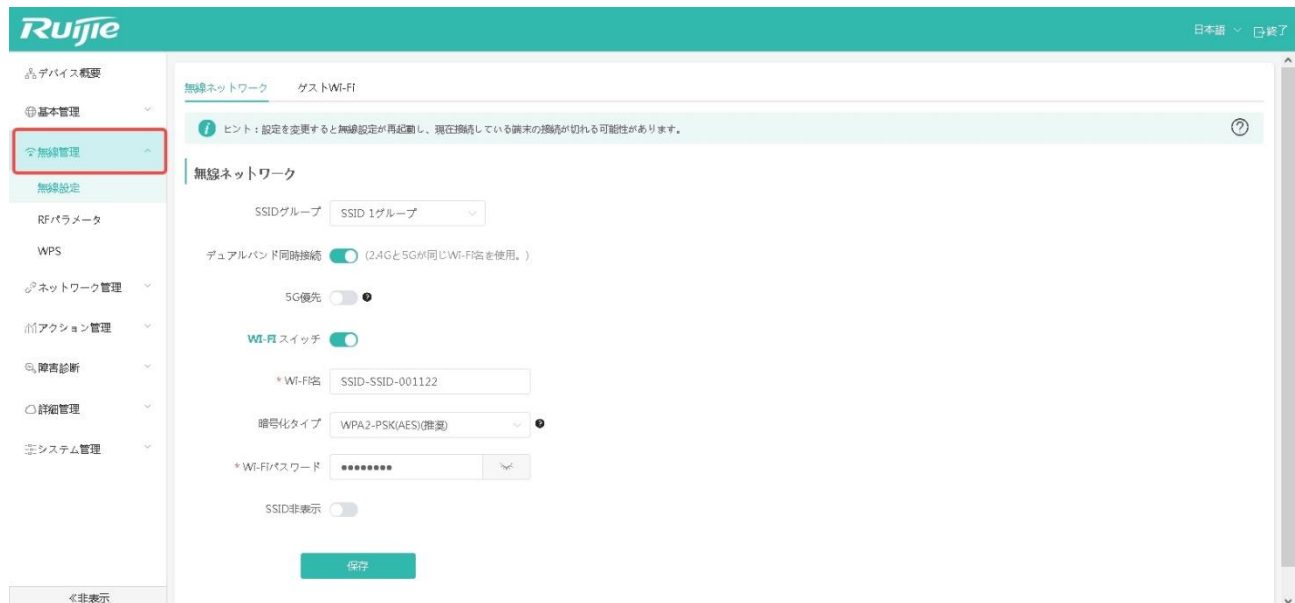
メニューを「基本管理」 -> 「モード切替」の順に開くと、デバイスの動作モードを選択設定できるようになります。



具体的には、2章5節2項の「アクセスポイントモードの設定」と2章5節3項の「ルーターモードの設定」をご参照ください。

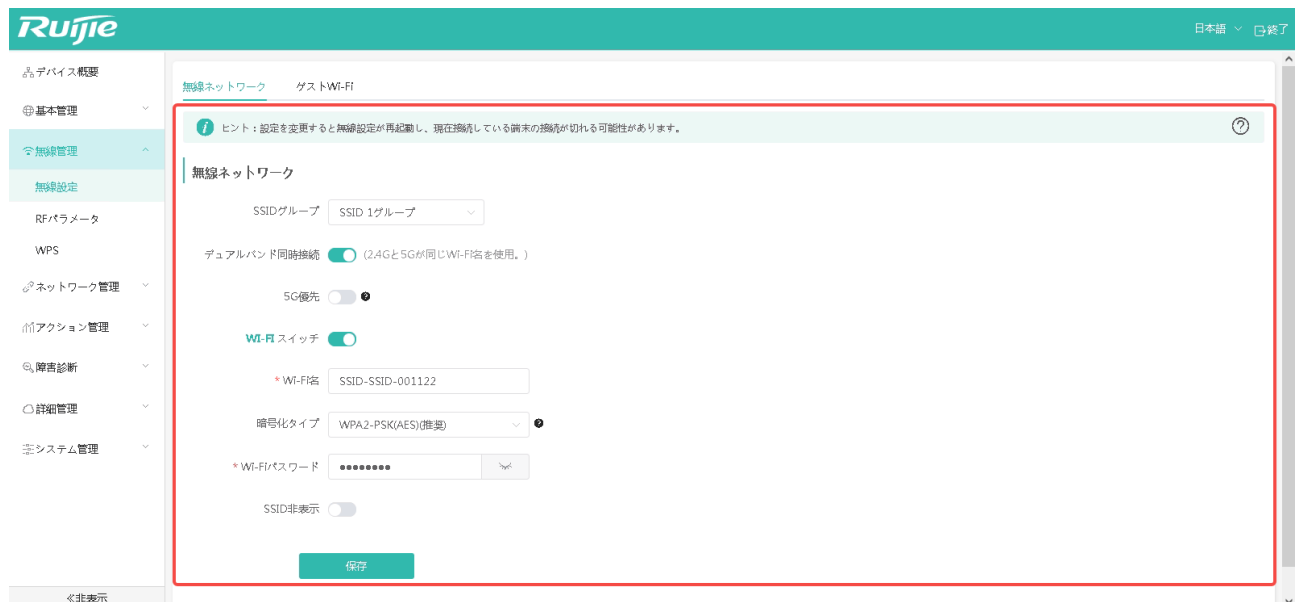
4.2 無線管理

無線管理の設定ページは、左側パネルの「無線管理」メニューの中にあります。



4.2.1 無線設定

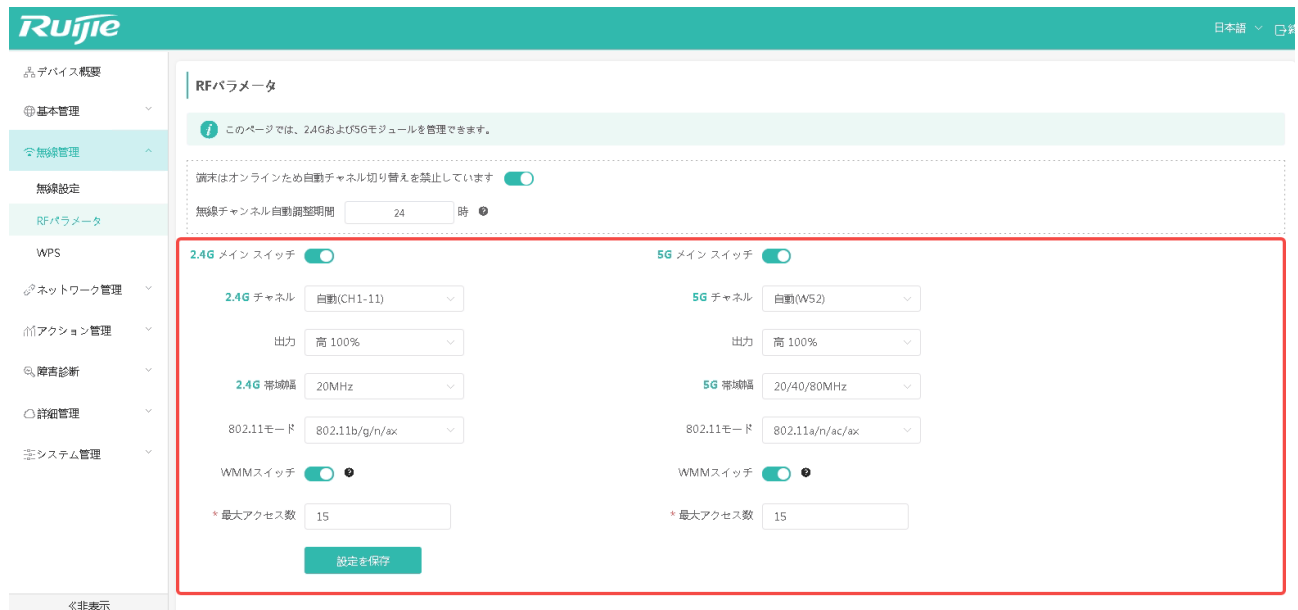
無線管理ページは以下のように表示されます。



この画面の各項目については、2章3節の「無線 SSID の設定」の中で詳しく説明していますので、そちらをご参照ください。

4.2.2 RF パラメータ

RF パラメータの設定ページは図のように表示されます。



無線 RF パラメータの設定に関する説明は、2 章 4 節の「無線電波設定」で詳しく説明していますので、そちらをご参照ください。

4.2.3 WPS

現在は、ボタン配置法（Push Button Configuration、PBC）にて WPS（Wi-Fi Protected Setup、WiFi 保護設定）に接続する方法のみ対応しており、つまり、WPS ボタンを 2 秒間短押しするか、「WPS ソフトキー」をクリックすると、WPS 対応の端末が迅速に接続でき、パスワードを入力する必要がありません。



4.3 ネットワーク管理

4.3.1 VLAN

有線ポートと SSID に VLAN ID を設定した場合、その VLAN ラベルを持つパケットのみが転送されます。

Ruijie

日本語 終了

デバイス概要

基本管理

無線管理

ネットワーク管理

VLAN

アクション管理

障害診断

詳細管理

システム管理

VLAN

LANポート及び無線のVLANについて設定します。デフォルトでは、すべてのポートにvlanタグはありません。

ポート	VLAN ID	操作
WAN		
LAN1	正の整数を入力してください、範囲のフォーマット: 1-4094	
LAN2	正の整数を入力してください、範囲のフォーマット: 1-4094	
SSID-4GDdaM 2.4G SSID 1グループ	正の整数を入力してください、範囲のフォーマット: 1-4094	
SSID-4GDdaM 5G SSID 1グループ	正の整数を入力してください、範囲のフォーマット: 1-4094	

総計 15 件 5件/ページ < 1 2 3 > 1 ページ目へ

設定項目	説明	デフォルト値/オプション
WAN	WAN ポートに VLAN タグを設定します	デフォルト値：TAG がない 範囲：1~4094
LAN1	1 つ目の LAN ポートに VLAN タグを設定します	デフォルト値：TAG がない 範囲：1~4094
LAN2	2 つ目の LAN ポートに VLAN タグを設定します	デフォルト値：TAG がない 範囲：1~4094
SSIDxxxxxx	指定された SSID に VLAN タグを設定します	デフォルト値：TAG がない 範囲：1~4094

4.4 アクション管理

4.4.1 アクセス制御

ユーザは必要に応じて、特定デバイスから特定ウェブサイトへのアクセスを制御することができます。特定デバイスから特定ウェブサイトへのアクセスを禁止したい場合は、制御モードをブラックリストモードに設定します。特定デバイスに対し特定ウェブサイトへのアクセスのみを許可し、他のウェブサイトへアクセスできないようにしたい場合は、制御モードをホワイトリストモードに設定します。

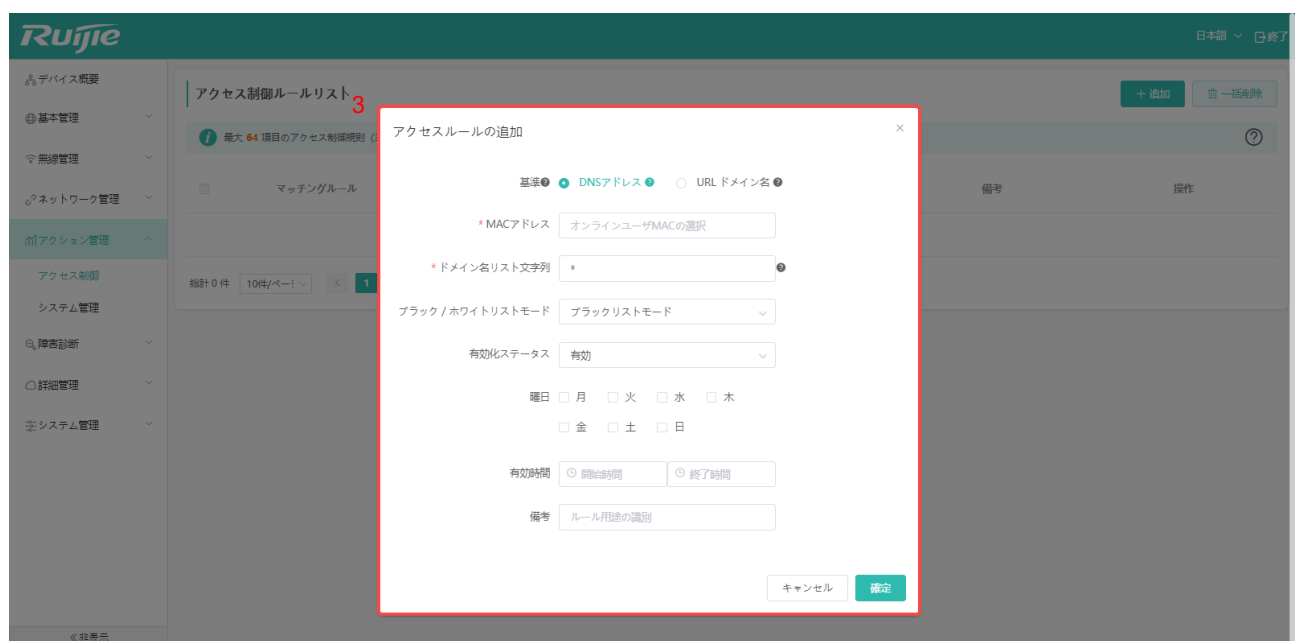
- 具体的な操作は以下のとおりです。

1 「アクション管理」->「アクセス制御」の順にクリックします。

2 「追加」ボタンを押し、アクセス制御ルールを追加します。



3 ルール設定画面に入ります。



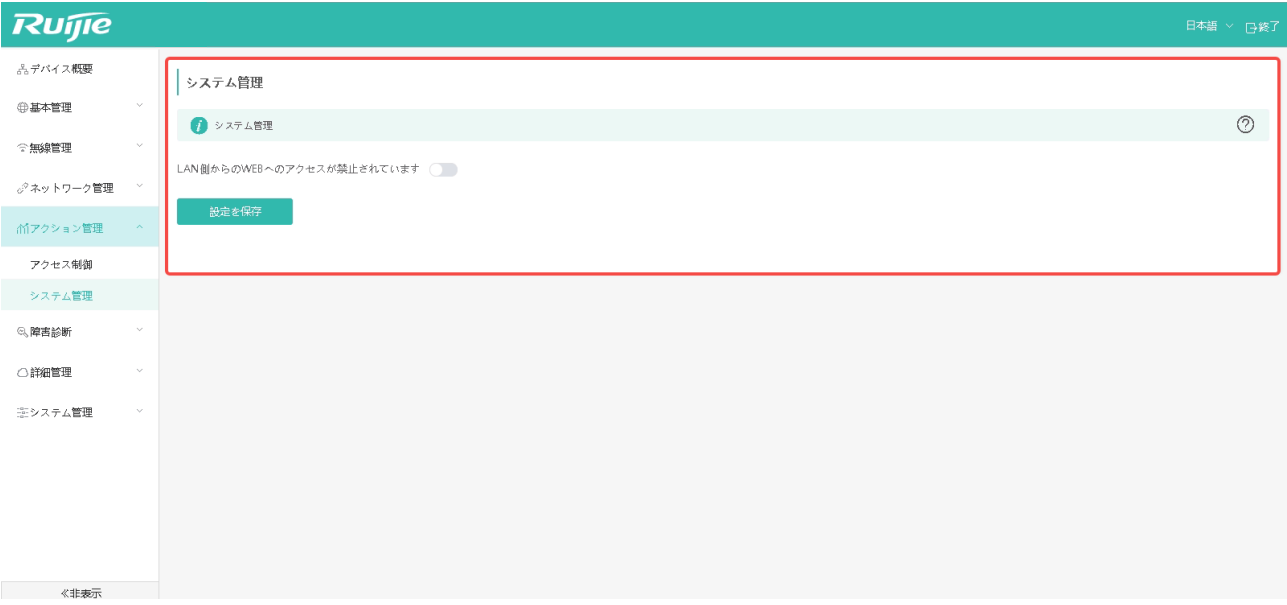
設定項目	説明	デフォルト値/オプション
基準	フィルタリング方法は DNS ベースまたは URL ベースから選択できます。両者の仕組みはそれぞれ異なります。 DNS アドレス：DNS ベースでのフィルタリングを選択した場合、システムはクライアントの DNS リクエストを解析します。このリクエストの対象が設定されたウェブアドレスの場合、ユーザの設定したルールが有効になります。 URL ドメイン名：URL ベースでのフィルタリングを選択した場合、システムはクライアントのアクセス先ウェブアドレスを解析します。クライアントのアクセス先ウェブアドレスが設定された URL の場合、ユーザの設定したルールが有効になります。	デフォルト値：DNS アドレス DNS アドレス と URL ドメイン名が使用可能です。
MAC アドレス	制限したいデバイスの MAC アドレスを入力します。	デフォルト値：N/A
ドメイン名リスト文字列	ルールが DNS アドレスベースの場合は、ドメイン名リスト文字列を入力し、ルールを適用するドメインを指定します。ブラックリストモードでは、ルールを適用されたデバイスは対象のドメインにアクセスできませんが、その他のドメインにはアクセスできます。ホワイトリストモードでは、ルールを適用されたデバイスは対象のドメインにのみアクセスでき、その他のドメインにはアクセスできません。すべてのウェブアドレス/アドレスに適用したい場合は、「*」を入力してください。 ルールが URL ドメインベースの場合は、URL の文字列を入力し、ルールを適用する URL を指定します。ブラックリストモードでは、ルールを適用されたデバイスは対象の URL にアクセスできませんが、その他の URL にはアクセスできます。ホワイトリストモードでは、ルールを適用されたデバイスは対象の URL にのみアクセスでき、その他の URL にはアクセスできません。すべてのウェブアドレス/アドレスに適用したい場合は、「*」を入力してください。	デフォルト値：* 「*」はすべてに適用することを示しています。
ブラック／ホワイトリストモード	ルールを適用するドメインをブラックリストに入れるか、ホワイトリストに入れるかを選択します。 ブラックリスト：デバイスに対しブラックリスト内のドメインへのアクセスを許可しません。 ホワイトリスト：デバイスに対しホワイトリスト内のドメインにのみアクセスを許可します。	デフォルト値：ブラックリストモード ブラックリストモードとホワイトリストモードに対応
有効化ステータス	このルールを有効化するか、無効化するかを選択します。	デフォルト値：有効 有効/無効を設定することができます。
曜日	ルールを適用する曜日を選択します。	デフォルト値：全て非選択 チェックボックスで任意に選択できます。
有効時間	ルールを適用する時間帯を選択します。	デフォルト値：N/A
備考	識別のため、備考欄にルールの用途を追加することができます。	デフォルト値：N/A

 最大で 64 のルールを設定できます。うち 32 が DNS ベース、32 が URL ベースです。

4.4.2 システム管理

● ブリッジモード

LAN 側から AP デバイス用 WEB へのアクセスを禁止したい場合は、「アクション管理」->「システム管理」の順にクリックし、下の画面に入ります。



設定項目	説明	デフォルト値/オプション
LAN 側からの WEB へのアクセスが禁止されています	有効化すると、クライアントは LAN 側からデバイス用 Web トップページに訪問できなくなります。	デフォルト値：無効 有効/無効を設定することができます

● ルータモード

ルータモードでは、LAN 側からの WEB アクセスに関するセキュリティ設定のほか、WAN 側からも WEB アクセスのオンオフを設定できます。外部ネットワークから AP デバイスへのアクセスや攻撃を防ぎます。



設定項目	説明	デフォルト値/オプション
LAN 側からの WEB へのアクセスが禁止されています	有効化すると、クライアントは LAN 側からデバイス用 Web トップページに訪問できなくなります。	デフォルト値：無効 有効/無効を設定することができます
WAN 側からの PING は禁止されています	有効化すると、クライアントによる WAN 側からデバイスへの ping は通りません。	デフォルト値：有効 有効/無効を設定することができます
WAN 側からの WEB へのアクセスが禁止されています	有効化すると、クライアントは WAN 側からデバイス用 Web トップページにアクセスできなくなります。	デフォルト値：有効 有効/無効を設定することができます
ホワイトリスト	ルータモードの場合、WAN 禁止を有効にしてもホワイトリストに含まれるアドレスは WAN ポートにてデバイスの WEB にアクセスできます。最初のホワイトリストの項目がリセットされても、それは引き続き有効です。	デフォルト値：ない IP アドレスまたは IP アドレスの範囲を設定できます。最大で 4 つの設定が可能です。

📖 ルータモードでは、「WAN 側からの WEB へのアクセスが禁止されています」機能がデフォルトでオンになっています。「WEB アクセスホワイトリスト」にはデフォルトの IP アドレスが設定されていないので、どの IP アドレスも WAN 側から AP の WEB に直接アクセスすることはできません。

📖 「デバイスをリセットした後、デフォルト IP アドレスの範囲は変わらず、WAN 側の PING とアクセスが許可します」 IP アドレスまたは範囲を設定した場合、AP を工場出荷時の設定にリセットしても、その設定を保持されます。

4.5 故障診断

4.5.1 ネットワークツール

ネットワークが開通していない状態では、ping 通信、トレースルート、ドメイン名照会 の 3 種類の診断ツールを使ってネットワークの状態をチェックすることができます。通常は、ping ツールが使われます。

■ Ping 通信

The screenshot shows the Ruijie Web-GUI interface for the 'Network Tools' section. The 'Diagnostic Method' is set to 'ping'. The input fields are: 'Destination IP / Domain Name' (www.google.com), 'ping count' (4), and 'ping packet size' (64 Bytes). The 'Start Test' and 'Stop Test' buttons are visible, along with a 'Test Results' output area.

設定項目	説明	デフォルト値/オプション
宛先 IP／ドメイン名	ネットワーク疎通を確認したいIPv4 アドレスまたはドメイン名を入力します。	デフォルト値： www.google.com IP アドレスまたはドメイン名を修正することができます。
ping 回数	パケットの送信回数を設定します。	デフォルト値：4 回 1-50 で設定することができます。
ping パケットサイズ	送信パケットデータ入力セグメントの長さを設定します。	デフォルト値：64 bytes 4-1472 bytes で設定することができます。

■ トレースルート:

Ruijie Web-GUI Screenshot: Traceroute Configuration

Network Tools: ☐ ping通信 ☒ トレースルート ☐ ドメイン名照会

*宛先IP / ドメイン名:

*トレースルート最大TTL:

検出開始 検出停止

検出結果

設定項目	説明	デフォルト値/オプション
宛先 IP / ドメイン名	ネットワーク疎通を確認したい IPv4 アドレスまたはドメイン名を入力します。	デフォルト値: www.google.com IP アドレスまたはドメイン名を修正することができます。
トレースルート最大 TTL	ICMP パケットをキャプチャする最大の TTL 値を設定します。	デフォルト値: 20 ホップ 1~30 ホップで設定することができます。

■ ドメイン名照会

Ruijie Web-GUI Screenshot: Domain Name Lookup Configuration

Network Tools: ☐ ping通信 ☐ トレースルート ☒ ドメイン名照会

*宛先IP / ドメイン名:

検出開始 検出停止

検出結果

設定項目	説明	デフォルト値/オプション
宛先 IP / ドメイン名	ネットワーク疎通を確認したい IP アドレスまたはドメイン名を入力します。	デフォルト値: www.google.com IP アドレスまたはドメイン名を修正することができます。

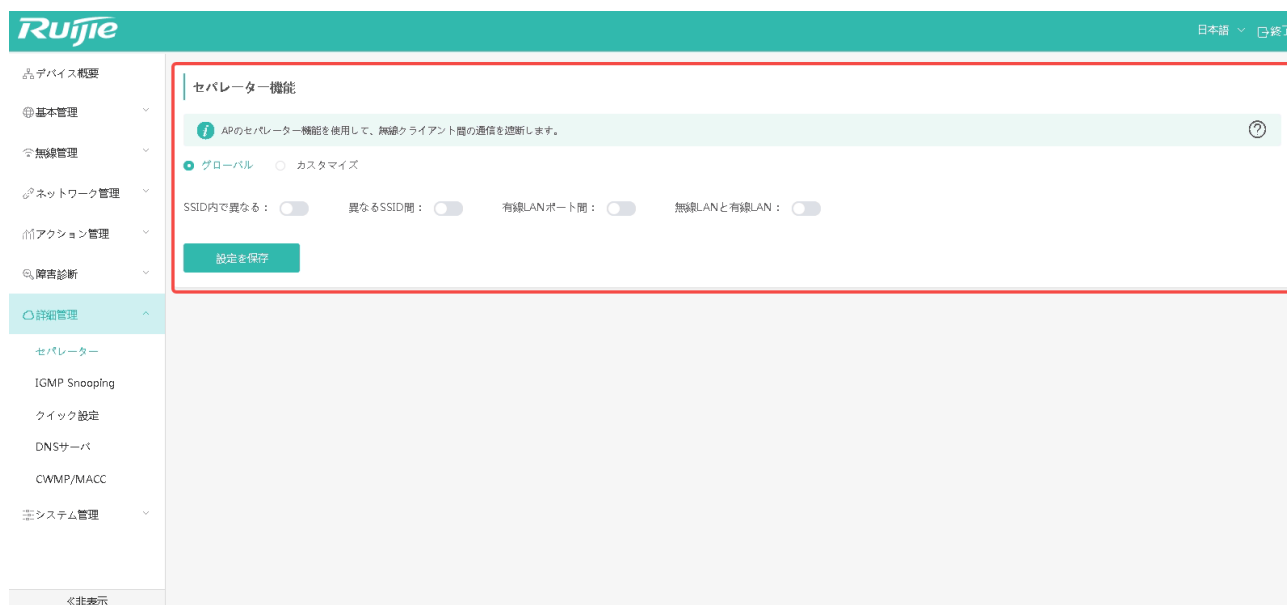
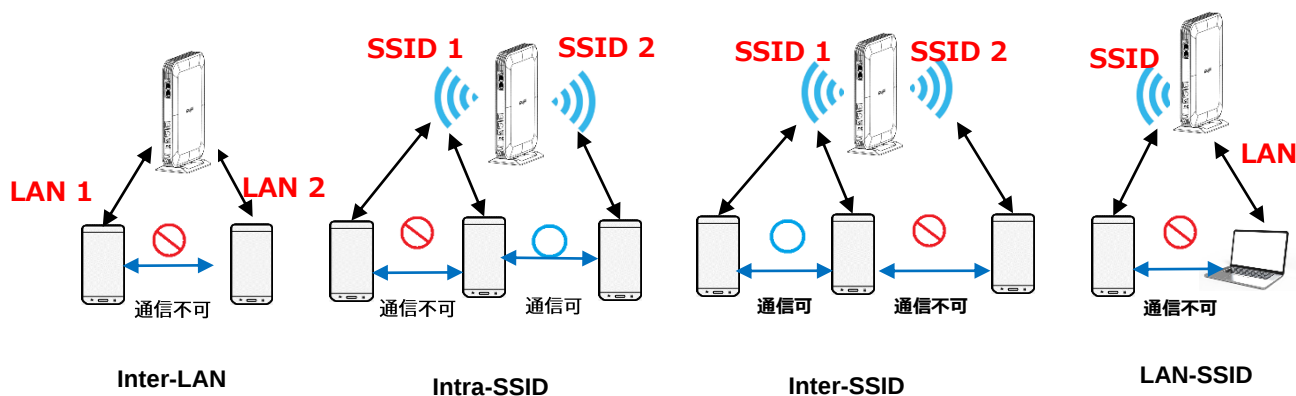
5 詳細管理

5.1 ユーザーアイソレーション

5.1.1 グローバル設定

ネットワークセキュリティおよび情報間で意図しない伝達が行われないよう、ユーザ隔離技術により無線ネットワークカバーエリア内に制御し、内部イントラネットユーザ間で通信ができないよう設定することができます。一部の特別ユーザ（相互アクセス可能なユーザ）については、ユーザ名、MAC アドレスを介して識別を行うことができます。この機能はデフォルトでは無効となっており、手動で有効にする必要があります。

ユーザーアイソレーションの作動モードは以下のとおりです：



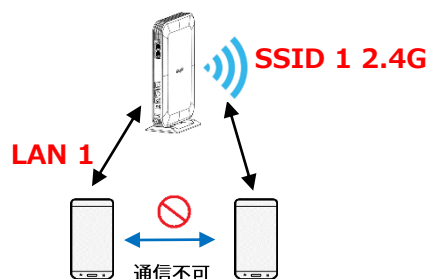
設定項目	説明	デフォルト値/オプション
SSID 内で異なる	Intra-SSID モードに対応しています。有効の場合、同じ SSID に接続中のユーザ間で直接通信ができなくなります。	デフォルト値：無効 有効/無効を設定することができます

異なる SSID 間	Inter-SSID モードに対応しています。有効の場合、異なる SSID に接続中のユーザ間で直接通信ができなくなります。	デフォルト値：無効 有効/無効を設定することができます
有線 LAN ポート間	Inter-LAN モードに対応しています。有効の場合、異なる LAN ポートに接続中のユーザ間で直接通信ができなくなります。	デフォルト値：無効 有効/無効を設定することができます。
無線 LAN と有線 LAN 間	LAN-SSID モードに対応しています。有効の場合、AP の LAN ポートの通信が、無線通信(SSID)から隔離され、LAN ポートに接続中のユーザと SSID に接続中のユーザとの間で直接通信ができなくなります。	デフォルト値：無効 有効/無効を設定することができます

5.1.2 カスタマイズ設定

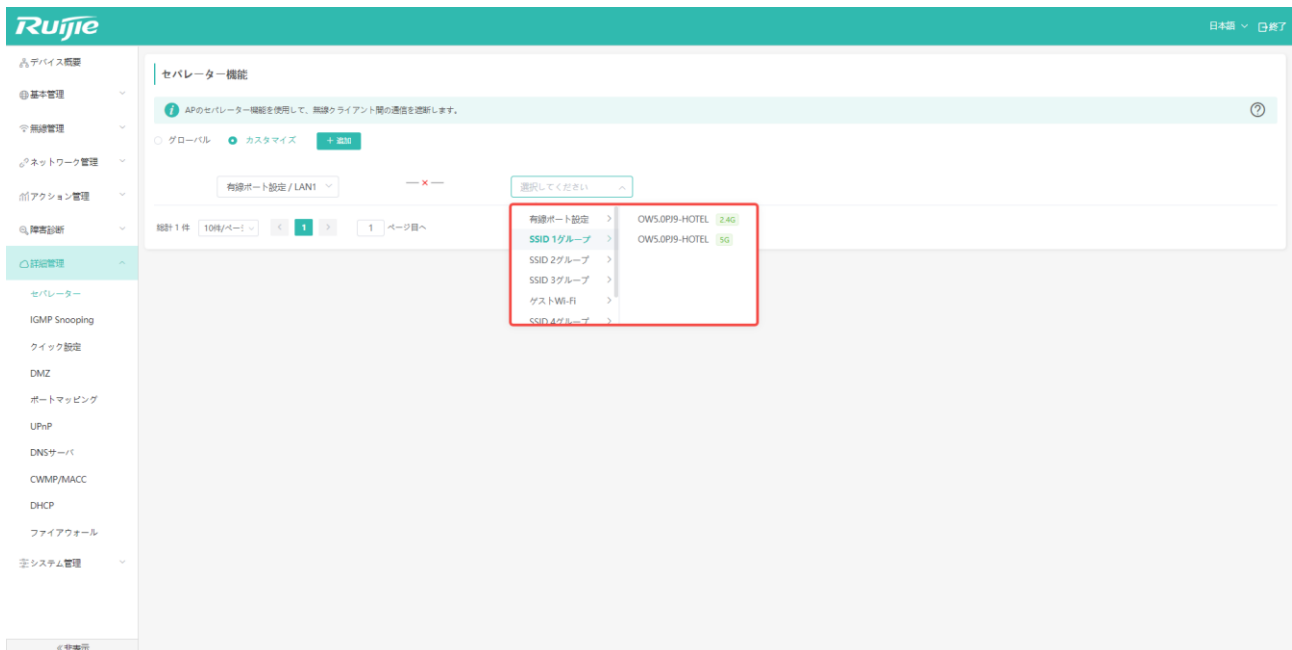
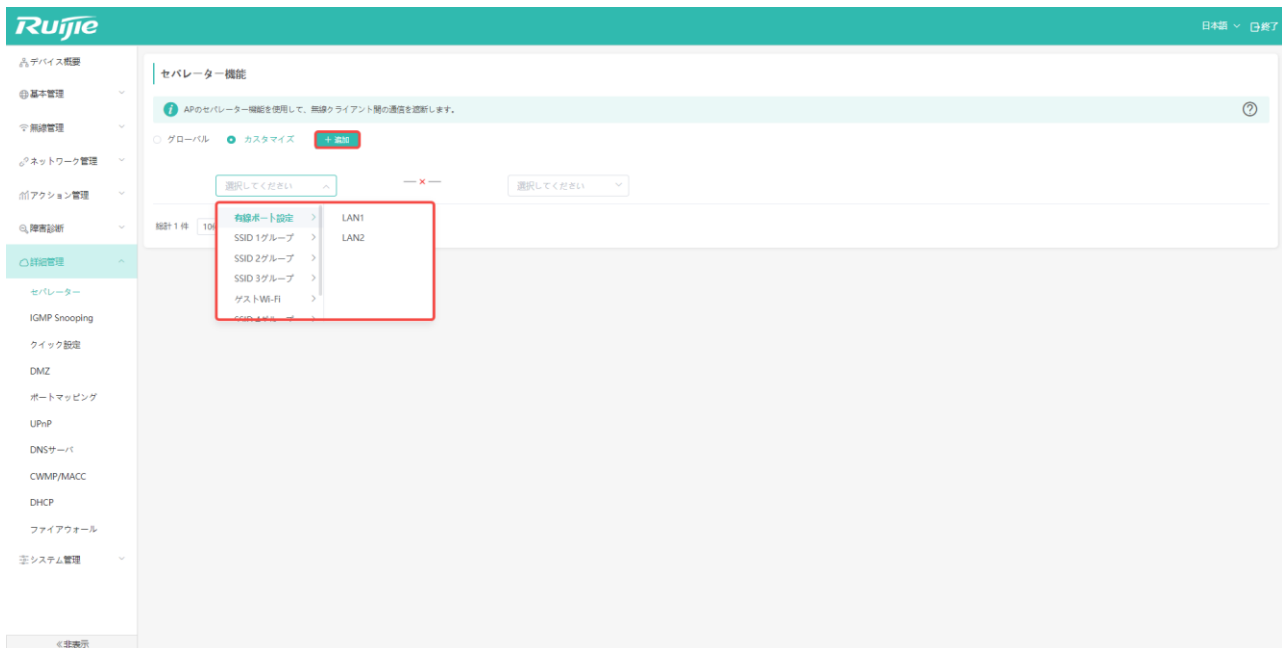
上記の4つのグローバルセバレータ機能設定以外にセバレータのカスタマイズ設定も可能です。これにより、任意の有線ポートまたは無線 SSID 間で隔離を実現できます。

セバレータのカスタマイズ例：

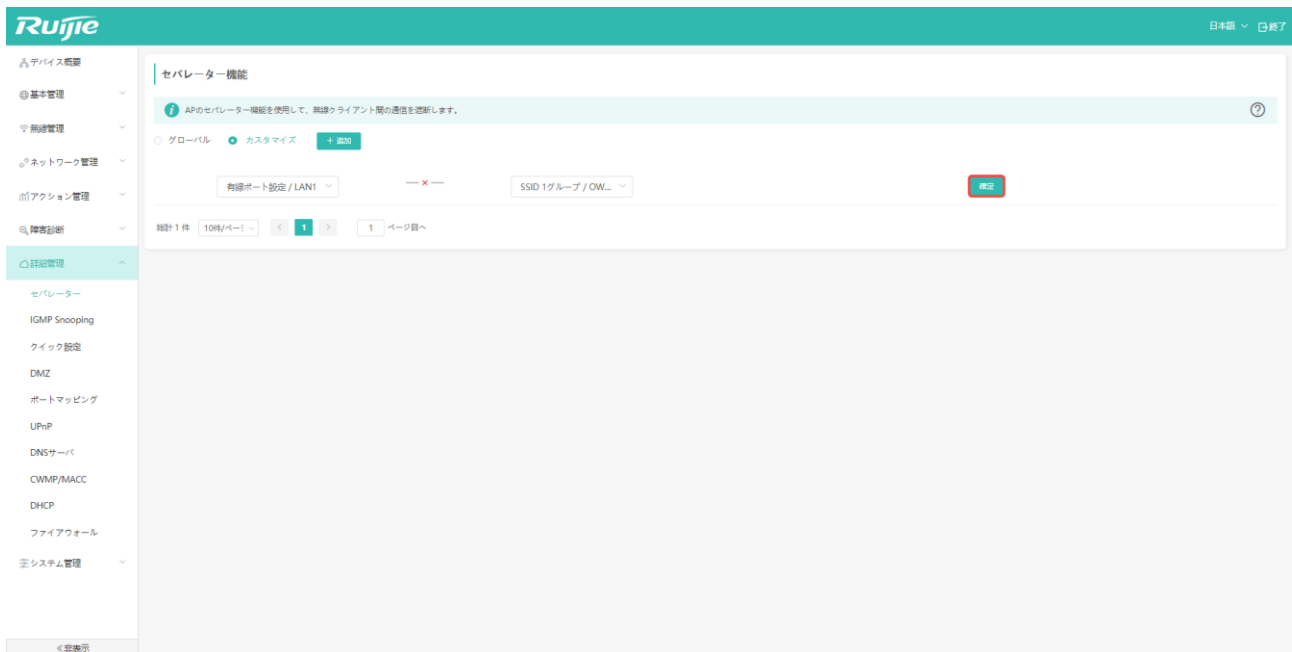


- 「詳細管理」をクリックして「セバレータ」->「カスタマイズ」を選択してください。

- 「追加」をクリックして有線ポートまたは無線 SSID を追加してセバレータ設定を実施できます。



- 「確定」をクリックすると、設定が有効になり、また「削除」をクリックすることで、セバレーターの設定を取り消すことができます。



Ruijie 日本語 終了

デバイス概要

基本管理

無線管理

ネットワーク管理

アクション管理

障害診断

詳細管理

セパレーター

IGMP Snooping

クイック設定

DMZ

ポートマッピング

UPnP

DNSサーバ

CWMP/MAC

DHCP

ファイアウォール

システム管理

非表示

セパレーター機能

APのセパレーター機能を使用して、無線クライアント間の通信を遮断します。

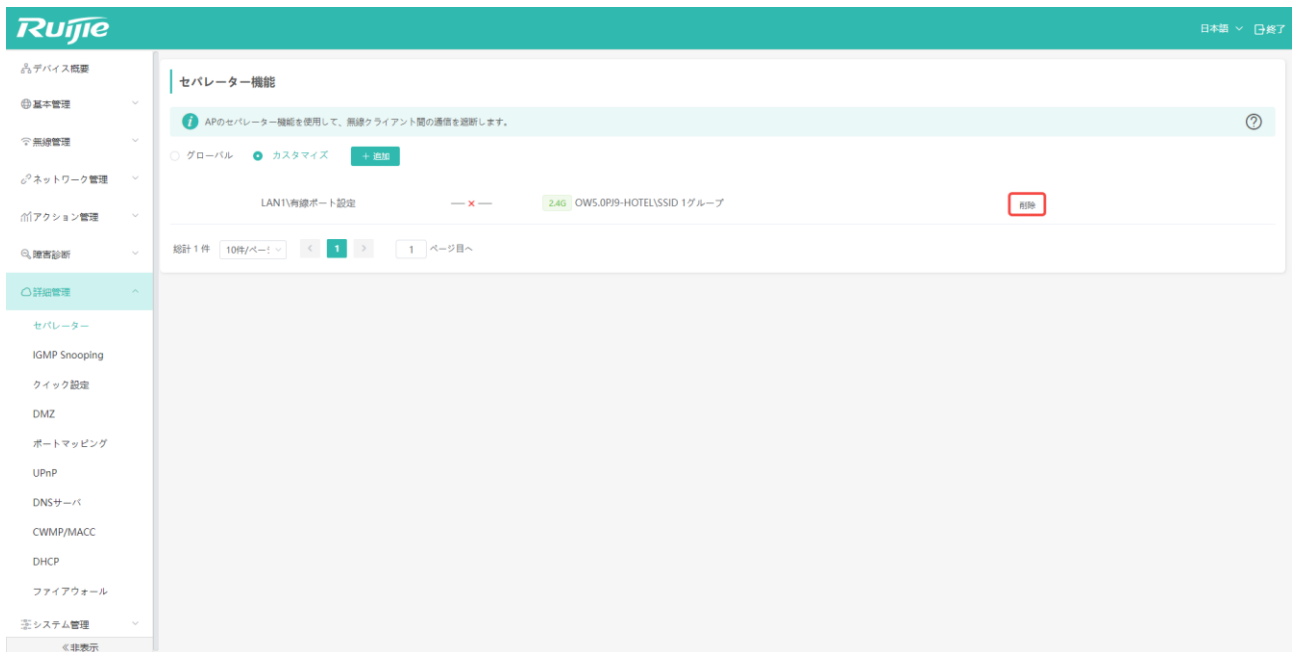
グローバル カスタマイズ 追加

有線ポート設定 / LAN1

SSID 1グループ / OW...

削除

合計 1 件 10件/ページ 1 1 ページ目へ



Ruijie 日本語 終了

デバイス概要

基本管理

無線管理

ネットワーク管理

アクション管理

障害診断

詳細管理

セパレーター

IGMP Snooping

クイック設定

DMZ

ポートマッピング

UPnP

DNSサーバ

CWMP/MAC

DHCP

ファイアウォール

システム管理

非表示

セパレーター機能

APのセパレーター機能を使用して、無線クライアント間の通信を遮断します。

グローバル カスタマイズ 追加

LAN1\有線ポート設定

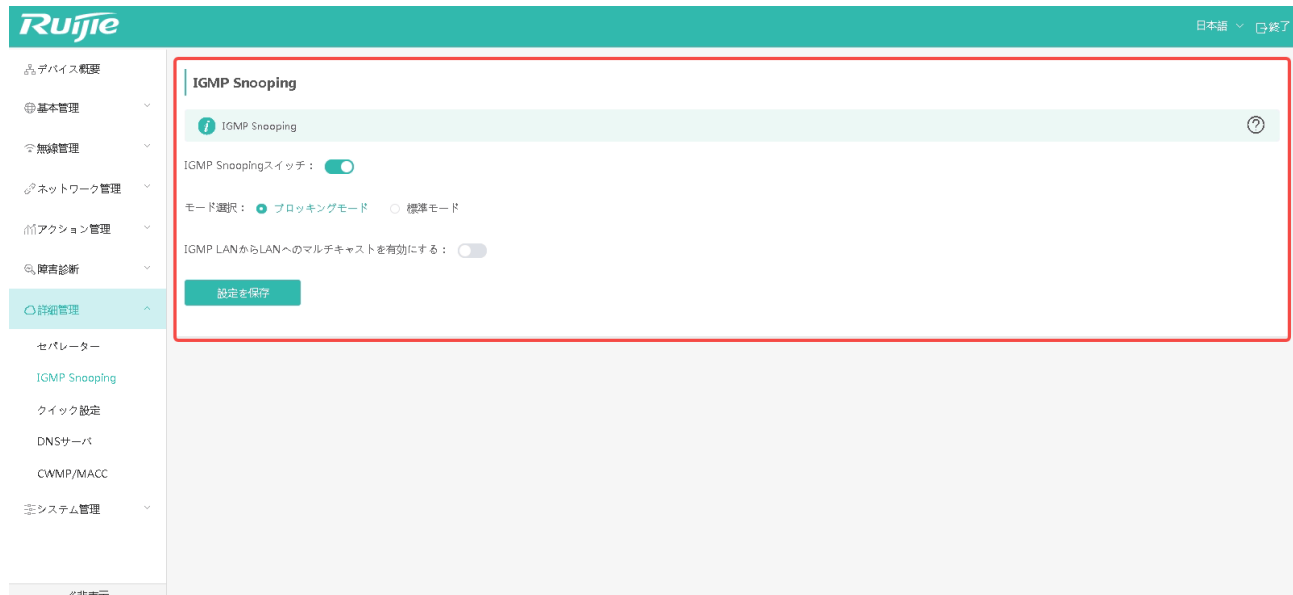
2.4G OW5.0P19-HOTELSSID 1グループ

削除

合計 1 件 10件/ページ 1 1 ページ目へ

5.2 IGMP Snooping

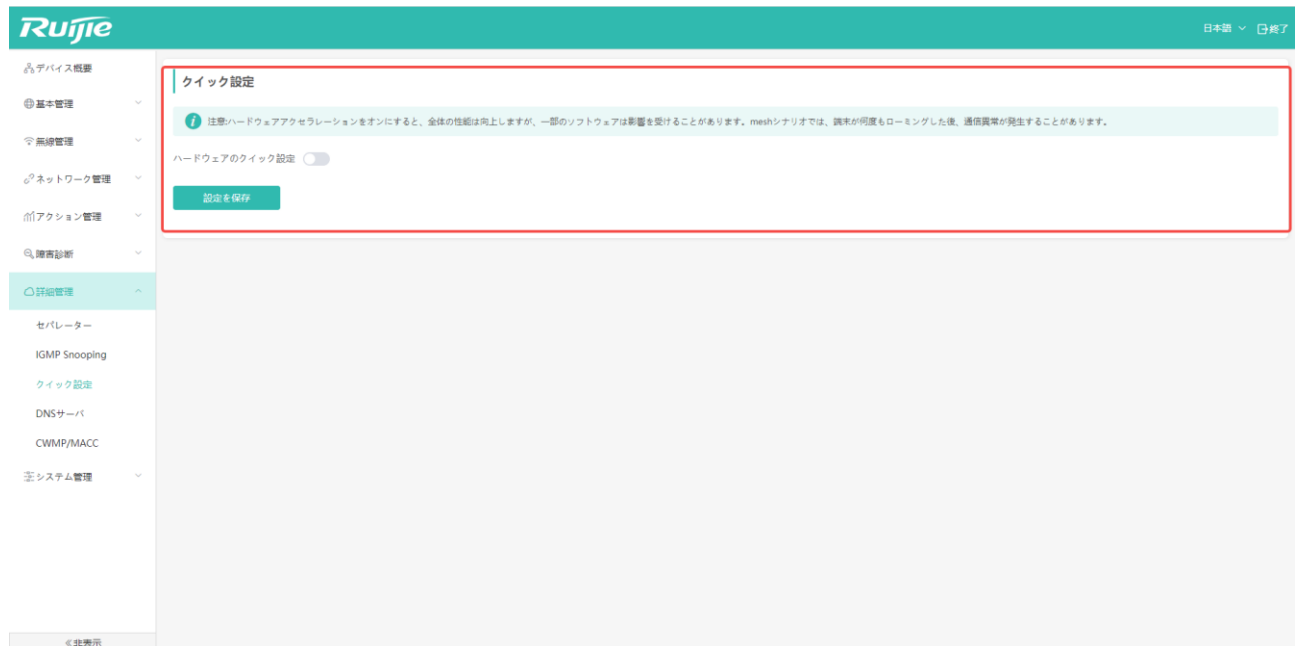
お使いの環境で IGMP が使用されている場合は、この設定によって IGMP パケットのマルチキャストを制限し、他の端末への影響を回避することができます。設定をデフォルト状態にすることを推奨しています。



設定項目	説明	デフォルト値/オプション
IGMP Snooping スイッチ	IGMP Snooping 機能を有効化するかどうかを設定します。IGMP Snooping を無効にすると、IGMP パケットの LAN ネットワーク内でのマルチキャストが許可されます。IGMP Snooping を有効にすると、IGMP パケットの LAN ネットワーク内でのマルチキャストを制限することができます。	デフォルト値：有効。 有効/無効を設定することができます
モード選択	IGMP Snooping を有効化すると、モードが選択できるようになります。 ブロッキングモード：このモードは、デフォルトで LAN 上の IGMP パケットを遮断する設定になっています。クライアントがマルチキャストグループに加入した場合のみ、対象の IGMP パケットがそのクライアントの所在する LAN ポートに送信されます。 標準モード：このモードは、デフォルトで IGMP マルチキャストパケットがすべての LAN ポートに送信されます。クライアントがマルチキャストグループに加入した場合のみ、すべての LAN ポートに対する対象 IGMP マルチキャストパケットの送信は行われなくなり、対象クライアントの所在する LAN ポートにのみ送信されるようになります。	デフォルト値：ブロッキングモード オプション：ブロッキングモード / 標準モード
IGMP LAN から LAN へのマルチキャストを有効にする	通常は、IGMP の送信元は WAN ポートになります。デフォルトでは、LAN 上の IGMP 送信元からのパケットは、IGMP Snooping 機能による制限を受けません。この項目を有効にすると、IGMP Snooping は LAN 上の IGMP 送信元からのパケットに対しても有効になります。	デフォルト値：無効。 有効/無効を設定することができます

5.3 クイック設定

ハードウェアアクセラレーションが有効になると、全体的な性能が向上しますが、一部のソフトウェア機能に影響を及ぼす可能性があります。



5.4 DMZ (ルータモードで有効)

内部ネットワークに Ftp サーバなどのサーバを構築し、外部ネットワークから内部ネットワーク上のサーバへのアクセスを可能にしたい場合は、DMZ ホスト機能を使って内部ネットワークのホストを指定し、外部ネットワークに全ポートを開放することにより、サービスの提供が可能になります。



設定項目	説明	デフォルト値/オプション
DMZ スイッチ	DMZ 機能のスイッチです。有効にした場合のみ、DMZ ホストの IP アドレスを設定できます。	デフォルト値：無効 有効/無効を設定することができません
ホストアドレス	DMZ 機能をオンにすると、内部ネットワーク内の対象ホストの IP アドレスを設定できます。設定完了後、AP はデフォルトで WAN ポートの IP アドレスを外部からの接続用ポートの IP アドレスに設定します。	デフォルト値：N/A DMZ ホストの IPv4 アドレスを記入します。

5.5 ポートマッピング(ルータモードで有効)

正常な外部ネットワークが内部イントラネットホストのサービスに直接アクセスしようとしても、アクセスすることはできません。ただし、ホストに対してポートマッピングを行えば、ユーザは外部ネットワークから内部イントラネットのホストにアクセスすることができます。

ポートマッピング：外部ネットワークホストの IP アドレスのポートを内部イントラネット内のマシンにマッピングし、対応するサービスを提供します。ユーザがその IP のポートにアクセスしたとき、サーバは対応する LAN 内部のマシンに自動で要求をマッピングします。

「詳細管理」->「ポートマッピング」の順にクリックすると、下のような画面が表示されます。



「追加」をクリックし、ポートマッピングリストを追加します。



設定項目	説明	デフォルト値/オプション
ルール名	ルールの名称を決めます。	デフォルト値：N/A
サービスプロトコル	サービスのプロトコルの種類を設定します。	デフォルト値：TCP TCP と UDP に対応しています

外部ポート／範囲	外部ネットワークのマッピングポート番号を設定します。 外部ネットワークの IPv4 アドレスは、デフォルトで WAN ポートの IP アドレスになっています。	デフォルト値：N/A ポート番号範囲：1-65535
内部サーバ IP	内部ネットワークから外部ネットワークにマッピングする IPv4 アドレスを設定します。	デフォルト値：N/A
内部ポート／範囲	内部ネットワークがマッピングする必要のあるサービスポート番号を設定します。	デフォルト値：N/A ポート番号範囲：1-65535

⚡ 動作モードまたはネットワーク種別を変更した場合（動的 IP から固定 IP への変更など）、変更後にポートマッピングを再設定する必要がありますので、ご注意ください。

5.6 UPnP（ルーターモード）

UPnP（Universal Plug and Play）の主な機能は、ネットワークデバイスのインストール、設定、使用プロセスを自動的にを行い、UPnP プロトコルをサポートするデバイスはローカルネットワーク内のリソースを共有できます。

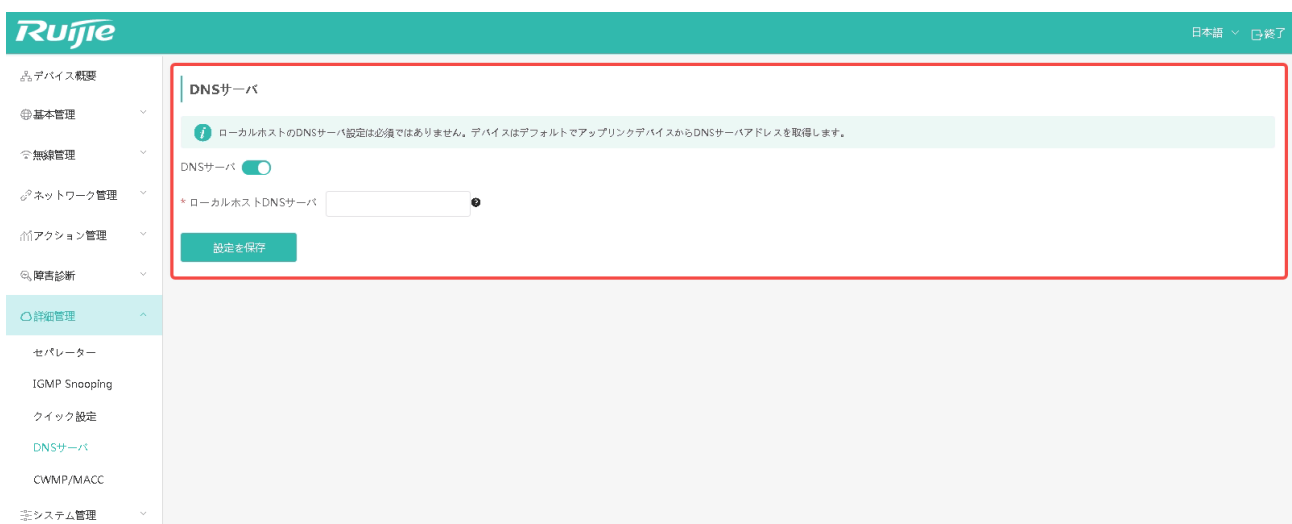


5.7 DNS サーバー

特定の DNS サーバを使用したい場合は、この方法で設定することができます。通常、AP が使用する DNS サーバアドレスは、上位ネットワークから自動で取得されます。



設定項目	説明	デフォルト値/オプション
DNS サーバ	有効にすると、AP の DNS サーバアドレスを上位ネットワークから自動取得せず、指定の DNS サーバアドレスを AP に使用させることができます。	デフォルト値：N/A。 デフォルトでは DNS アドレスは指定されていません。デバイスは、IP アドレスを取得後、上位ネットワークのデバイスから自動で DNS サーバアドレスを取得します。 有効、または無効にすることができます。



DNS を有効にすると、DNS サーバアドレスを入力できるようになります。

設定項目	説明	デフォルト値/オプション
ローカルホスト DNS サーバ	指定の DNS サーバアドレスを手動で設定します。	デフォルト値：N/A。 上位ネットワークから自動で割り当てられた DNS サーバを使用します。

⚡ 設定の前に、設定する DNS サーバが正常に作動するかどうかを確認してください。確認していない場合、ネットワーク接続が正常に行えないリスクがありますので、ご注意ください。

5.8 CWMP/MACC

CWMP (CPE WAN Management Protocol) プロトコルは統一した管理的通用フレーム、規範的なデータ、管理方法やデータモデルを提供し、これらによってユーザー側の設備数の多さ、設置が分散されていること、統一的に管理やメンテナンスしにくいなどの問題を解決し、問題に対する対処効率を上げ、運用コストを節約しました。

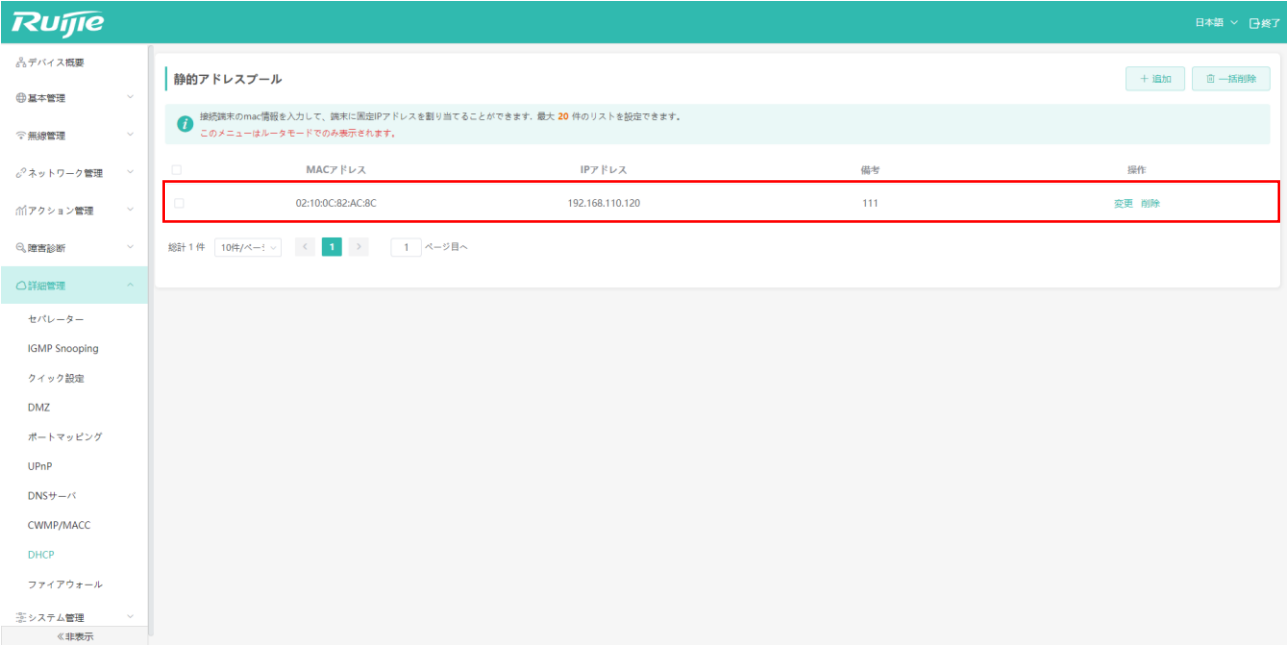
The screenshot shows the Ruijie Web-GUI interface for CWMP/MACC configuration. The left sidebar contains navigation links like 'デバイス概要', '基本管理', '無線管理', 'ネットワーク管理', 'アクション管理', '障害診断', '詳細管理', 'セバレーター', 'IGMP Snooping', 'クイック設定', 'DNSサーバ', 'CWMP/MACC', and 'システム管理'. The main content area is titled 'CWMP/MACC' and contains the following settings:

- サーバのアドレス**: A text input field with the value 'http://devreg.ruijienetworks.com/service/tr069servlet'.
- CPE通知間隔 (秒)**: A numeric input field with the value '180' and a unit dropdown set to '秒'.
- A green '設定を保存' (Save Settings) button.

設定項目	説明	デフォルト値/オプション
サーバのアドレス	ACS が CPE にがつながる URL を設定する	デフォルト値： http://devreg.ruijienetworks.com/service/tr069servlet
CPE 通知間 (秒)	CPE 周期性の通告機能を設定する	デフォルト値：180 秒

5.9 DHCP（ルータモードで有効）

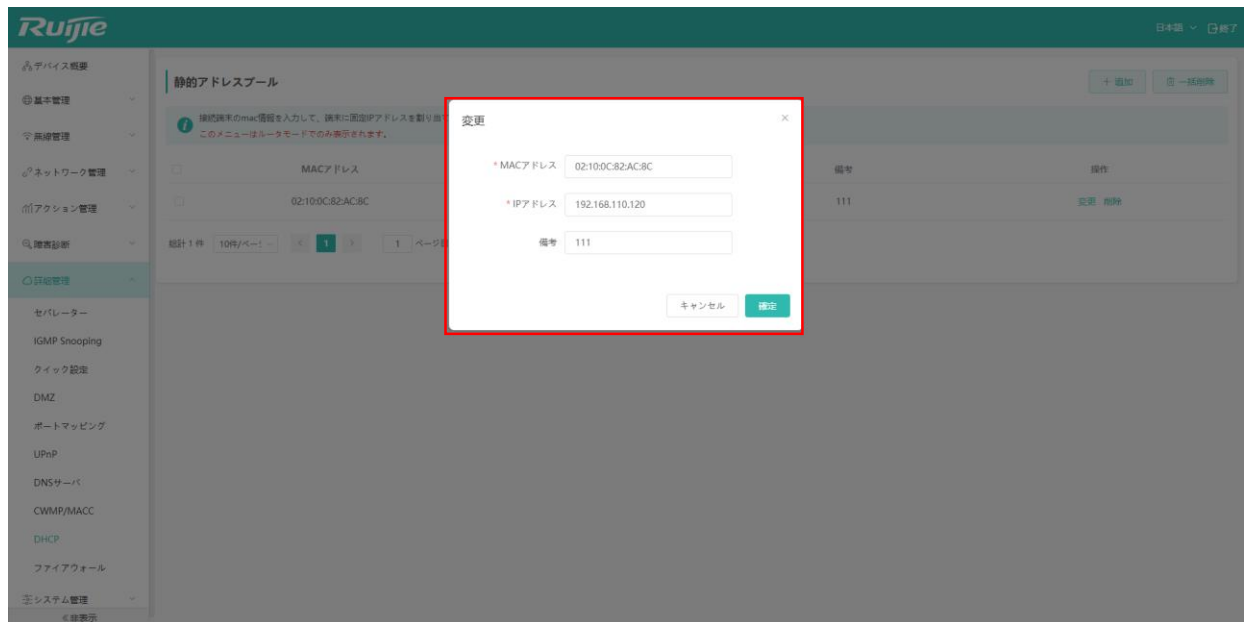
下りのクライアントの MAC アドレスを追加し、それに固定の IP アドレスを割り当てます（最大 20 個のクライアントを追加できます）。



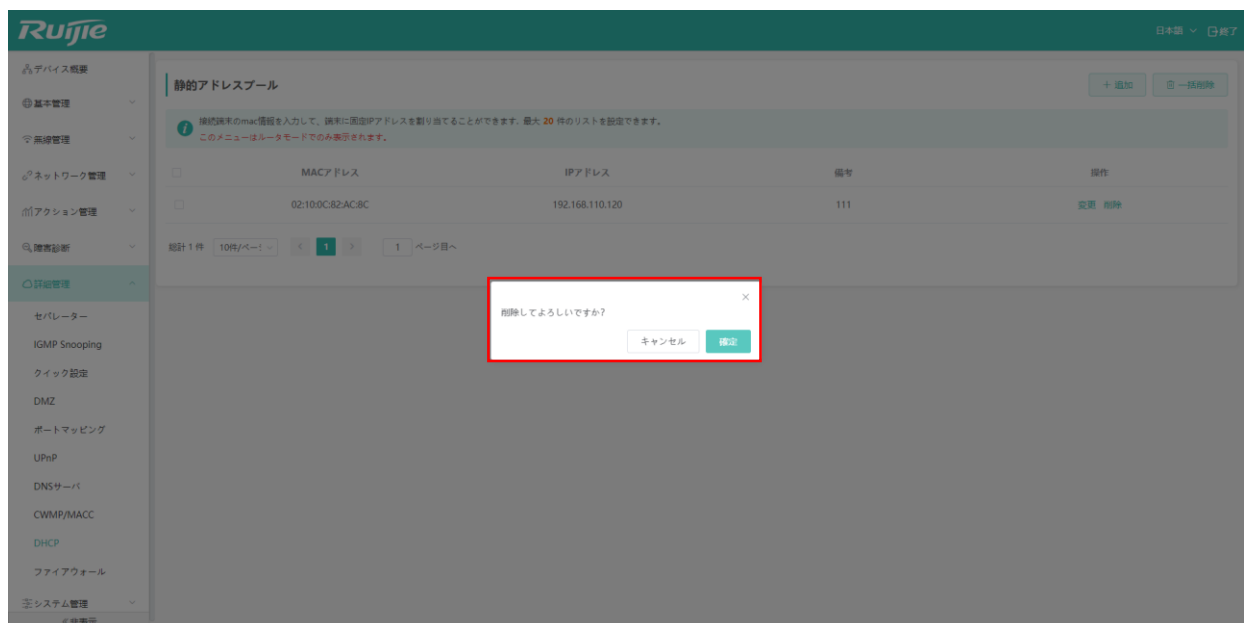
構成項目	説明
MAC アドレス	クライアントの MAC アドレスです
IP アドレス	割り当てる固定の IP です。
備考	MAC アドレスに注釈を付けるために、「私の携帯電話」などの説明を自由に入力できます。
操作	クライアントに対して簡単な管理が可能です。「変更」と「削除」2つの管理アクションが選択できます

「変更」と「削除」の説明は以下の通りです

- 以下の画面のように「変更」をクリックすると、クライアントの MAC アドレス、割り当てたい IP アドレス、および注釈を修正できます。

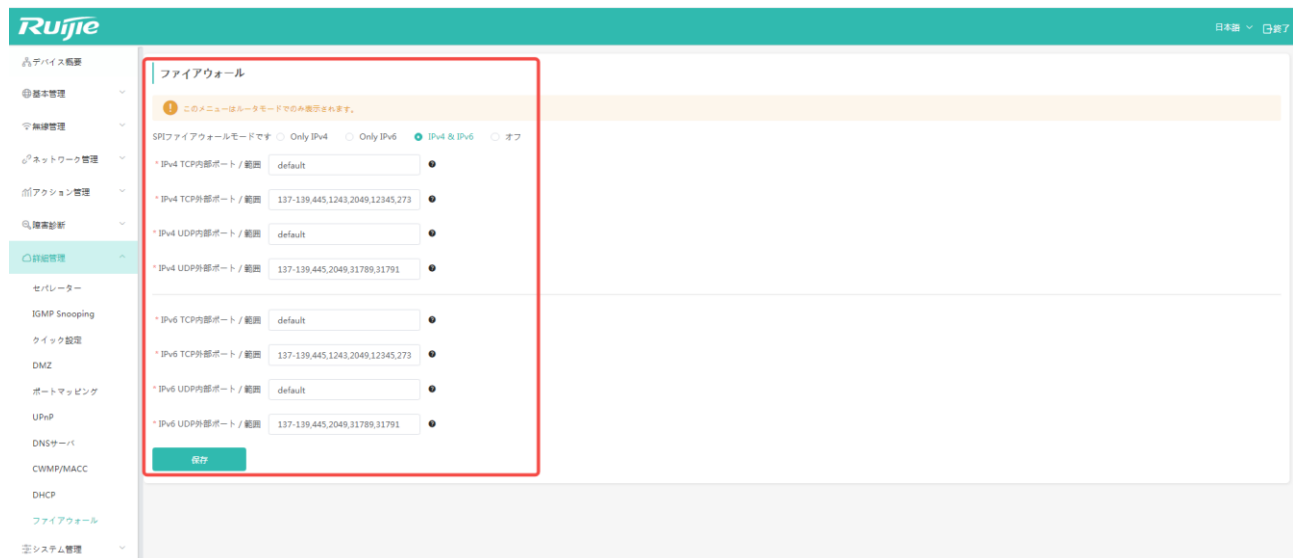


- 「削除」をクリックすると、指定されたクライアントに固定の IP アドレスの割り当てを解除し、AP を再連携するとランダムな IP アドレスが再取得されます。



5.10 ファイアウォール（ルーターモード）

ファイアウォールは、ネットワークセキュリティのデバイスまたはソフトウェアで、ネットワークトラフィックを監視および制御し、未認証のアクセス、悪意の攻撃、データ漏洩などの脅威からネットワークを保護します。ファイアウォールは規則やアクセス制御ポリシーを実装することで、特定の IP アドレス、ポート、またはプロトコルのアクセスを制限し、合法的なトラフィックを通過させ、潜在的な脅威を阻止します。この AP はファイアウォールモードを選択することで、IPv4 または IPv6 の TCP および UDP プロトコルのポートに対してアクセスを制限します。



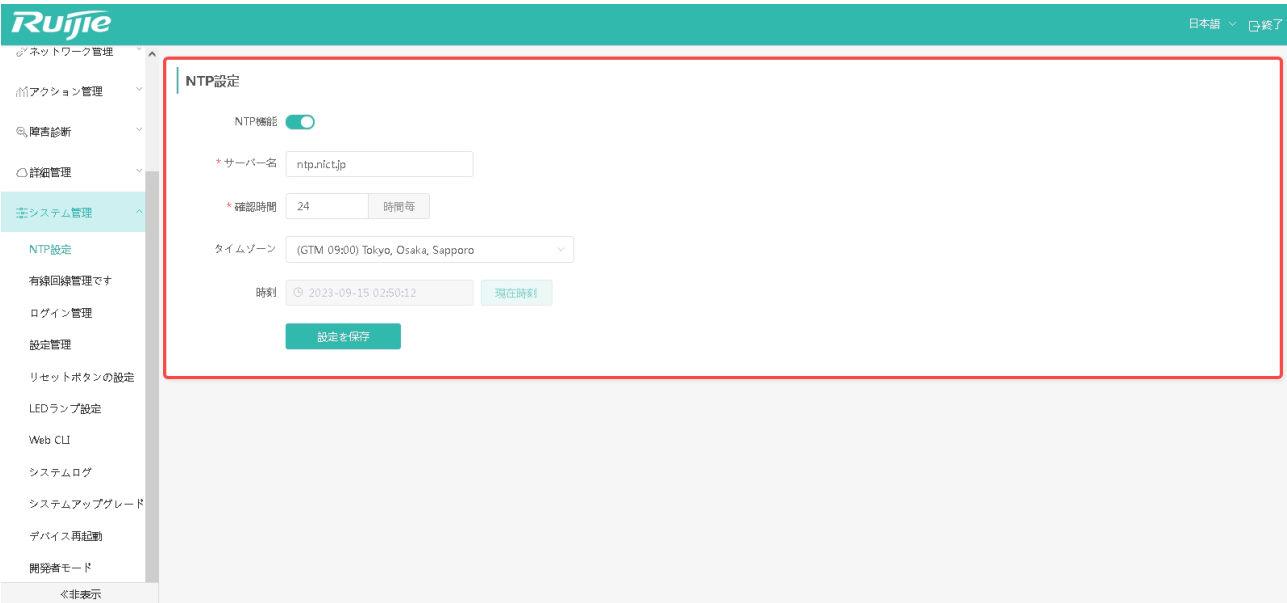
設定項目	説明	デフォルト値/オプション
SPI ファイアウォールモードです	「Only IPv4」「Only IPv6」「IPv4 & IPv6」「オフ」を選択できます。	デフォルト値: IPv4 & IPv6
IPv4 TCP 内部ポート/範囲	IPv4 の TCP 内部ポート範囲は 1 から 65535 までで、単一のポート (X) または特定の範囲のポート (X-Y) を指定できます。複数の設定項目はコンマ (,) で区切ります。	すべてのポートのデフォルト設定 (default) を選択することをお勧めします。
IPv4 TCP 外部ポート/範囲	IPv4 の TCP 外部ポート範囲は 1 から 65535 までで、単一のポート (X) または特定の範囲のポート (X-Y) を指定できます。複数の設定項目はコンマ (,) で区切ります。	以下一般的に攻撃の対象とされやすいポートを選択することをお勧めします 137-139,445,1243,2049,12345,27374,31785
IPv4 UDP 内部ポート/範囲	IPv4 の TCP 内部ポート範囲は 1 から 65535 までで、単一のポート (X) または特定の範囲のポート (X-Y) を指定できます。複数の設定項目はコンマ (,) で区切ります。	すべてのポートのデフォルト設定 (default) を選択することをお勧めします。
IPv4 UDP 外部ポート/範囲	IPv4UDP 外部ポート範囲は 1 から 65535 までで、単一のポート (X) または特定の範囲のポート (X-Y) を指定できます。複数の設定項目はコンマ (,) で区切ります。	以下一般的に攻撃の対象とされやすいポートを選択することをお勧めします 137-139,445,2049,31789,31791
IPv6 TCP 内部ポート/範囲	IPv6TCP 内部ポート範囲は 1 から 65535 までで、単一のポート (X) または特定の範囲のポート (X-Y) を指定できます。複数の設定項目はコンマ (,) で区切ります。	すべてのポートのデフォルト設定 (default) を選択することをお勧めします。

IPv6 TCP 外部ポート/ 範囲	IPv6TCP 外部ポート範囲は 1 から 65535 までで、単一のポート (X) または特定の範囲のポート (X-Y) を指定できます。複数の設定項目はコンマ (,) で区切ります。	以下一般的に攻撃の対象とされやすいポートを選択することをお勧めします 137-139,445,1243,2049,12345,27374,31785
IPv6 UDP 内部ポート/ 範囲	IPv6UDP 内部ポート範囲は 1 から 65535 までで、単一のポート (X) または特定の範囲のポート (X-Y) を指定できます。複数の設定項目はコンマ (,) で区切ります。	すべてのポートのデフォルト設定 (default) を選択することをお勧めします。
IPv6 UDP 外部ポート/ 範囲	IPv6UDP 外部ポート範囲は 1 から 65535 までで、単一のポート (X) または特定の範囲のポート (X-Y) を指定できます。複数の設定項目はコンマ (,) で区切ります。	以下一般的に攻撃の対象とされやすいポートを選択することをお勧めします 137-139,445,2049,31789,31791

6 システム管理

6.1 NTP 設定

NTP（Network Time Protocol）は、コンピュータネットワーク内の各デバイスの時間を同期させるためのプロトコルです。NTP は、コンピュータネットワーク全体で同一の時間基準を確保し、時間の一貫性と正確性を実現することを目的としています。



設定項目	説明	デフォルト値/オプション
NTP 機能	NTP 機能を有効または無効にします	デフォルト値：有効
サーバー名	NTP サーバー名とドメイン	デフォルト値： ntp.nict.jp
確認時間	周期の同期	デフォルト値： 24 時間
タイムゾーン	タイムゾーン	デフォルト値： GTM+9，東京のタイムゾーン
時刻	現在の時間です	デフォルト値： 現在時刻

6.2 有線回線管理です

WAN ポートおよび 2 つの LAN ポートの物理的な特性を管理するためのもので、現在の WAN ポートは G.hn ポートであり、設定はサポートされていません。LAN ポートは shutdown およびネゴシエーション速度の調整 (Auto/100Mbps/1000Mbps) をサポートしています。

The screenshot shows the Ruijie Web-GUI interface. The left sidebar contains a menu with items like 'ネットワーク管理', 'アクション管理', '障害診断', '詳細管理', 'システム管理', 'NTP設定', '有線回線管理です', 'ログイン管理', '設定管理', 'リセットボタンの設定', 'LEDランプ設定', 'Web CLI', 'システムログ', 'システムアップグレード', 'デバイス再起動', and '開発者モード'. The main content area is titled '有線回線管理です' and contains a warning message: '設定を誤ると正常に通信できない場合がありますのでご確認の上ご修正下さい。' Below the warning is a table with the following data:

ID	ポート	ポート速度	ポートステータス	操作
1	WAN	1362/1521M	オン	変更
2	LAN 1	自動	オン	変更
3	LAN 2	自動	オン	変更

6.3 ログイン管理

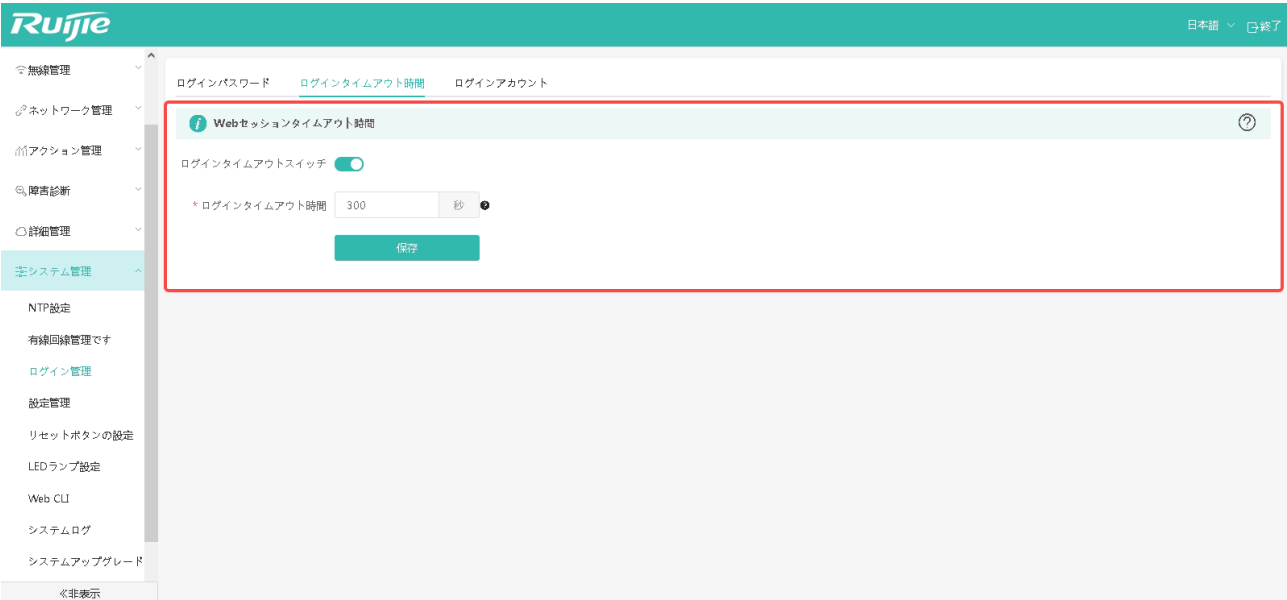
6.3.1 管理者パスワード

システムのセキュリティを高め、情報のやり取りをより安全に行うため、「システム管理」->「ログイン管理」の順にメニューをクリックし、システムの初期パスワードを変更してください。

設定項目	説明	デフォルト値/オプション
旧管理者パスワード	管理者 admin の元のパスワードを入力します。	デフォルト値：admin
新管理者パスワード	管理者 admin の新しいパスワードを設定します。	デフォルト値：N/A
新パスワードの確認	管理者 admin の新しいパスワードを確認します。	デフォルト値：N/A

6.3.2 ログインタイムアウト時間

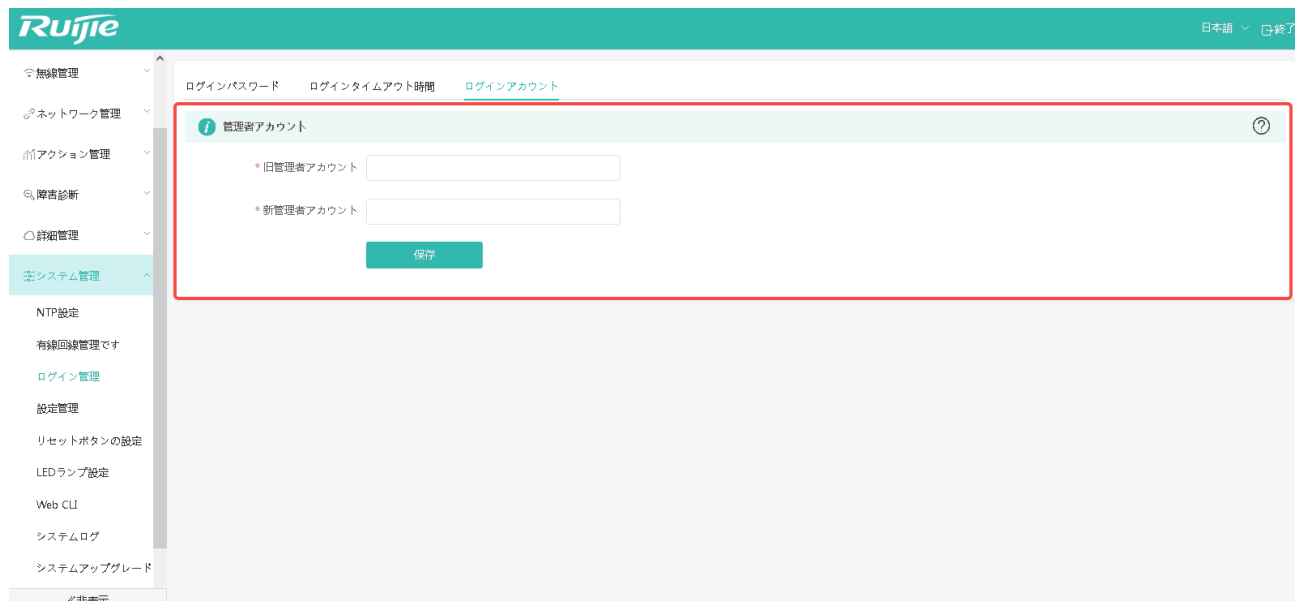
ログインタイムアウト時間を設定し、長時間を経つと WEB から自動でログアウトし、システムの安全性を確保しています。



設定項目	説明	デフォルト値/オプション
ログインタイムアウトスイッチ	セッションタイムアウト機能を有効化/無効化します。	デフォルト値：有効 有効/無効を設定することができます
ログインタイムアウト時間	タイムアウト機能を有効にすると、セッションタイムアウトの閾値を設定できます。閾値を超える時間にわたって Web ページの操作が行われなかった場合は、ログアウトします。	デフォルト値：300 秒 300-7200 秒で設定することができます。

6.3.3 ログインアカウント

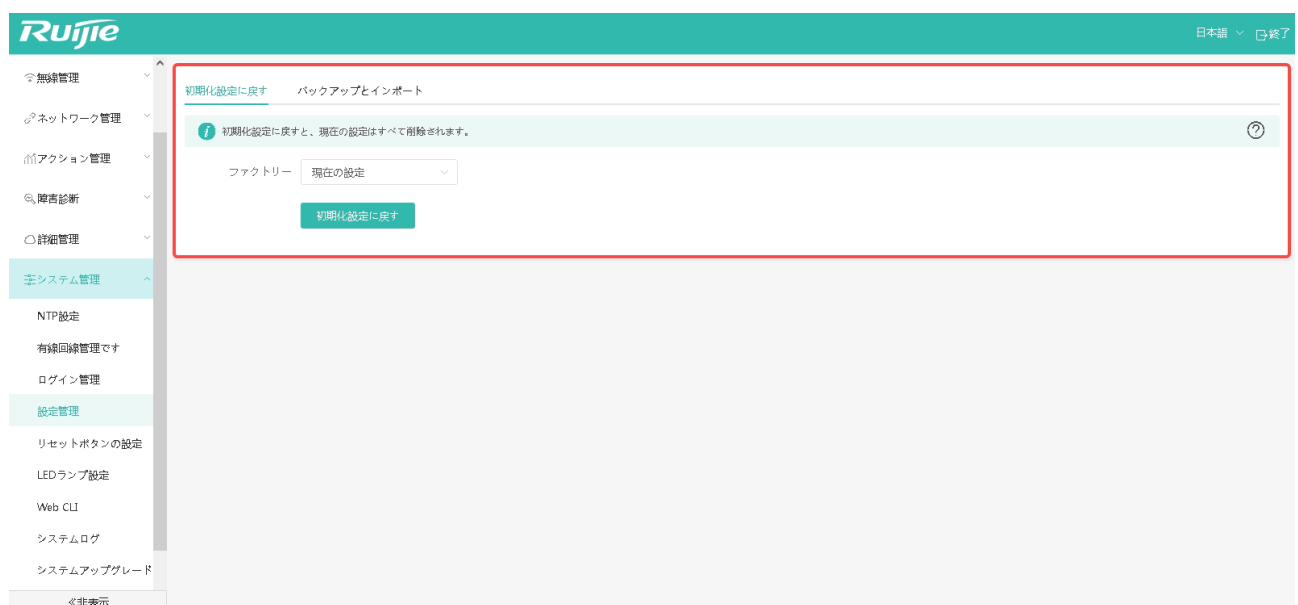
WEB ログインのユーザー名を変更可能です。デフォルトのユーザー名は admin です。



6.4 設定管理

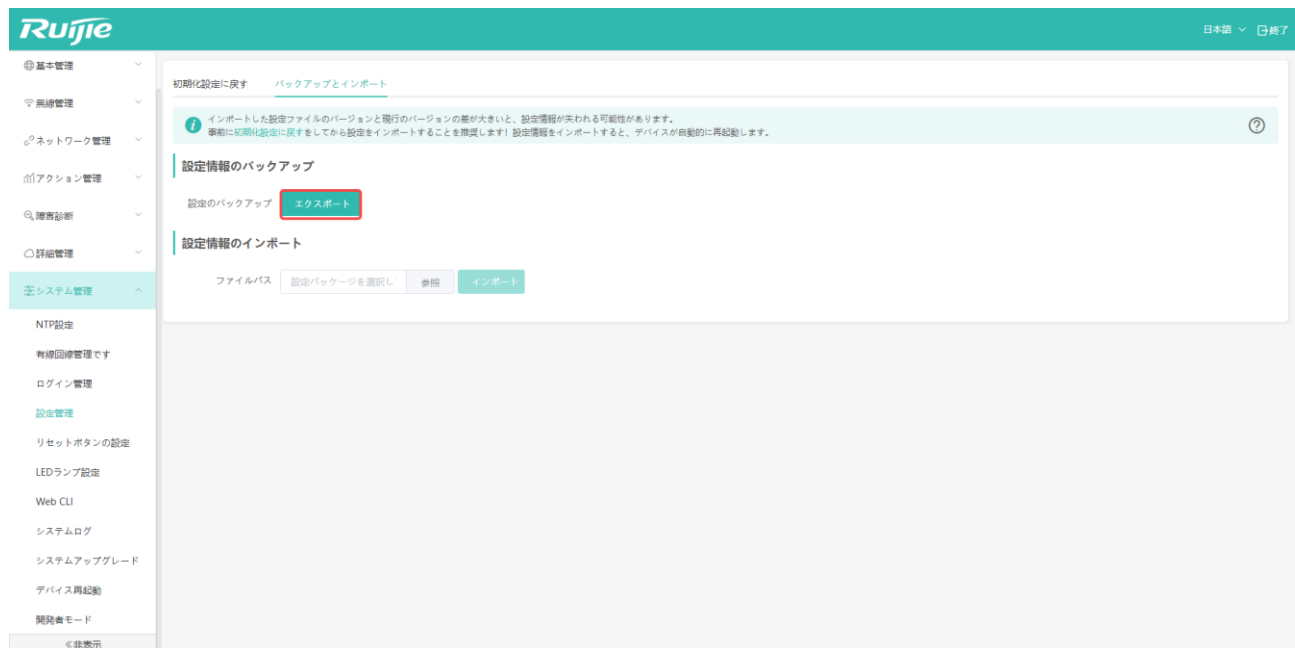
6.4.1 初期化設定に戻す

システムを初期化する場合は、「設定管理」->「初期化設定に戻す」の順にクリックします。ワンクリックでデバイスが初期化するので素早く便利です。

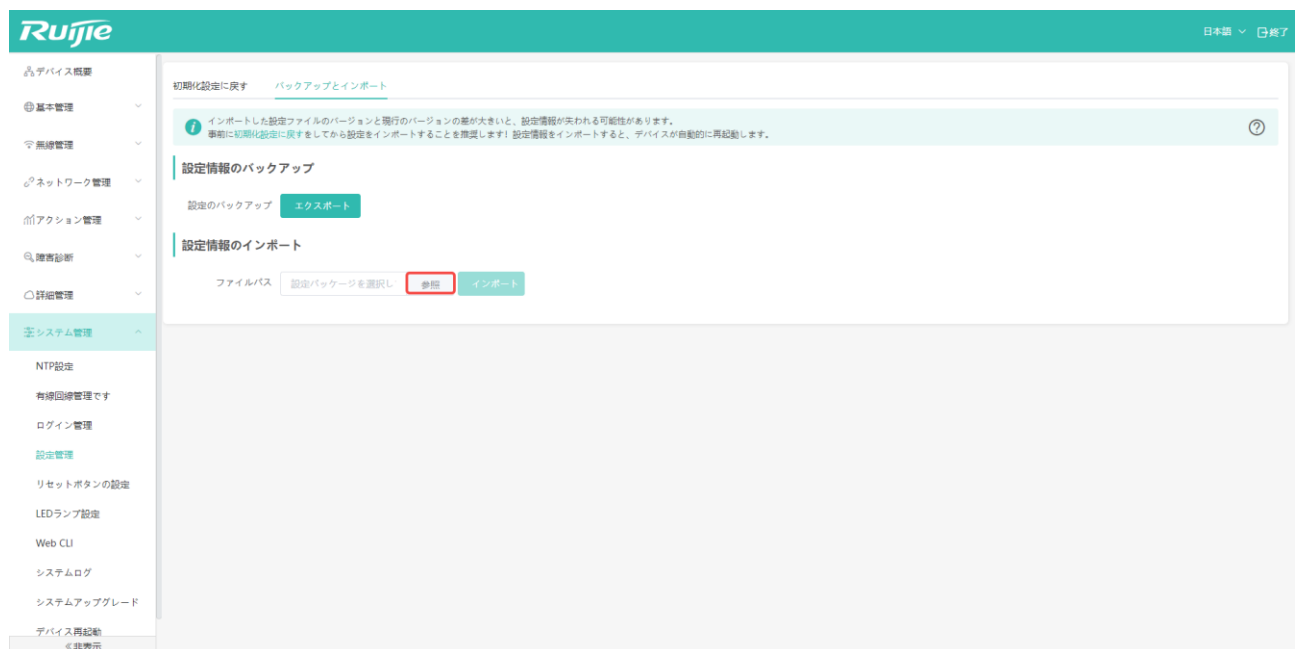


6.4.2 バックアップとインポート

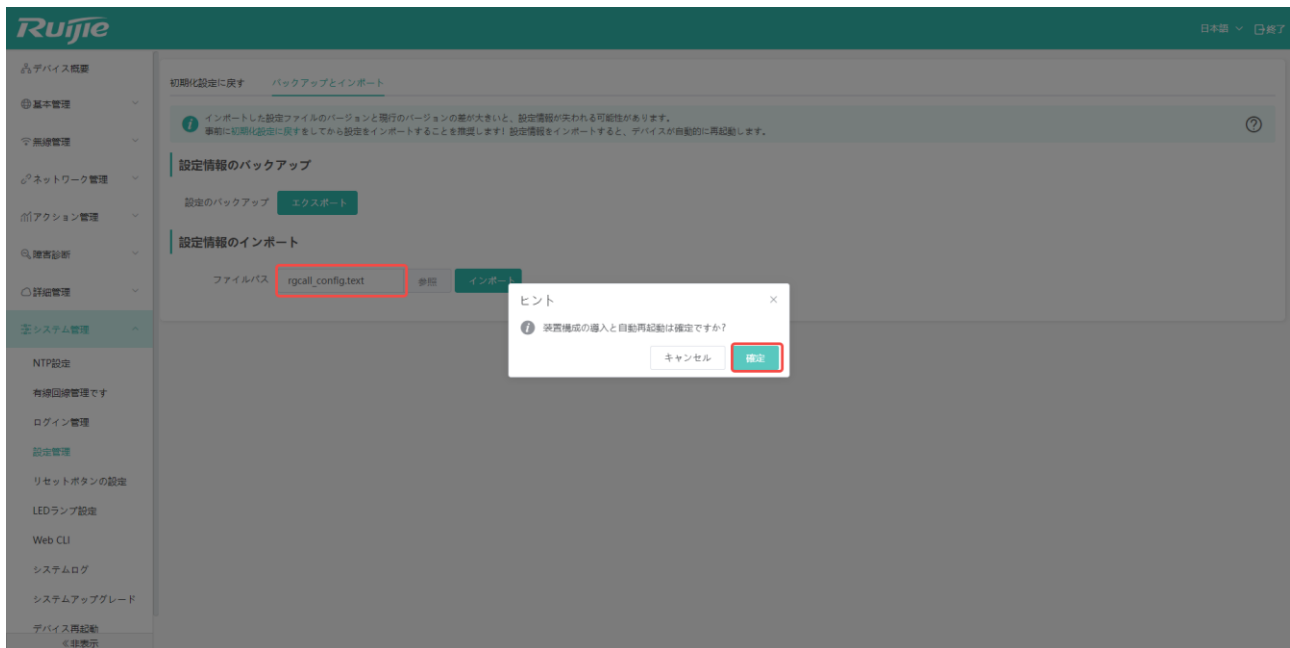
システムをリセットしても現在の設定を保持したい場合は、「設定管理」->「バックアップとインポート」->「エクスポート」をクリックし、デバイスの現在の設定ドキュメントをワンクリックでエクスポートできます。



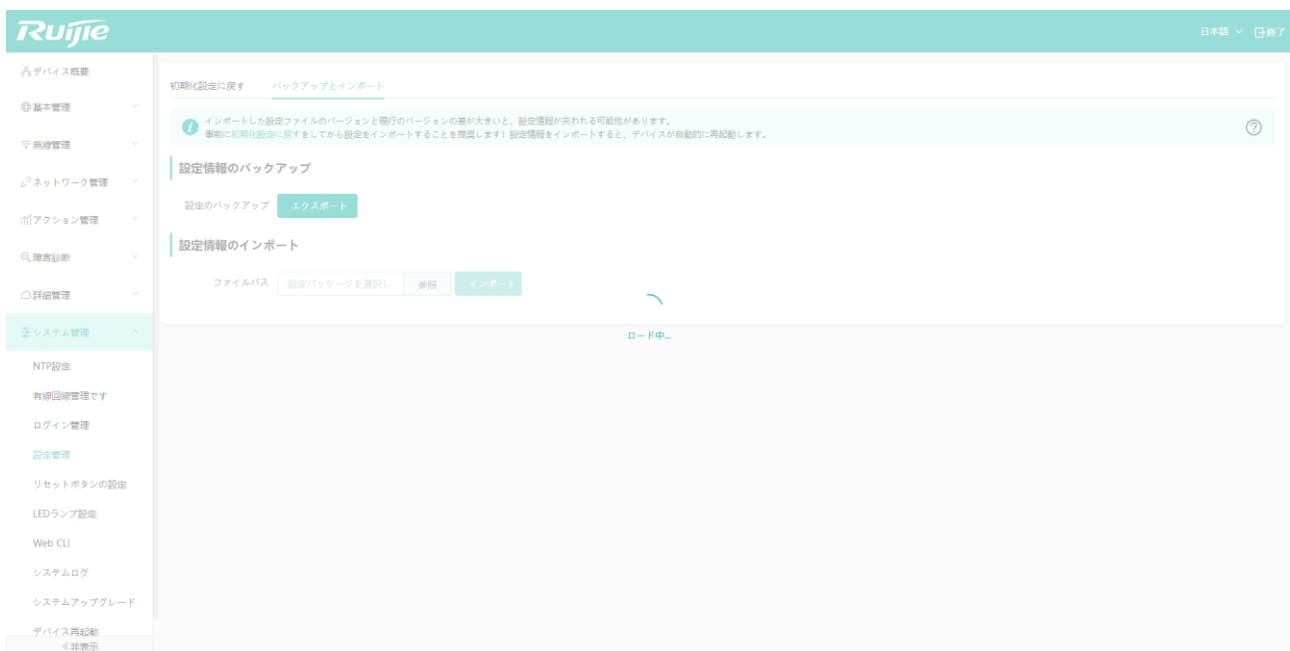
デバイスをシステムリセットした後、以前の設定を同期させたい場合は、「設定管理」->「バックアップとインポート」->「参照」をクリックし、以前にバックアップした設定ファイルを選択します。



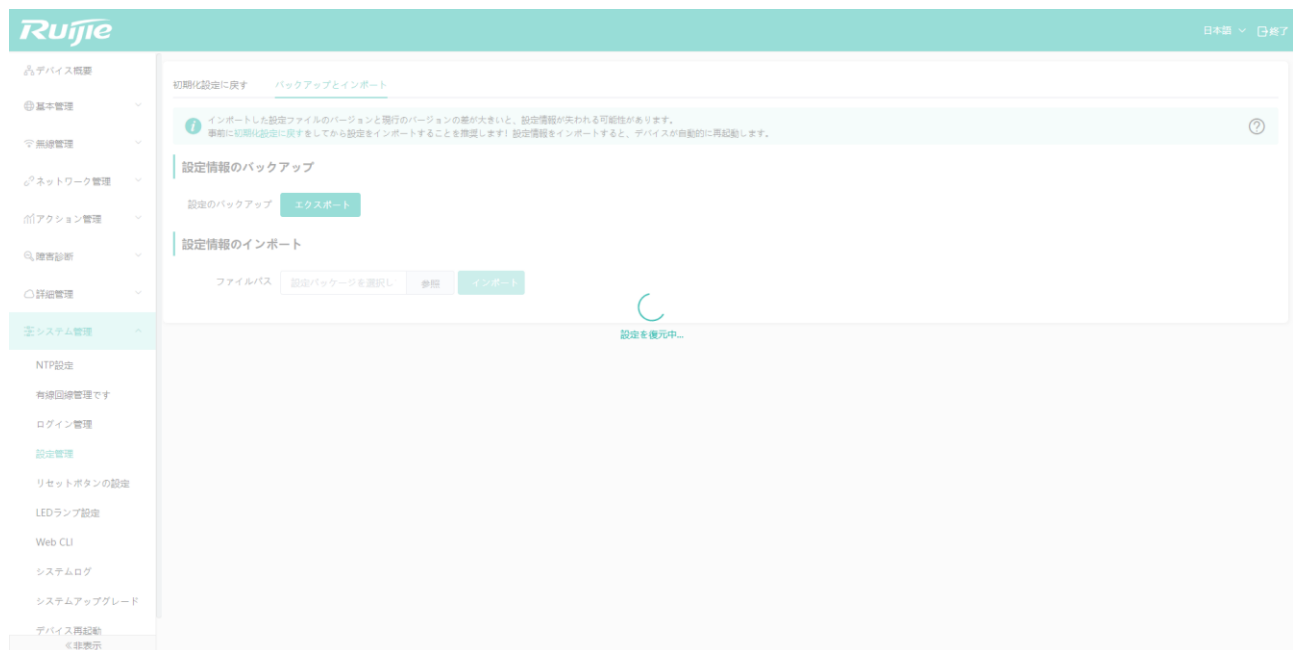
「インポート」をクリックすると、以前のすべての設定が同期されます。



設定中、お待ちください。



設定が完了すると、デバイスは再起動します。お待ちください。



デバイスの再起動が完了しました。再度ログイン画面にアクセスしてください。

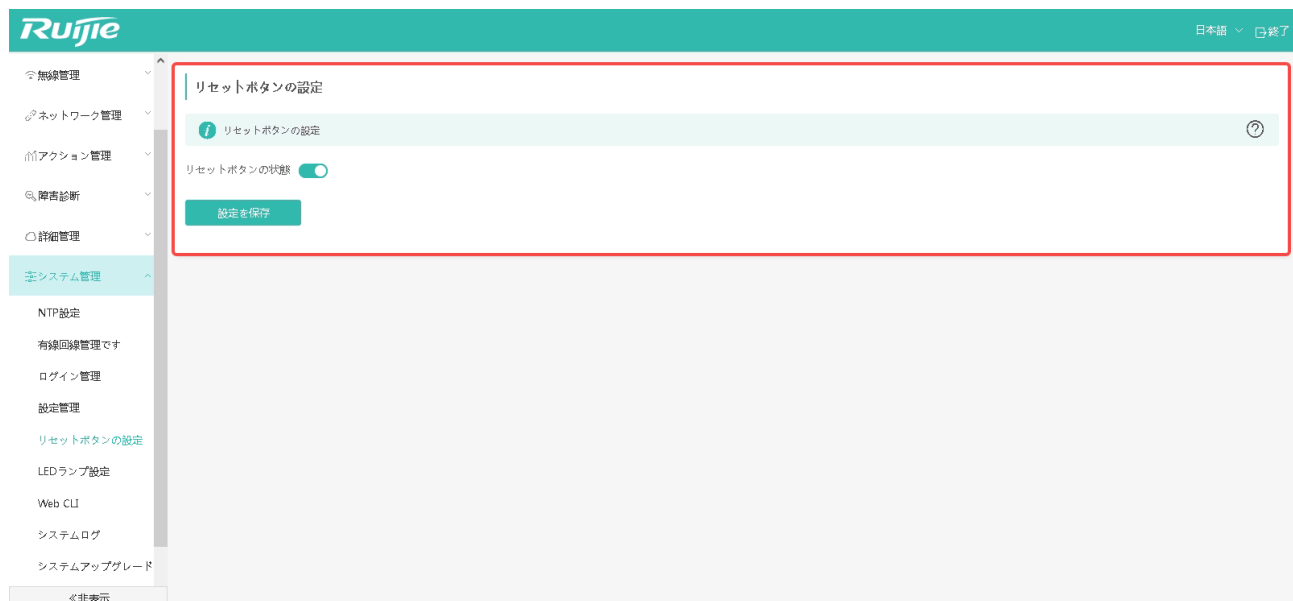


Chrome, Firefox, Microsoft Edgeブラウザをサポートします © 2000-2023 Ruijie Networks 株式会社
公式サイト: <https://www.ruijie.co.jp>

📖 デバイスへのログインに関する詳細な手順は、2.1 節の Web-GUI ログインに詳しく説明されています。該当の節を参照してください。

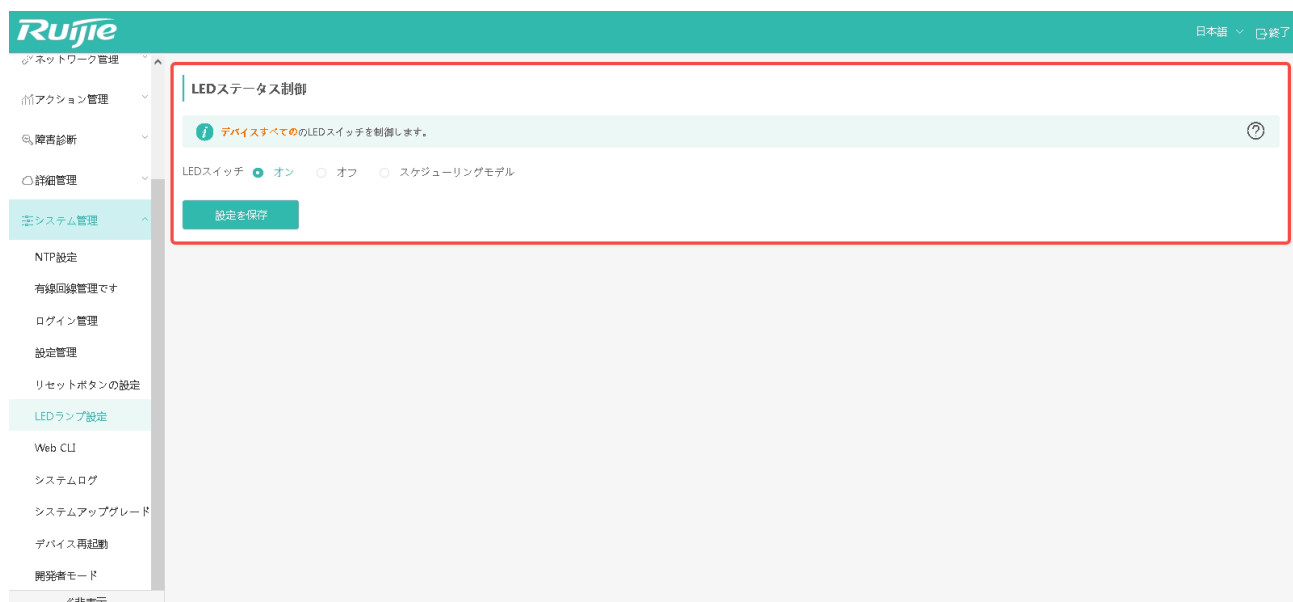
6.5 リセットボタンの設定

リセットボタンの有効/無効を設定できます。デフォルトでは有効です。



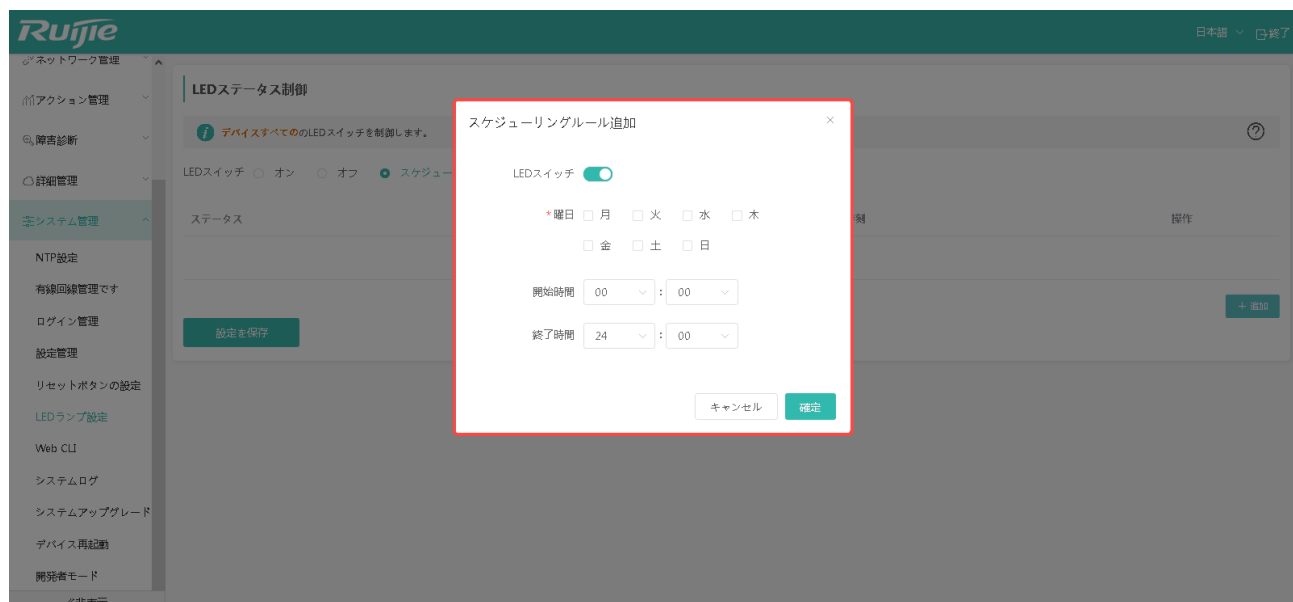
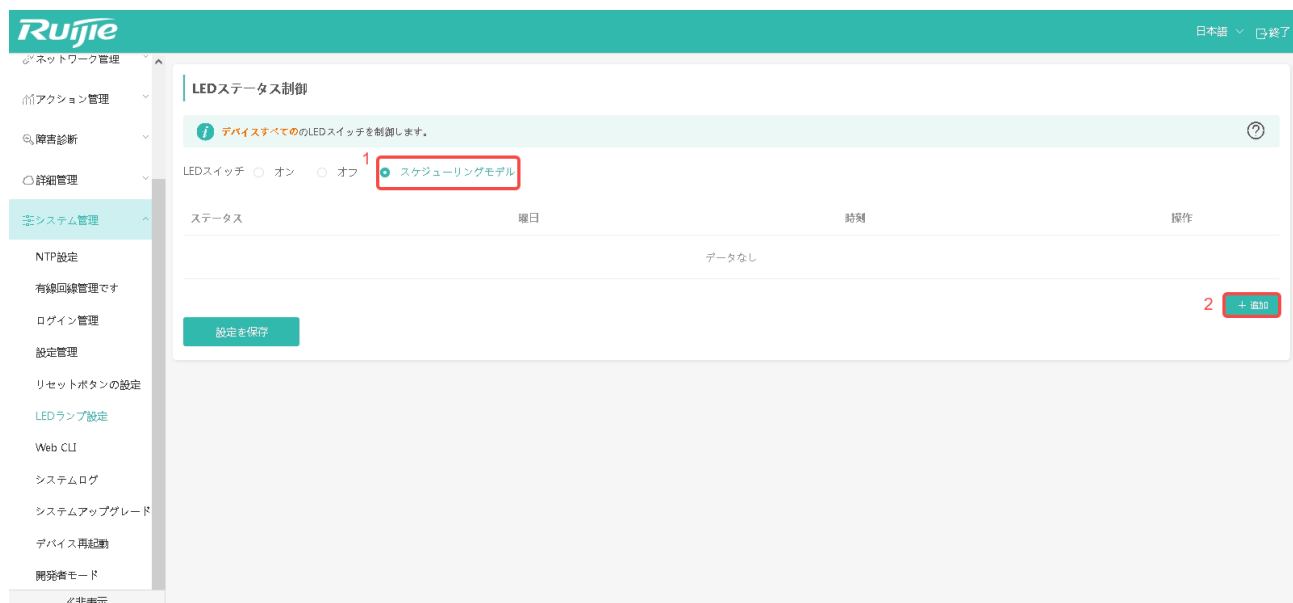
6.6 LED ランプ設定

お客様それぞれの必要に応じて、LED ランプを設定できます。常時オン/オフにしたり、定時にオン/オフを切り替えたりすることができます。



- LED スケジューリングモデルを設定する場合、具体的な操作手順は以下通りです。

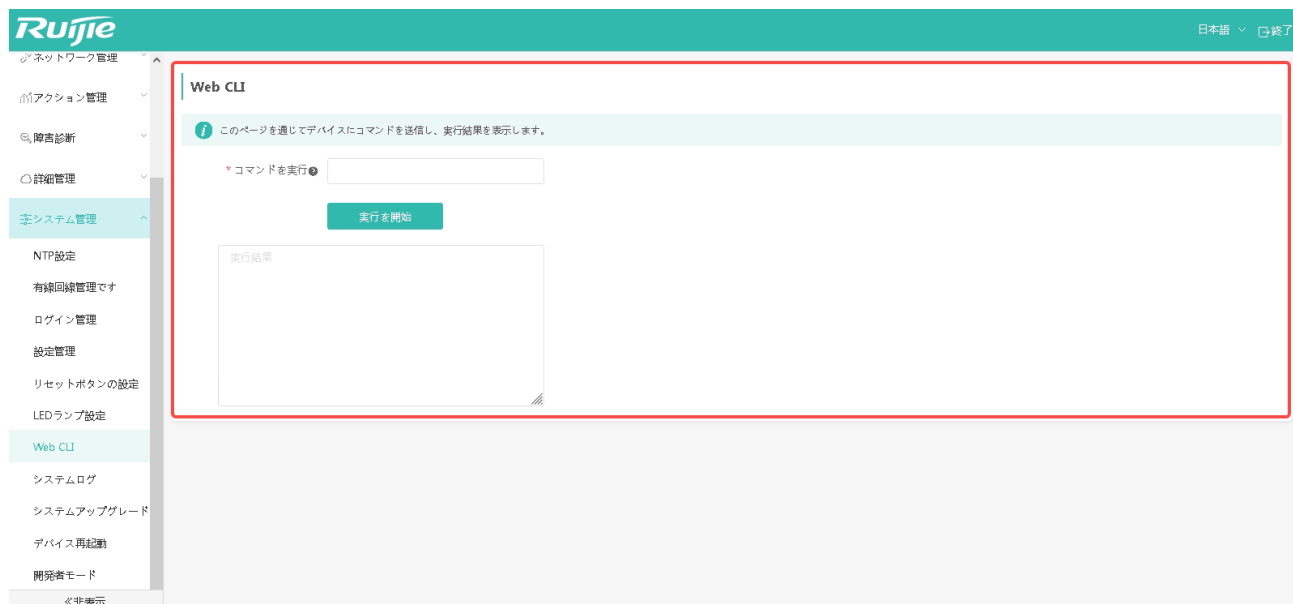
- 1 ページ内の「スケジューリングモデル」をクリックします。
- 2 ページ内の「追加」ボタンをクリックし、具体的な設定を行います。



設定項目	説明	デフォルト値/オプション
LED スイッチ	設定中のルールが表示されます。指定時間にランプをオンにするルールの場合、ステータスは「有効化」です。指定時間にランプをオフにするルールの場合、ステータスは「無効化」です。	デフォルト値：オン オプション：オン/オフ/スケジューリングモデル
曜日	このステータスを適用する曜日です。	任意に選ぶことができます。
開始時間	このステータスを適用する日の、具体的な開始時刻です。	デフォルト値：00：00 プルダウンで選択することができます。
終了時間	このステータスを適用する日の、具体的な終了時刻です。	デフォルト値：24：00 プルダウンで選択することができます。

6.7 Web CLI

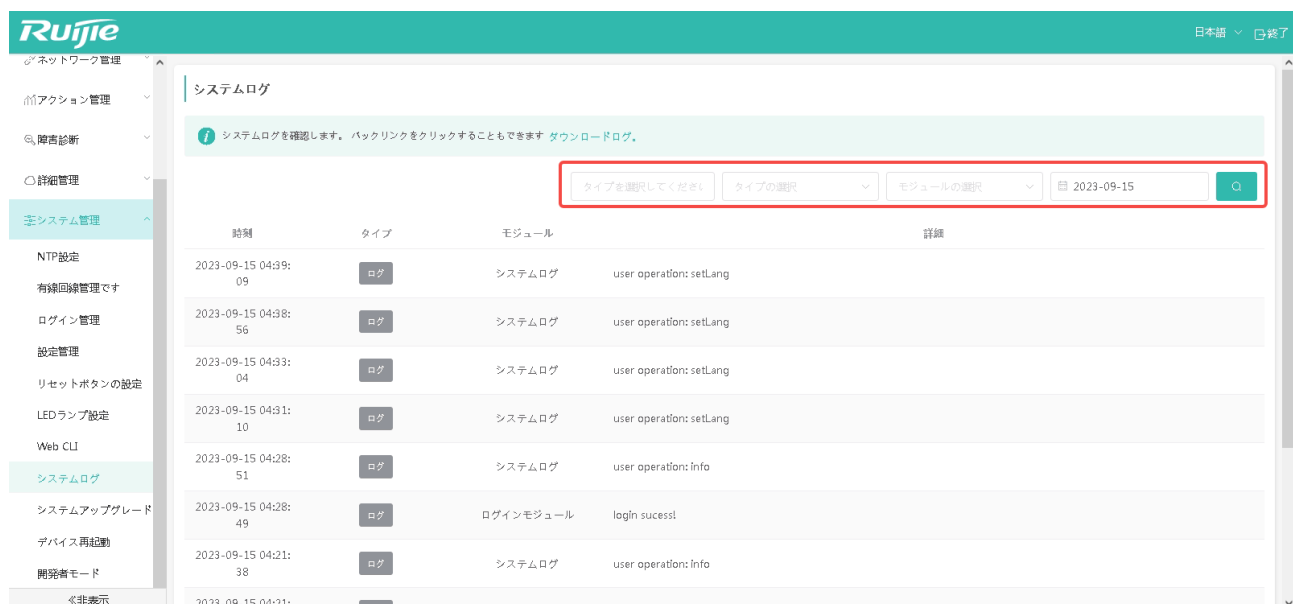
以下の画面で、rgcall コマンドを入力して設定を実行できます。



6.8 システムログ

ネットワークやデバイスに異常が発生した場合、システムログを確認してデバイスの運用記録を知ることが、故障排除の1つの手段になります。

ログの数が多い場合は、キーワード、タイプ、モジュール、日付でフィルタリングして見つけたいログを探し、問題を特定することができます。

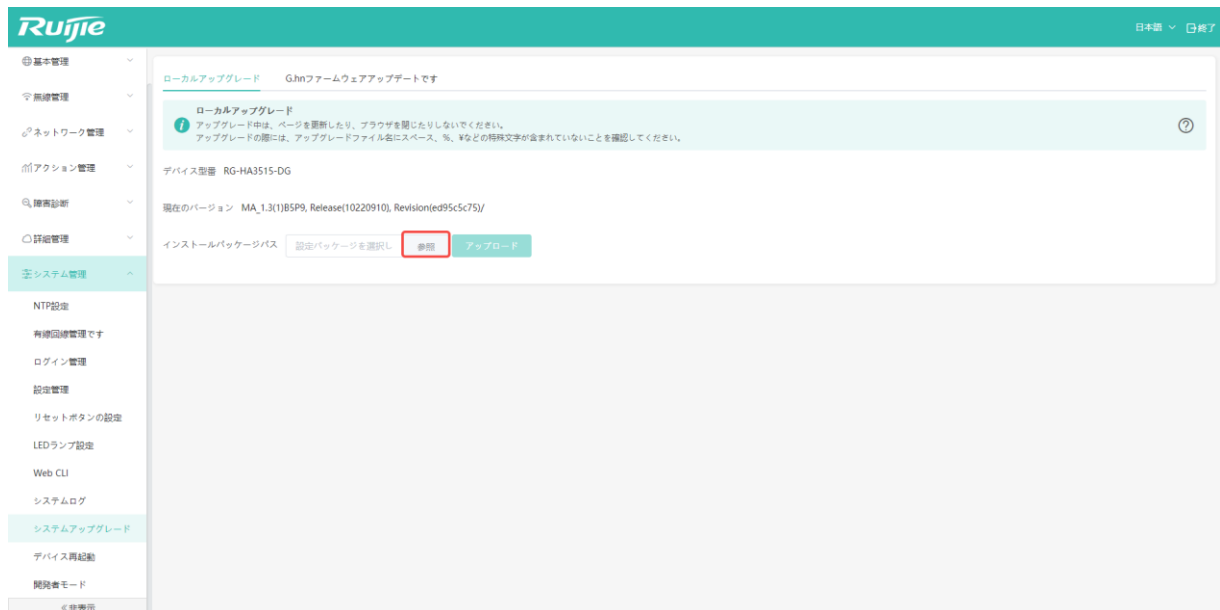


6.9 システムアップグレード

6.9.1 手動アップグレード

「システム管理」->「システムアップグレード」を選択すると、デバイスのソフトウェアを手動でアップグレードすることができます。

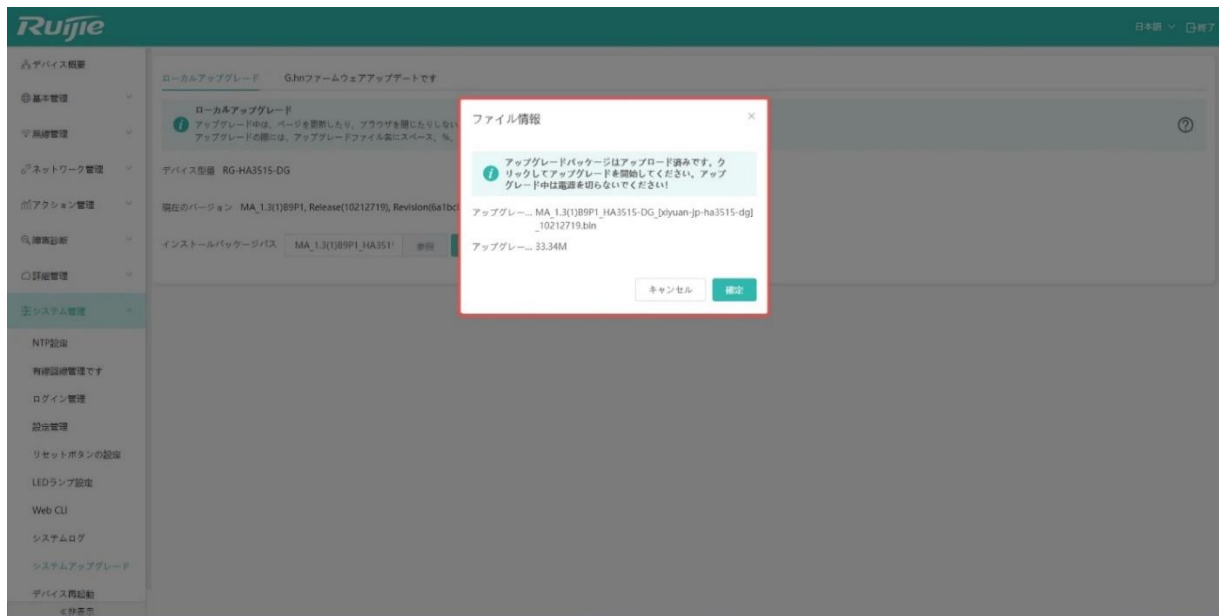
- 1 「参照」ボタンをクリックし、アップグレード用のファイルを選択します。



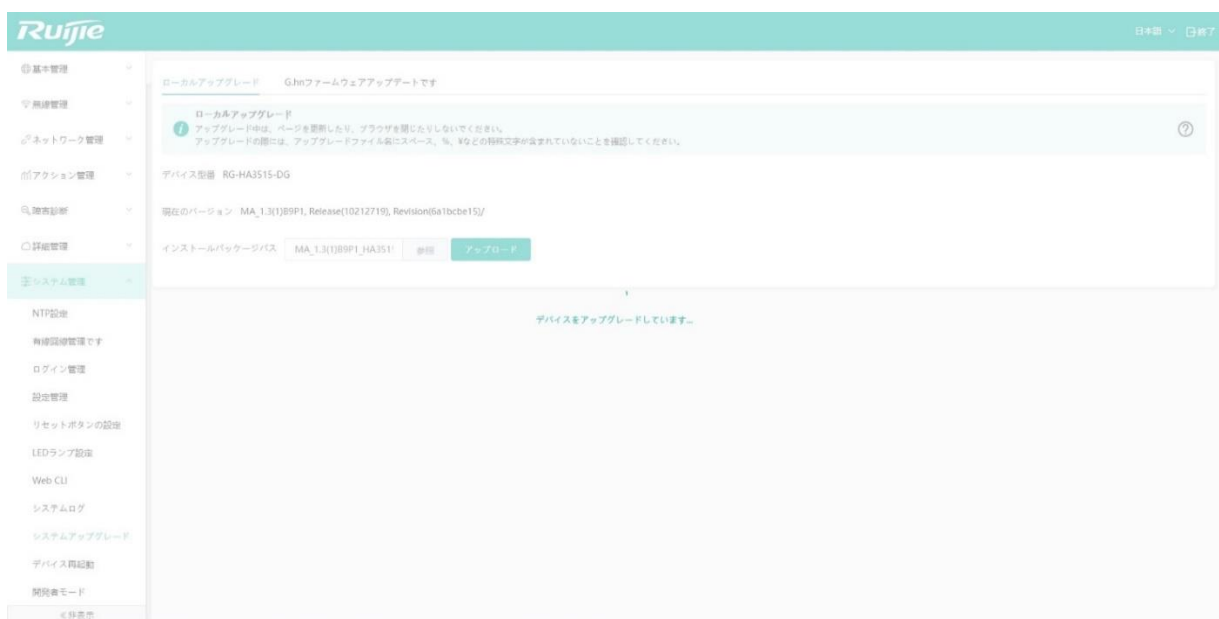
- 2 アップグレードファイルを選択後、「アップロード」ボタンをクリックすると、デバイスはソフトウェアのダウンロードを開始します。



3 「確定」ボタンを押すと、デバイスがアップグレードを開始します。



アップグレードの間、そのままお待ちください。



4 アップグレードに成功すると、ログイン画面に戻ります。パスワードを使ってログインし、「デバイス概況」画面でソフトウェアのバージョンをチェックし、アップグレードが成功しているかどうか確認してください。

デバイス概要

オンラインユーザ数: 0

ネットワーク接続ステータス: ネットワーク接続済み
システム稼働: 02分 03秒
システム時間: 2023-10-13 16:39:40

デバイス詳細情報

デバイス型番:	RG-HA3515-DG	シリアルナンバー:	BP1LM001011	MACアドレス:	16C2:3060:10:11
ハードウェアバージョン:	V1	ソフトウェアバージョン:	MA_1.3(1)89P1_Release(10212719)_Revision(8a1bcbe15)		

無線情報

SSID 1グループ	SSID 2グループ	SSID 3グループ
無線ネットワーク: SSID-SSID-6D1011 暗号化の有無: 有	無線ネットワーク: SSID-SSID-6D1011_Wi-Fi5 暗号化の有無: 有	無線ネットワーク: SSID-SSID-6D1011-3 暗号化の有無: 有
SSID 4グループ	SSID 5グループ	ゲストWi-Fi
無線ネットワーク: SSID-SSID-6D1011-4 暗号化の有無: 有	無線ネットワーク: SSID-SSID-6D1011-5 暗号化の有無: 有	ゲストWi-Fi: SSID-SSID-6D1011-Guest 暗号化の有無: 有

6.9.2 G.hn ファームウェアアップデートです

G.hn ファームウェアだけでアップグレードすることができますが、通常は G.hn ファームウェアのアップグレードはメインプログラムによって行われます。

ローカルアップグレード G.hnファームウェアアップデートです

G.hnファームウェアアップデートです
G.hnのファームウェアをアップデートします。アップグレードの際は、アップグレードファイル名にスペース、@、*などの特殊文字が含まれていないことを確認してください。

システムです G.hn-GNT

G.hn ハードウェア版です 1_0

G.hn ソフトウェア版です G.hn-GNT-v7_8_r590+22_cvs,Release(202308101121)

G.hn SN G1RP1LM000361

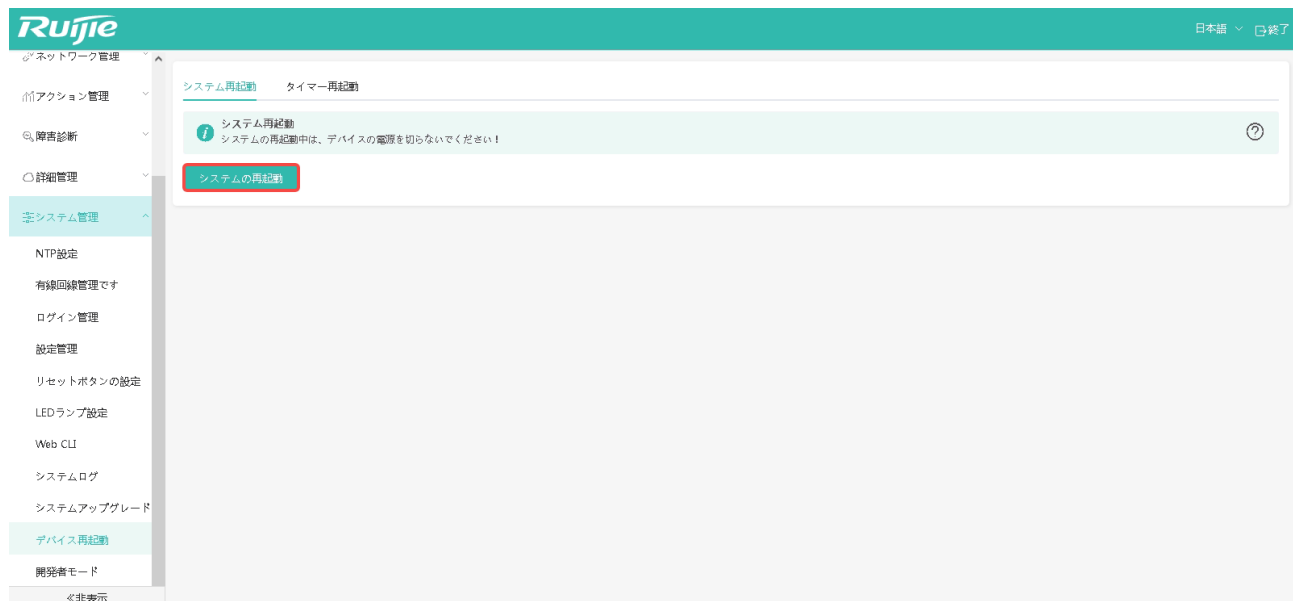
インストールパッケージパス

6.10再起動

6.10.1 ワンボタン再起動

遠隔で AP にアクセスしている時は、「システム管理」->「デバイス再起動」の順にメニューを選択すると、AP を再起動することができます。

今すぐワンボタン再起動を行う場合は、「システムの再起動」ボタンをクリックします。



6.10.2 タイマー再起動

本シリーズ製品は、タイマー再起動をサポートしています。タイマー再起動機能をオンにしたい場合、再起動する日付・時間を設定するだけで、デバイスの定期再起動を簡単に実行することができます。



設定項目	説明	デフォルト値/オプション
タイマー再起動スイッチ	タイマー再起動を設定する時は、このスイッチをオンにしてください。	デフォルト値：有効 有効/無効を設定することができます
曜日	どの曜日にデバイスを再起動させるかを選択します。	デフォルト値：ランダム値。一週間のうち任意の曜日。 チェックボックスで任意に選択できます。
時刻	デバイスを再起動させる時刻を設定します。分単位で細かく設定できます。	デフォルト値：ランダム値。午前 3 時から 4 時までのある時刻。 プルダウンで選択できます。

6.11 開発者モード

設定が有効になった後、SSH 経由でデバイスのコンソールにリモートログインし、デバイスの設定を行うことができます。

The screenshot displays the Ruijie Web-GUI interface for the '開発者モード' (Developer Mode) settings. The top header shows the Ruijie logo and language options (日本語, 終了). The left sidebar contains a navigation menu with categories like 'ネットワーク管理', 'アクション管理', '障害診断', '詳細管理', and 'システム管理'. Under 'システム管理', '開発者モード' is selected. The main content area shows the '開発者モード' settings. It includes an information icon and a warning message: '開発者モードは開発経験者向けのモードです。SSHでデバイスコンソールにアクセスし、設定変更のコマンドを配布できます。デバイスを再起動すると、開発者モードは自動でオフになります。' Below this, there is a toggle switch for '開発者モード' which is currently turned off, accompanied by the text '(他人に使用されないよう、終了時にオフにすることを推奨します)'. A green button labeled '設定を保存' (Save Settings) is located below the toggle.

7 困ったときは

本章では、主に使用中に生じる解決できない問題への対処方法を説明します

7.1 Web-GUI に接続できない

Web-GUI に接続できないときは、次の点をご確認ください。

- (1) 本製品と管理 PC を正しく接続していますか？

1 章 4 節「Web-GUI 接続時の準備」を参照し、正しく接続されているかご確認ください。

- (2) AP はルーターモードで動作し、かつ管理 PC は WAN ポートから AP にアクセスしていますか？

AP がルーターモードで動作している場合、その AP の WAN ポートが G.hn ポートであるため、PC は WAN ポートにて AP に接続できません。デフォルトでは LAN ポートにてアクセスします。

- (3) 管理 PC で本製品に Ping が通りますか？

- (4) お使いのブラウザで Web-GUI インターフェースが正しく表示されていますか？

本製品の Web-GUI は、Google Chrome、Firefox、Safari および IE コアに基づく一部のブラウザにしか対応していません。**Google Chrome** ブラウザで再度アクセスを試みることを強く推奨します。

7.2 Web-GUI にログインできない

Web-GUI にログインできないときは、次の点をご確認ください。

- (1) ユーザ名とパスワードは正しいですか？

- (2) 正しいユーザ名とパスワードで再度ログインしてください。デフォルトのユーザ名/パスワード：admin/admin。

- (3) パスワードを忘れた場合。

- (4) 細い針で AP パネルの Reset ボタンを押し、初期化設定へのリセット操作を行うことを推奨します。

- (5) お使いのブラウザで Web-GUI インターフェースが正しく表示されていますか？

- (6) 本製品の Web-GUI は、Google Chrome、Firefox、Safari および IE コアに基づく一部のブラウザにしか対応していません。**Google Chrome** ブラウザで再度アクセスを試みることを強く推奨します。

7.3 通信できないときは

設備が正常に接続されているにもかかわらず、正常に通信できない場合は、以下の点をご確認ください：

- (1) 各状態の確認

WAN ポートから IP アドレスを自動取得するよう設定されている場合は、AP で IP アドレスまたは DNS アドレスが自動取得されているかをチェックすることにより、インターフェースの状態を確認することができます。

アドレスを取得できない場合は、WAN に接続できません (Internet サービスを受けることができません)。DHCP サーバが通じるかどうか、または IP+MAC バインディングなどのセキュリティ設定がなされているかどうかをチェックしてください。

(2) ブラックリスト/ホワイトリスト

簡単設定では、ホワイトリストのユーザのみが Web-GUI へのアクセスを許可されています。端末がホワイトリストに入っているかどうかを確認し、入っていない場合はホワイトリストに加えてください。また、デバイスが誤ってブラックリストに入っていないかどうか確認してください。

具体的には 4 章 4 節 1 項の「アクセス制御」をご参照ください。

7.4 デバイス設定と使用サポート

故障原因を分析し、または製品の使用状態に関する情報を収集したい場合には、6 章 8 節「システムログ」を参照してください。また、保存したログをサービスプロバイダに提出すれば、より細やかなサポートを受けることができます。